

牛馬商ノ免許ヲ受クヘシ

地方長官前項ノ免許ヲ與ヘタルトキハ別記雛形ノ免許鑑札ヲ下付スヘシ

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ牛馬商ノ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 一年以上ノ禁錮又ハ懲役ノ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免ノ後滿三箇年ヲ經サル者但シ特ニ改悛ノ狀アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 免許ヲ取消サレタル後滿一箇年ヲ經サル者

三 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者又ハ家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

四 家畜市場法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違背シテ處罰ヲ受ケタル後滿一箇年ヲ經サル者

五 素行不良ニシテ公益ヲ害スル虞アル者

第三條 牛馬商ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許ノ效力ヲ失フ

一 一年以上ノ禁錮又ハ懲役ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三 家畜市場法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違背シ處罰ヲ受ケタルトキ

第四條 牛馬商ハ免許鑑札ヲ携帶スヘシ

第五條 牛馬商ハ産牛馬組合法ニ依リ設置シタル組合ノ定款ノ規定ニ依リ組合市場ニ附スヘキ義務ノ履行ヲ終ラサル組合員ノ體又ハ駒ノ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ爲スコトヲ得ス但シ組合ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條 牛馬商ハ帳簿ヲ調製シテ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ爲シタル年月日、牛馬ノ別、種類、産地、性、年齢、毛色、代價及賣買若ハ交換當事者ノ住所氏名ヲ記入スヘシ

第七條 牛馬商ハ免許鑑札ヲ毀損亡失シ又ハ住所、族籍、氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク其ノ再渡又ハ書換ヲ地方長官ニ願出ヘシ

牛馬商ハ住所ヲ他ノ道府縣内ニ移轉シタルトキハ當初免許ヲ受ケタル地方長官ニ之ヲ届出テ且住所所在地ノ地方長官ニ免許鑑札ノ書換ヲ願出ヘシ

第八條 牛馬商ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ牛馬商ノ免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止スルコトヲ得

一 牛又ハ馬ノ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ強請シタルトキ

二 牛又ハ馬ノ種類、産地、血統若ハ年齢ヲ偽リ又ハ疾病惡癖ヲ隱蔽シテ之カ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ爲シタルトキ

三 獸疫ノ疑アリ若ハ所有者ノ分明ナラサル牛又ハ馬ノ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ爲シタルトキ

四 其ノ他營業上不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ牛馬商ハ遲滞ナク免許鑑札ヲ返納スヘシ

一 第三條ノ規定ニ依リ免許ノ效力ヲ失ヒタルトキ

二 免許ヲ取消サレタルトキ

三 廢業シタルトキ

牛馬商ニシテ死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ免許鑑札ヲ返納スヘシ

第十條 詐僞ノ所爲ヲ以テ免許ヲ受ケ又ハ免許ヲ受ケスシテ牛馬商ヲ營ミタル者若ハ第八條第一號乃至第三號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 第四條、第五條、第六條、第七條又ハ第九條ノ規定ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

牛馬商取締規則

本則ハ明治四十四年二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
牛馬商ニシテ本則施行前地方長官ノ免許ヲ得タル者ハ本則ニ依リ免許セラレタルモノト看做ス  
(別記雛形) 木 製

三寸

表  
分三寸二

第 號	住 所
氏 名	族 籍
生年月日	
牛馬商免許證札	
年 月 日	

裏

格 應 府 縣 印
-----------

第二十三章 農事試驗場

○農事試驗場處務規程 明治三十七年三月(改正三十八年訓令第四號)

第一條 農事試驗場ニ左ノ部課ヲ置ク

- 種 藝 部
- 農藝化學部
- 昆 蟲 部

- 病 理 部
- 煙 草 部
- 園 藝 部
- 養 畜 部
- 土 性 部
- 製 茶 部
- 報 告 課
- 庶 務 課

第二條 農藝化學部、煙草部、園藝部、土性部、製茶部、報告課及庶務課ハ之ヲ農事試驗場本場ニ、種藝部ハ之ヲ農事試驗場畿内支場ニ、病理部及昆蟲部ハ之ヲ農事試驗場九州支場ニ、養畜部ハ之ヲ農事試驗場陸羽支場ニ置ク

第三條 種藝部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 農作物ノ種類撰擇ニ關スル事項
- 二 農作物ノ人工交種等育種ニ關スル事項
- 三 農作物ノ生理ニ關スル事項
- 四 農作物ノ氣候、土質、肥料トノ關係事項
- 五 農作物種子ノ鑑定ニ關スル事項
- 六 農具及耕地ノ改良ニ關スル事項
- 七 種苗ノ配布ニ關スル事項
- 八 其ノ他農作物ノ栽培ニ關スル事項

農事試驗場處務規程

第四條 農藝化學部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 農作物及農産物ノ化學的研究ニ關スル事項
- 二 肥料試験ニ關スル事項
- 三 土壤及肥料ノ細菌ニ關スル事項
- 四 農産物製造ニ關スル事項
- 五乃至七 (削除)

八 肥料検査及農業ニ關係アル物料ノ分析及鑑定ニ關スル事項

第五條 昆蟲部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 害虫及有害動物ノ驅除、豫防及益虫ノ應用ニ關スル事項
- 二 驅除用藥品、機械ノ研究及其ノ鑑定ニ關スル事項
- 三 害虫及益虫ノ種類、發生、經過並其ノ地理上分布ニ關スル事項

第六條 病理部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 有害菌類及有害細菌ノ研究並菌類及細菌ヨリ生スル病害ノ經過、豫防及治療ニ關スル事項
- 二 有益菌類及有益細菌ノ研究及其ノ應用ニ關スル事項
- 三 豫防及治療用藥品、機械ノ研究並其ノ鑑定ニ關スル事項

第七條 煙草部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 煙草ノ種類選擇及栽培ニ關スル事項
- 二 煙草ノ品質ト氣候、土質及肥料トノ關係事項
- 三 煙草ノ乾燥、醱酵、貯藏及製造ノ研究ニ關スル事項

第八條 園藝部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 果樹、蔬菜ノ種類選擇、栽培及繁殖ニ關スル事項
- 二 果樹、蔬菜ノ人工交種等育種ニ關スル事項
- 三 果樹、蔬菜ノ採收、貯藏及其ノ製造物ニ關スル事項
- 四 果樹、蔬菜ノ種苗配布ニ關スル事項

第九條 養畜部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 天然飼料及人工飼料ノ保護、栽培、收穫及貯藏ニ關スル事項
- 二 家畜及家禽ノ飼養並其ノ管理ニ關スル事項
- 三 畜産物製造ニ關スル事項
- 四 飼料植物ノ種苗配布ニ關スル事項

第九條ノ二 土性部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 土性ノ調査ニ關スル事項
- 二 土性ト生産力トノ關係事項
- 三 土地對適應作物ノ試験及調査ニ關スル事項
- 四 肥料礦物ノ試験及調査ニ關スル事項
- 五 土性圖ノ調製ニ關スル事項

第九條ノ三 製茶部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 茶樹ノ種類選擇及栽培ニ關スル事項
- 二 茶ノ製造ニ關スル事項
- 三 製茶機械ノ試験及其ノ鑑定ニ關スル事項

第十條 報告課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

農事試験場庶務規程

- 一 試驗、調査成績等ノ編纂刊行ニ關スル事項
- 二 圖書及報告書類ノ保管ニ關スル事項
- 第十一條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 場長ノ官印及場印ノ保管ニ關スル事項
  - 二 職員ニ關スル事項
  - 三 公文書ノ接受、發送、編纂及保管ニ關スル事項
  - 四 會計ニ關スル事項
  - 五 場内ノ取締ニ關スル事項
  - 六 來觀者ニ關スル事項
  - 七 各部及他課ノ主宰ニ屬セサル事項
- 第十二條 左ノ掲クル事項ハ各其ノ主管ノ部ニ於テ之ヲ處理ス但シ其ノ主管ノ部ナキ本場又ハ支場ニアリテハ場長又ハ支場長便宜之ヲ處理ス
  - 一 依託試驗ニ關スル事項
  - 二 質問、應答ニ關スル事項
  - 三 講話ニ關スル事項
  - 四 調査ニ關スル事項
- 第十三條 農事試驗場支場ニ於テハ其ノ主管部事務ノ外左ニ掲クル事務ヲ處理ス
  - 一 肥料検査ニ關スル事項
  - 二 依頼ニ係ル分析鑑定ニ關スル事項
- 第十四條 農事試驗場長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ノ處理ニ付其ノ責ニ任ス

第十五條 場長ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ各部課ノ事務ノ一部ヲ本場又ハ支場ニ分掌セシムルコトヲ得

第十六條 農事試驗場支場長ハ場長ノ指揮監督ヲ受ケ支場全般ノ事務ヲ處理ス

第十七條 場長又ハ支場長事故アルトキハ上席技師之ヲ代理ス

場長及支場長ハ主管事務ノ一部ヲ部下ノ官吏ニ委任スルコトヲ得

第十八條 場長及支場長ハ部下ノ官吏ノ歸省、看護、墓參、轉地療養願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第十九條 場長ハ事務處理ノ爲メ經伺ノ上場中處務細則ヲ設クルコトヲ得

第二十條 場長ハ試驗、調査成績ヲ審査編纂シ之レヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十一條 場長及支場長ハ其ノ主管事務ニ付各官廳ニ照會往復スルコトヲ得

第二十二條 農業上ニ關シ旅費ヲ負擔シ場員ノ出張巡回ヲ請フモノアルトキハ本場ニ於テハ場長之ヲ

許否シ支場ニ於テハ支場長之ヲ許否ス支場長ノ許否セシ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ場長ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ場長又ハ支場長十日ヲ超ハサル出張ヲ要スルトキハ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告シ

十日ヲ超ユル出張ヲ要スルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ請フヘシ

第二十三條 場長場務ノ爲高等官ノ出張巡回ヲ命セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ請フヘシ但シ

至急ヲ要シ經伺ノ暇ナキ場合ニ於テハ場長之ヲ命シ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十四條 分析、試驗又ハ鑑定ノ通知書ニハ場長又ハ支場長其ノ擔任者ト共ニ之ヲ署名スヘシ

第二十五條 場長及支場長ハ見習生ヲ入場セシムルコトヲ得

見習生ノ費用ハ自辨トス

見習生ニ關スル規程及其ノ人員ハ場長之ヲ定ム

第二十六條 農商務大臣ニ經伺又ハ報告ヲ要スル事項ハ總テ農商務局長ヲ經由スヘシ

○農事試驗場設置ノ件 明治二十六年四月 告示第二號

左ノ所ニ農事試驗場ヲ置ク

東京府北豐島郡瀧野川村大字西ヶ原

○農事試驗支場名稱位置 明治二十六年六月(改正二十九年告第一二號) 告示第四號

名 稱 位 置

農事試驗場畿内支場  
農事試驗場九州支場  
農事試驗場陸羽支場

大阪府南河内郡柏原村大字柏原  
熊本縣飽託郡出水村大字國府  
秋田縣仙北郡花館村(明治二十九年七月告) 示第十八號ニテ設置

農事試驗場分析手数料ノ件 明治二十六年十二月十一日 勅令第二百三十號

- 第一條 農事試驗場ニ分析ノ依頼ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ
- 一 土壤及肥料ノ定性分析ハ一成分毎ニ金參拾錢トス
  - 二 土壤ノ定量分析ハ一成分金壹圓トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ
  - 三 土壤ノ普通含有セサル成分ノ定性ハ一成分毎ニ金貳圓トシ其定量ハ一成分毎ニ金五圓トス
  - 四 肥料ノ定量分析ハ一成分金五拾錢トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金貳拾五錢ヲ加フ  
但水分及灰分全量ハ各金拾錢トス
  - 五 農産物及飼料ノ有機質成分ノ定量ハ一成分金五拾錢トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金參拾

錢ヲ加フ

但水分及可燃物全量ノ定量ハ各金拾錢トス

六 農産物及飼料ノ灰分ノ定量ハ一成分金五拾錢トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金參拾錢ヲ加

フ

但灰分全量ハ金拾錢トス

- 七 農産製造品ノ定性分析ハ一成分毎ニ金五拾錢トス
- 八 農産製造品ノ定量分析ハ一成分金壹圓五拾錢トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金壹圓ヲ加フ
- 九 水ノ定性分析ハ一成分金貳圓トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ
- 十 水ノ定量分析ハ一成分金參圓トスニ成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金壹圓ヲ加フ
- 十一 以上列記シタルモノ、外農業上ニ關係アル物料ノ分析手数料ハ前示ノ割合ニ準シ時々農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二條 前條ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ納ムヘシ

附 則

第三條 本令ハ明治二十六年十二月十五日ヨリ施行ス

○農事試驗場ニ分析ヲ依頼スル者ハ左ノ心得書ニ賴ルヘキ件

明治二十六年十二月十二日 農商務省告示第十九號

分析依頼者心得

一 分析ニ要スル供試品ノ數量ハ左ノ區別ニ從ヒ差出スヘシ

農事試驗場設置ノ件 農事試驗支場名稱位置 農事試驗場分析手数料ノ件  
農事試驗場ニ分析ヲ依頼スル者ハ左ノ心得ニ賴ルヘキ件



農事試驗場長又ハ農事試驗場何支場長宛

第二號書式

此處ニ收入印紙ヲ  
貼用シ消印スヘシ

何年何月何日付ヲ以テ御依頼仕置候何々分析ノ儀御許可相成候ニ就テハ右手数料納付仕候也

年 月 日

職 業

氏 名

現住所

農事試驗場長又ハ農事試驗場何支場長宛

○農事試驗場長、生絲検査所長、蠶業講習所長、水産講習所長、

委任事項ノ件 明治三十六年十二月十二日  
文發第百十五號

農事試驗場長、生絲検査所長、蠶業講習所長及水産講習所長ハ此ノ委任條件ノ定ムル所ニ依リ主管ノ事務ヲ專行處理スルコトヲ得

但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 内國博覽會、共進會其他類似ノ會又ハ道廳府縣ノ稟請ニ對シ參考品トナルヘキモノ出陳又ハ貸與ノ件

二 寄贈ノ圖書、標本等ノ領收及其領收證又ハ謝狀發送ノ件

三 一廉金五百圓ヲ超ヘサル印刷物ノ調製、物件ノ買入、借入、運搬、人夫、職工ノ雇備及建設物ノ新營修繕ノ件

- 四 一廉金二百圓ヲ超ヘサル寫字料及翻譯料處理ノ件
- 五 見積價格二百圓ヲ超サル動産賣拂ノ件
- 六 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ伺濟ノ範圍内ニ於テ豫定價格指定ノ件
- 七 二十三年勅令第九十三號ニ依リ隨意契約ヲナスノ件
- 八 官吏出張先ニ於テ公務ニ要スル通信、運搬等金額五十圓以内處理ノ件
- 九 金額百圓以内現金前渡ニ關スル件
- 十 月俸二十圓日給六十錢以下雇員採罷ノ件
- 十一 出納官吏命免ノ件
- 十二 官吏療治料給與ノ件
- 十三 官役人夫死傷者ニ療治料、扶助料及埋葬料ヲ成規ニ依リ給與ノ件
- 十四 部、課、掛長ヲ除ク外其餘屬ニ事務分擔命免ノ件
- 十五 判任官以下内地出張巡回ノ件
- 十六 判任官以下看護歸省、墓參、轉地療養及旅行願並除服出仕ノ件
- 十七 判任官以下受驗願處理ノ件
- 十八 守衛、給仕、小使及常雇夫ノ備罷及賞與ノ件
- 十九 所内遺失物處分ノ件
- 二十 金額百圓以下ノ物品、亡失、毀損ニ關スル處分ノ件
- 二十一 調査又ハ報告書類ノ印刷物配與ノ件
- 二十二 内務省へ出版圖書ノ送付及版權登錄通知ノ件
- 二十三 出版物ノ翻刻發賣並著作權讓渡願許否ノ件

農事試驗場長、生絲検査所長、蠶業講習所長、水産講習所長委任事項ノ件

二十四 出版物中ノ事項ヲ新聞紙雜誌等へ轉載許否ノ件  
以上各號ノ外水産講習所長ハ實習ノ爲メ所員又ハ生徒ヲ所管實習場又ハ試驗場へ出張セシムルコトヲ得

第二十四章 生絲検査所

○生絲検査所名稱位置

明治二十九年六月  
農商務告示第十七號

名 稱 位 置

横濱生絲検査所

神奈川縣横濱市本町一丁目一番地

○生絲検査所法

明治二十八年六月十七日  
法律第三十二號

(改正三十四年  
法律第六號)

第一條 (明治三十四年法律  
第六號ヲ以テ削除)

第二條 本邦製産ノ生絲ヲ賣買スル者ハ内外人ヲ問ハス検査所ニ對シ生絲ノ検査ヲ請求スルコトヲ得  
但シ検査料ヲ徴セス

第三條 生絲検査所ハ農商務大臣ノ所管トシ此ノ法律施行ニ關スル細則ハ同大臣之ヲ定ム  
此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○生絲検査所法施行細則

明治三十七年七月一日  
農商務省令第十二號

(改正三十七年農省  
令第一三號)

第一條 生絲検査所ハ左ノ各號ニ付生絲ノ検査ヲ施行ス  
一 原 量

二 正 量

三 練 減

四 品 位

(イ) 再 練

(ロ) 織 度

(ハ) 類 節

(ニ) 強力及伸度

生絲検査所ハ前項ノ外生絲検査上必要ナル研究調査及生絲整理工養成ヲナス

第二條 生絲検査所法第二條ニ依リ生絲ノ検査ヲ請求セントスル者ハ甲號雛形ノ請求書ニ生絲ヲ添付  
シ生絲検査所ニ提出スヘシ但第一條第一項第一號又ハ第二號ノ検査ヲ請求スル爲同時ニ四十箇(俵)  
以上提出セントスル場合ニ在リテハ豫メ請求書ヲ提出スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ生絲ノ搬入ニ付生絲検査所ノ指揮ヲ受クヘシ

第三條 試験又ハ研究ノ爲製造シタル生絲ノ検査ヲ請求セントスル者ハ製造ノ目的及方法ヲ詳記シタ  
ル請求書ニ生絲ヲ添付シ生絲検査所ニ提出スヘシ

前項ノ檢格請求ニ付テハ前條、第四條、第五條及第十一條第一項、第二項ヲ適用セス

第四條 検査請求ノ爲メ提出スヘキ生絲ノ數量ハ一件ニ付第一條第一項第一號又ハ第二號ノ検査ニ在  
リテハ一個以上、第一條第一項第三號ノ検査ニ在リテハ三本以上、第一條第一項第四號ノ検査ニ在  
リテハ五本以上トス

第五條 生絲検査所所在地ニ住所又ハ居所ヲ有セサル検査請求者ハ生絲検査所所在地ニ代理人ヲ定メ  
検査請求ト同時ニ其ノ氏名住所ヲ届出ヘシ

生絲検査所名稱位置 生絲検査所法 生絲検査所法施行細則



前項ノ代理人ハ検査請求ニ關シ之ヲ検査請求者ト看做ス

第六條 検査請求書受理ノ時間ハ午前八時ヨリ午後三時迄トシ土曜日ニ在リテハ午前八時ヨリ正午十二時迄トス但シ必要アリト認ムル場合ニ於テハ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第七條 検査請求ノ爲提出シタル生絲ニシテ検査ヲ與フルノ價値ナシト認ムルトキハ生絲検査所ハ其ノ請求ヲ却下スルコトアルヘシ

第八條 生絲検査所ニ於テ第二條ノ生絲ヲ受理シタルトキハ請求者ニ對シ乙號錐形ノ預書ヲ交付ス

預書ハ検査請求者ニ於テ前項生絲ノ引渡ヲ受ケタルトキ之ヲ生絲検査所ニ返納スヘシ

第九條 生絲ノ検査ハ請求書受理ノ順序ニ依リ之ヲ施行ス但シ第二條但書ノ場合ニ在リテハ生絲受預ノ順序ニ依リ之ヲ行フ

第十條 生絲検査所ニ於テ生絲ノ包装ヲ解キ又ハ之ヲ包装スルトキハ検査請求者ハ之ニ立會フコトヲ得

第十一條 生絲検査所ニ於テ生絲ノ検査ヲ終リタルトキハ検査ノ種類ニ從ヒ丙號錐形ノ檢定證正副二通ヲ検査請求者ニ交付ス

第十二條 生絲検査所ニ於テ検査ヲ終リ又ハ検査請求ヲ却下ニヘシト決定シタルトキハ口頭又ハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ検査請求者ニ通知スヘシ

第十三條 検査請求者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ生絲ノ引取ヲ爲スヘシ

第十四條 検査請求者ニ於テ前條第二項ノ引取ヲ爲ササルトキ又ハ生絲検査所ニ於テ必要ト認ムルトキハ生絲ヲ検査請求者ニ返送スヘシ此ノ場合ニ於テ返送ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス

第十五條 第一條第一項第四號ノ検査ヲ行フ場合ニ於テ繰取リタル生絲ハ之ヲ検査請求者ニ還付セス

生絲検査所ハ検査ノ爲メ提出シタル生絲ニ付不可抗力ニ依リ生シタル損失ノ責ニ任セス

受附 年 月 日 原第 號

生絲検査請求書

生絲種別 Designation des grées		箇數 Nombre	
記號 Marque		製者 Producteur	
番號 Numero		產地 Provenance	國 郡
検査ヲ要スル項目 検査ナヤムル項目	原量 Pesage		
前記ノ生絲検査相成度此段請求候也			
年 月 日			
生絲検査所長宛			
氏 名 印			

甲 號 其 (一)

受附 年月日 原第 號

生絲検査請求書

Designation des grèges. 生絲種別			筒 Nombre. 數		
Marque. 記號			製 Producteur. 產者		
Numero. 番號			産 Provenance. 地		
検査ヲ要スル項目			Conditionnement. 正量		
前記ノ生絲御検査相成度此段請求候也					
年 月 日					
生絲検査所長宛					
氏 名 印					

(二共) 號 甲

受附 年月日 練第 號

生絲検査請求書

Designation des grèges. 生絲種別		筒 Nombre. 數	
Marque. 記號		製 Producteur. 產者	
Numero. 番號		産 Provenance. 地	
検査ヲ要スル項目			
前記ノ生絲御検査相成度此段請求候也			
年 月 日			
生絲検査所長宛			
氏 名 印			

甲

(三共) 號

番 號 Numero. 産 地 Provenance. 國 郡

検査ヲ要スル項目 練 減

前記ノ生絲御検査相成度此段請求候也

年 月 日

生絲検査所長宛

氏 名 印

受附 年月日 品第 號

生絲検査請求書

Designation des grèges. 生絲種別			筒 Nombre. 數		
Marque. 記號			製 Producteur. 產者		
Numero. 番號			産 Provenance. 地		
検査ヲ要スル項目			Devissage. 繰織		
再			Image. 度類		
Netteté. 節強			Tenacité. 力伸		
Elasticité. 度			氏 名 印		
前記ノ生絲御検査相成度此段請求候也					
年 月 日					
生絲検査所長宛					

(四共) 號 甲

生絲検査所法施行細則

乙號

第 號		年 月 日	
請求者	氏	名	
製産者	員 數	記號番號	札番號

右預置候也	第 號	札番號	製産者	員 數	預
					書
					請求者
					氏
					名

年 月 日

生絲検査所印

第 號

帝國日本生絲検査所

原量檢定證

橫濱 明治 年 月 日

記號	請求者
第 號	生絲 此全量
	風 袋
	原 量

\* 風袋ニハ布袋、紙、商標、結束絲等ヲ含ム

No. ....

EMPIRE DU JAPON

CONDITION DES SOIES

PESAGE

Yokohama, le .....

Marque	Déposé par M. ....
No. ....	Soies grèges..... pesant brut.....
	* Tare.....
	Net.....

Le Directeur  
de l'Etablissement  
(Signature)

\* La tare comprend la toile, les papiers, les chops et les liens,

丙號(其一)

丙號(其二)

帝國日本生絲検査所 第 號

正量檢定證

橫濱 明治 年 月 日

記號 請求者 生絲

第 號 \* 此全量袋量


一ヨリ拔出シタル本數 此原量

原量ヨリ水分ヲ除去シタル無水量

一ニ對スル無水量

水分量一割一分量

正減原量



\* 風袋ニハ布袋、紙、商標、結束絲等ヲ含ム

EMPIRE DU JAPON No. ....

CONDITION DES SOIES

CONDITIONNEMENT

Yokohama, le .....

Marque Déposé par M. ....

Soies grèges ..... pesant brut .....

No. .... \* Tare Net .....

Plottes extraites de la ..... et pesant net .....

Se sont réduites au poids absolu .....

Il en résulte pour la ..... le poids absolu .....

Augmentation de onze pour cent

Le Directeur Poids conditionné

de l'Établissement Diminution

(Signature) Poids Primitif

\* La tare comprend la toile, les papiers, les chops et les liens.

丙號(其三)

帝國日本生絲検査所 第 號

練減檢定證

橫濱 明治 年 月 日

記號 請求者 生絲


第 號 原量

無水量

練減後無水量

練減量

練減百分率



EMPIRE DU JAPON No. ....

CONDITION DES SOIES

RENSEIGNEMENT SUR LE DÉCREUSAGE

Yokohama, le .....

Marque Présenté par M. ....

No. .... Soies grèges

Poids primitif .....

Poids à l'absolu .....

Poids à l'absolu après décreusage .....

Perte au décreusage .....

Perte au décreusage pour cent .....

Le Directeur

de l'Établissement

(Signature)

帝國日本生絲検査所

品位檢定證

橫濱 明治 年 月 日

第 號

記號 請求者 生絲

第一時間回轉數 50  
五本繰返二時間切斷數 乃至  
女工一人受持繰數  
類節  
小類  
大類

強 力	伸 度
グラム	%
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	

番手 (キログラム二數ノハ)}  
二十口合計 平均伸度 (キログラム)

總 度  
大類  
小類

EMPIRE DU JAPON  
帝國日本  
生絲検査所  
CONDITION DES SOIES

EMPIRE DU JAPON  
CONDITION DES SOIES  
ESSAI  
Yokohama, le

No. ....

Marque Présenté Par M. ....  
Soies grèges

Vissez de la tarelle: 50 tours par minute.  
5 jolles ont essé ..... fois en 2 heures  
pour une onzième ..... à ..... tuelles

Néteté:

Traçeté	Elasticité
Gross.	%
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	

Moyenne pesée d'ensemble: Addition des 50 pesées (en s. déduire)

No. ....

Le Directeur  
de l'Etalonnage  
(Signature)

Le titre moyen est indiqué sur la pesée d'ensemble.

TITRE  
SUR 500 METRES  
EN 5 INCHES

丙號(共四)

○生絲検査規程 明治三十七年十二月十二日 農商務省告示第二百二十二號

第一 原量検査

原量検査ハ一件毎ニ生絲ノ全量ヲ秤リ風袋量ヲ控除シ其ノ原量ヲ定ムルモノトス

第二 正量検査

正量検査ハ一件毎ニ生絲六本ヲ採リ之ヲ二區ニ分チテ乾燥シ其ノ無水量ニ依リ一件ノ總無水量ヲ求メ之ニ一割一分ノ公定水分量ヲ加ヘ正量ヲ算定スルモノトス

前項各區ノ水量百分比ニ於テ其ノ差〇、五以上ナルトキハ更ニ三本ヲ採リ其ノ無水量ヲ求メ之ヲ前項二區ノ無水量ニ合算シ前項同一ノ方法ニ依リ正量ヲ算定スルモノトス

第三 練減検査

練減検査ハ一件ニ毎生絲二本ヲ採リ之ヲ二區ニ分チテ精練シ其ノ精練前後ノ無水量ヲ比較シ以テ減耗量百分比ヲ求メ其ノ平均ニ依リテ一件ノ練減量ヲ定ムルモノトス

前項各區ノ減耗量百分比ニ於テ其ノ差一以上ナルトキハ更ニ一本ヲ採リ之ヲ精練シ其ノ無水量ヲ求メ之ヲ前項二區ノ無水量ニ合算シ其ノ平均減耗量百分比ヲ求メ之ニ依リ一件ノ練減量ヲ定ムルモノトス

第四 再練検査

再練検査ハ一件毎ニ生絲五本ヲ採リ一分時間繰ノ回轉數五十回ノ速力ヲ以テ二時間繰返シ絲條ノ切斷數ヲ檢シ以テ工女一人ノ受持繰數ノ範圍ヲ定ムルモノトス

第五 織度検査

織度検査ハ一件毎ニ生絲五本ヲ採リ各絲長四百五十「メートル」ツ、四口ヲ採リ其ノ一口毎ニ〇、〇

生絲検査規程

五「グラム」ヲ單位トシテ之ヲ秤リ其ノ各口ノ織度ヲ求メ更ニ各口ヲ合同シテ秤リタル總量ニ依リ平均織度ヲ定ムルモノトス

檢定證ニハ平均織度ニ對スル番手ヲ附記スルモノトス

第六 類節検査

類節検査ハ一件毎ニ生絲五本ヲ採リ各二回ツ、絲長五百「メートル」ニ對スル類節ヲ大小ニ分チ其ノ多寡ヲ檢定スルモノトス

第七 強力及伸度検査

強力及伸度検査ハ一件毎ニ生絲五本ヲ採リ各二回ツ、検査シ其ノ平均ニ依リテ之ヲ定ムルモノトス

○生絲検査所處務規程 明治三十七年七月一日(改正 三十八年六月八日農商務省訓令第八號)

第一條 生絲検査所ニ正量、品位、調査ノ三部及庶務ノ一課ヲ置キ左ノ事務ヲ掌ル

正量部

- 一 生絲ノ原量、正量及練減検査ニ關スル事項
- 一 原量、正量及練減檢定證調製ニ關スル事項

品位部

- 一 生絲ノ品位検査ニ關スル事項
- 一 生絲整理工養成ニ關スル事項
- 一 品位檢定證調製ニ關スル事項

調査部

- 一 検査成績報告ニ關スル事項

- 一 生絲検査方法ノ研究調査及質問應答ニ關スル事項
- 一 蠶絲業ニ關スル標本ノ蒐集ニ關スル事項

庶務課

- 一 所長ノ官印及所印ノ保管ニ關スル事項
  - 一 所員ノ進退身分ニ關スル事項
  - 一 會計ニ關スル事項
  - 一 所内取締ニ關スル事項
  - 一 其ノ他各部ノ主管ニ屬セサル事項
- 第二條 生絲検査所長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ法律命令ノ執行及主管事務ノ處理ニ付其ノ責ニ任ス
- 第三條 所長事故アルトキハ部下ノ官吏ニ代理ヲ命シ又ハ主管事務ノ一部ヲ委任スルコトヲ得
- 第四條 所長ハ事務處理ノ爲メ經伺ノ上所中處務細則ヲ設クルコトヲ得
- 第五條 所長ハ部下ノ官吏ノ歸省、看護、墓參、轉地療養願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得
- 第六條 所長ハ月俸貳拾圓又ハ日給八拾錢ヲ超エサル雇員ノ採用解免ハ之ヲ專行スルコトヲ得
- 第七條 所長ハ其主管事務ニ付各官廳ニ照會往復スルコトヲ得
- 第八條 製絲ノ事業ニ關シ旅費ヲ負擔シ所員ノ出張、巡回ヲ請フモノアルトキハ所長之ヲ許否ス此ノ場合ニ於テハ所長出張、巡回ヲ要スルコトキハ日數十日以内ナルトキハ其旨農商務大臣ニ報告シ十日ヲ超ユルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ請フヘシ
- 第九條 所長ハ所務ノ爲所員ニ出張、巡回ヲ命スルコトヲ得但シ所長出張、巡回ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ旨農商務大臣ニ報告スヘシ
- 第十條 所長ハ検査請求者ニ交付スヘキ檢定證ニ署名スヘシ

第十一條 所長ハ毎年一回検査成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ臨時必要ト認ムル検査成績ハ其ノ都度之ヲ報告スヘシ

第十二條 所長ハ生絲整理工ヲ入所セシムルコトヲ得生絲整理工ノ費用ハ自辨トス

生絲整理工ニ關スル規程及其ノ人員ハ所長之ヲ定ム

第十三條 農商務大臣ニ經伺又ハ報告ヲ要スル事項ハ總テ農務局長ヲ經由スヘシ

○生絲検査所處務細則

明治三十七年七月一日 (改正三十八年六月一日) 決議 (四十二年七月十二日)

第一章 總 則

第一條 本所ニ正量、品位、調査ノ三部及庶務ノ一課ヲ置ク

第二條 正量部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 原量、正量及練減検査請求書ノ受理ニ關スルコト
- 二 原量、正量及練減検査生絲ノ荷受并預書交付ニ關スルコト
- 三 原量及正量検査生絲ノ總全量秤定ニ關スルコト
- 四 原量及正量検査生絲ノ總風袋量秤定ニ關スルコト
- 五 正量及練減検査用料絲ノ拔取ニ關スルコト
- 六 正量及練減検査用料絲ノ原量秤定ニ關スルコト
- 七 正量及練減検査用料絲ノ乾燥ニ關スルコト
- 八 原量、正量及練減検査成績ノ計算ニ關スルコト
- 九 原量、正量及練減検査成績表ノ調製ニ關スルコト

十 検査濟料絲ノ整理ニ關スルコト

十一 検査濟生絲ノ封印ニ關スルコト

十二 原量、正量及練減検査定證ノ調製ニ關スルコト

十三 検査濟生絲並ニ檢定證ヲ請求者ヘ交付スルコト

十四 練減検査用料絲ノ精練ニ關スルコト

十五 所屬検査室并ニ諸器械ノ管理ニ關スルコト

十六 所屬定備夫並ニ工女ノ取締ニ關スルコト

十七 右ノ外原量、正量及練減検査ニ必要ナル事項

第三條 品位部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 品位検査請求書ノ受理ニ關スルコト

二 品位検査生絲ノ荷受及預書交付ニ關スルコト

三 品位検査生絲ノ肉眼鑑定ニ關スルコト

四 品位検査用料絲ノ拔取ニ關スルコト

五 再練検査ニ關スルコト

六 織度用料絲ノ繰取ニ關スルコト

七 織度用料絲ノ秤定ニ關スルコト

八 類節検査ニ關スルコト

九 強力及伸度ノ検査ニ關スルコト

十 品位検査成績ノ計算ニ關スルコト

十一 品位検査成績表ノ調製ニ關スルコト

生絲検査所處務細則

- 十二 検査済料糸ノ整理ニ關スルコト
  - 十三 品位檢定證ノ調製ニ關スルコト
  - 十四 検査済生絲并ニ檢定證ヲ請求者ニ交付スルコト
  - 十五 所屬検査室并ニ諸器械ノ管理ニ關スルコト
  - 十六 検査供用殘絲ノ整理ニ關スルコト
  - 十七 生絲整理工ノ養成ニ關スルコト
  - 十八 所屬定備夫并ニ工女ノ取締ニ關スルコト
  - 十九 右ノ外品位検査ニ關シ必要ナル事項
- 第四條 調査部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 検査成績ノ月報并ニ年報編纂ニ關スルコト
  - 二 内外蠶絲業ノ狀況調査ニ關スルコト
  - 三 生絲検査方法ノ研究調査ニ關スルコト
  - 四 生絲検査ニ關係アル質問應答ニ關スルコト
  - 五 蠶絲業ニ關係セル各種標本ノ蒐集及陳列ニ關スルコト
  - 六 標本室ノ管理ニ關スルコト
  - 七 所屬器械ノ管理ニ關スルコト
- 第五條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 所員ノ進退身分ニ關スルコト
  - 二 所長ノ官印及所印ノ保管ニ關スルコト
  - 三 文書其他物件ノ受入及發送ニ關スルコト
  - 四 文書ノ編纂及記録圖書ノ保管ニ關スルコト
  - 五 事務功程編纂ニ關スルコト
  - 六 官報及其ノ他ノ報告ニ關スルコト
  - 七 試験及研究ニ關スル生絲検査請求書ノ處理ニ關スルコト
  - 八 出勤簿并當宿直ニ關スルコト
  - 九 會計事務ニ關スルコト
  - 十 官有財産及物品會計ニ關スルコト
  - 十一 經費及諸收入ノ豫算及決算ニ關スルコト
  - 十二 所内取締ニ關スルコト
  - 十三 守衛、小使及給仕ノ取締ニ關スルコト
  - 十四 其ノ他各部ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第六條 部ニ部長ヲ、課ニ課長ヲ置ク
- 部課長ハ所長ノ指揮監督ヲ承ケ分擔ノ事務ニ付其ノ責ニ任ス

第二章 檢 査

第七條 生絲検査請求書ハ原量、正量及練減ニ係ルモノハ正量部ニ於テ品位ニ係ルモノハ品位部ニ於テ之ヲ受理シ其ノ検査用生絲ト照合シタル後荷受番號ヲ記入シ簿冊へ登記ノ上整理スヘシ但シ施行細則第三條ノ検査請求書ハ庶務課ニ於テ之ヲ受入シ所長ノ檢印ヲ受ケ検査用料糸ト共ニ主務部ニ回付スヘシ

第八條 正量部、品位部ニ於テ前條ノ生絲ヲ受入シタルトキハ施行細則第八條ニ依ル乙號雛形ノ預書ニ其ノ部長印ヲ押捺シ之ヲ請求者ニ交付スヘシ



第九條 正量部、品位部ニ於テ前條ノ手續ヲ終リタルトキハ速ニ検査ヲ施シ検査表ニ其ノ成績ヲ記入シ審査ノ上検査正副二通ヲ調製スヘシ

前項検査正副ニハ所長ノ署名ヲ受クヘシ  
第十條 正量部品位部ニ於テ検査終了シタル後ハ其ノ料絲ヲ整理シ還付ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 第九條ノ検査正副ニ於テ原量及正量ノ検査ニ在リテハ其ノ正證ハ之ヲ生絲ノ包装中へ挿入シテ封印ヲナシ副證ハ之ヲ請求者ニ交付シ練減及品位ノ検査ニ在リテハ二通トモ之ヲ請求者ニ交付シ第八條ノ預書ト引換ニ其ノ生絲ヲ請求者ニ還付スヘシ

第十二條 施行細則第七條ニ依リ検査請求ヲ却下セントスルトキ又ハ其ノ請求ノ異例ニ屬スルモノナルトキハ所長ノ決裁ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

第十三條 正量部、品位部ニ於テ受理シタル請求書並検査交付済ノ検査表ハ毎日之ヲ取纏メ調査部ニ回付スヘシ

第十四條 調査部ニ於テハ前條ノ請求書并検査表ヲ分類シ一ヶ月毎ニ成册シ之ヲ保管スヘシ

第十五條 調査部ニ於テハ毎日ノ検査件數ハ其ノ日限リ前月分ノ検査成績ハ其ノ翌月十五日限リ前月分ノ検査成績ハ其ノ翌年三月三十一日限リ編纂ノ上所長へ報告スヘシ

第三章 文書及編纂

第十六條 本所ニ到達スル文書其ノ他ノ物件ニシテ各部ノ主管ニ屬セサルモノハ庶務課ニ於テ之ヲ接受シ往復主任直ニ之ヲ開封シ其ノ年月日番號件名ヲ簿冊ニ記入シ所長ノ檢印ヲ受ケ各主務部ニ配付スヘシ但シ親展書ハ直ニ名宛人ニ送付スヘシ

第十七條 退所時間後本所ニ到達シタル文書ハ翌日午前十時迄ニ取纏メ前條ノ手續ヲナスヘシ但シ緊急重要ノ事件ハ宿直ヲシテ取扱ハシム其ノ規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 事務ヲ處理スルニハ主務部課ニ於テ之ヲ調査シ關係ノ各部課ニ合議シテ所長ノ決裁ヲ受クヘシ但シ至急ヲ要スル場合ニハ主務部課ニ於テ直ニ所長ノ決裁ヲ請ヒ執行シタル後速ニ其ノ成案ヲ關係ノ各部課ニ回付スヘシ

第十九條 各部ニ於テ調査シタル成案ハ其件名番號ヲ簿冊ニ記入シテ之ヲ庶務課ニ回送シ庶務課ハ之ヲ簿冊ニ記入シテ所長ニ提出スヘシ

第二十條 至急ヲ要スル成案ハ主務部ニ於テ之ニ赤色ノ紙片ヲ貼付シ庶務課ニ於テハ之ヲ通常ノ文書ト區分シテ所長ニ提出スヘシ

第二十一條 庶務課ニ於テ決裁済ノ成案ヲ接受シタルトキハ其ノ發送ヲ要スルモノハ淨書捺印シ之ニ番號ヲ附シ發送ノ手續ヲナシタル後其ノ旨ヲ簿冊ニ記入シ其ノ發送ヲ要セサルモノハ決裁ノ年月日ヲ文書及簿冊ニ記入シ之ヲ保存スヘシ

第二十二條 緊急又ハ機密ニ屬スル文書ハ通常ノ手續ニ依ラス主任者自ラ携持シテ關係部員下面議商量シ所長ノ決裁ヲ請ヒ施行スルコトヲ得但シ施行後速ニ通常ノ手續ヲ履行スヘシ

第二十三條 公文ニ添付スヘキ附屬書類及圖表ハ主務部ニ於テ之ヲ調製シ庶務課ニ回送スヘシ

第二十四條 庶務課ニ於テ文書ヲ各部ニ送付シタルトキハ受領者ハ簿冊ニ檢印スヘシ

第二十五條 一般事務ニ關スル文書ハ曆年度ニ會計ニ關スル文書ハ會計年度ニ區別シ左ノ保存期限ニ依リ之ヲ編纂スヘシ

- 一 永久保存 諸令達其ノ他例規徵證ニ備フヘキモノ
- 二 三十ヶ年保存 調査參考ニ供スヘキモノ
- 三 三十ヶ年保存 例規ニ依リ處分シタルモノ及質問應答ニ關スルモノ
- 四 三ヶ年保存 検査成績表

五 一ヶ年保存 検査請求書及一時限リ處辨ヲ了シタルモノ  
 第二十六條 文書ヲ成册シタルトキハ册首ニ件名ヲ附シテ檢索ノ便ニ供スヘシ

第四章 物品及會計

第二十七條 各部ニ於テ臨時備入又ハ物品ノ購入及修繕ヲ要スルトキハ各部主任ハ其ノ必要ノ事由ヲ記シ主務部長之ニ檢印シ庶務課ニ請求スヘシ

第二十八條 庶務課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ所長ノ決裁ヲ經テ制規ニ依リ之カ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 庶務課ニ於テハ毎月ノ支出計算表及約束仕拂豫算殘高表ヲ翌月十日迄ニ調製シ之ヲ所長ニ提出スヘシ

第三十條 物品取扱主任ハ物品會計規程ニ基キ物品ノ受拂其ノ他諸般ノ整理ヲ爲スヘシ

第三十一條 物品取扱主任ハ毎年三月九月ノ兩回ニ於テ各部物品擔當主任立會ノ上臺帳ニ就キ現品ヲ點檢スヘシ

第三十二條 官有財産取扱主任ハ本所所管ノ營造物ノ管理其ノ他諸般ノ整理ヲナスヘシ

第三十三條 庶務課ニ圖書臺帳ヲ備ヘ其ノ購入ニ係ルモノト寄贈ニ係ルモノトヲ問ハス名稱、冊數其ノ他必要ナル事項ヲ臺帳ニ記入シ番號ヲ附スヘシ但シ雜書類ハ便宜ノ方法ニ依リ之ヲ處理スルコトヲ得

第三十四條 所員ヨリ圖書ノ借覽ヲ申出タルトキハ借用證ヲ徴シタル後之ヲ貸渡スヘシ  
 第三十五條 庶務課ニ於テハ時々圖書ノ點檢ヲ爲シ又隔月一回借用證ヲ調査シ貸與久シキニ渡ルモノアルトキハ其ノ必要ノ有無ヲ糺シ之ヲ整理スヘシ

帯紙一枚  
 箱紙一枚  
 包紙一枚

正量検査表

荷受番號	請求者	製産地	金巾袋量	總風袋量	總原量	總原量 Log.	無水量 Log.	殘量 Log.	0.11ノLog.	總無水量	總原量ノ正差	總原量	100ト正量百分比例ノ差	
													同上 Log.	同上 Log. (10)
A	3					1.	2.	1.	1.0	4	1	3	9	3
B	3													
計	6													
C	3													
計	9													

開始時分

練減検査表

年月日

荷受番號	製產地	請求者	記號番號	檢定證番號	函番號
	原量	無水量	練減後無水量	練減量	練減率
A					
B					
計					
C					
計					

丙

品位検査表

再織類強	檢定證番號	函番號
繰度節伸	記號番號	
荷受番號	請求者	生産地製産者
再繰	織度	
順	順	五百メートルノ瓦量
1	1	
2	1	
3	2	
4	2	
5	3	
計	計	
工女壹人受特籤數		平均
壹分時間回轉數		總正量
5 0		平均
備考		細太差
額節		強力伸度
順	大額數	小額數
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
計	計	計
平均	平均	平均

生絲検査處務細則

○生絲検査所長委任條件 明治三十六年十二月十二日

文發第百十五號

農事試驗場長委任條件參照

第二十五章 種畜牧場並ニ種牛所及牛疫血清製造所

○種畜牧場ノ名稱及位置ノ件 明治四十一年四月九日

農商務省告示第五十二號

種畜牧場ノ名稱及位置左ノ通相定ム

名 稱 位 置

ナナツカハラ

七塚原種畜牧場

廣島縣比婆郡山内東村

ツキサツブ

月寒種畜牧場

北海道札幌郡豐平村及北海道空知郡瀧川村

月寒種畜牧場瀧谷分場(種畜種豚所)

東京府豐多摩郡瀧谷村

○種牛所ノ設置名稱位置ノ件 明治四十三年六月六日

農商務省告示第二百九十七號

大分縣管下ニ種牛所ヲ設置ス其ノ名稱位置左ノ通相定ム

名 稱 位 置

大分種牛所

大分縣速見郡朝日村大字鶴見

假事務所設置

四十三年六月二十日官報

大分種牛所假事務所ハ當分ノ内大分縣速見郡別府町大字別府字郷谷千七百七番ノ一ニ設ケ事務ヲ取扱フコトトセリ

○種畜牧場及種牛所處務規程 明治四十三年四月四日

農商務省訓令第八號

種畜牧場及種牛所處務規程左ノ通相定ム

第一條 種畜牧場長及種牛所長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ニ付其ノ責ニ任ス

第二條 種畜牧場長及種牛所長事故アルトキハ部下ノ官吏ニ代理ヲ命シ又ハ主管事務ノ幾分ヲ委任シ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ處辨セシムルコトヲ得

第三條 種畜牧場長及種牛所長ハ特別ノ規程アルモノヲ除クノ外左ニ掲クル事項ハ之ヲ專決スルコトヲ得

一 判任官以下ノ歸省、看護、墓參、轉地療養ノ出願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコト

二 月俸二十圓又ハ日給六十錢ヲ超エサル雇員ヲ採用又ハ解免スルコト

三 第八條ニ依リ認可ヲ受ケタル出張種付實施、輸入動物受取ノ爲メ場員ニ出張ヲ命シ又ハ一週間以内ニ於テ牧場用務ノ爲メ場員ニ出張ヲ命スルコト

四 物品會計官吏ヲ命免スルコト

五 一廉金二百圓ヲ超エサル印刷物ノ調製、物件ノ購買、借入、運搬及一廉金五百圓ヲ超エサル飼料ノ購買、人夫職工雇備ノ件

六 一廉金百圓ヲ超エサル建設物修繕ノ件

七 工事及物件ノ賣買、貸借ニ關シ佃濟ノ範圍内ニ於テ會計規則第七十五條ノ豫定價格ヲ指定スル

生絲検査所長委任條件 種畜牧場ノ名稱及位置ノ件 種牛所ノ設置、名稱、位置ノ件 種畜牧場及種牛所處務規程 五四九

- 八 明治二十三年勅令第九十三號ニ依リ隨意契約ヲ締結スルコト
- 九 生産物又ハ不用物品ニシテ見積價格一廉金二百圓ヲ超エサルモノヲ處分スルコト
- 十 常備夫ノ採用、解免及慰勞金ヲ給與スルコト
- 第四條 種畜牧場長及種牛所長ハ左記各號ノ官吏若クハ主任トス
  - 一 種畜牧場種牛所ノ經費ノ現金前渡ヲ受クル官吏
  - 二 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ契約擔任官吏、會計規則第六十七條ノ監督及検査ヲ行フ官吏
  - 三 物品出納命令官並物品會計規則第十條ノ二第十一條ノ検査官吏
  - 四 收入官吏、歳入歳出外現金出納官吏及保管物取扱主任
- 第五條 種畜牧場長及種牛所長ハ事務處理ノ爲經同ノ上處務細則ヲ設クルコトヲ得
- 第六條 種畜牧場長及種牛所長ハ其ノ主管事務ニ付各官廳ニ照會應答スルコトヲ得
- 第七條 種畜牧場長及種牛所長ハ新ニ事業ヲ開始セントスルトキハ其ノ業務ノ豫定及其ノ擔任ヲ定メ認可ヲ受クヘシ
- 第八條 種畜牧場長及種牛所長出張種付ヲ開始セムトスルトキハ豫メ出張地、種畜ノ種類、頭數、日數出張人員、旅費、經費等詳細ナル計畫ヲ定メ認可ヲ受クヘシ
- 第九條 種畜牧場長及種牛所長第三條第三項ノ用務ニ因リ出張ヲ要スル場合ニ於テ日數十日以内ナルトキハ出張歸任ノ後遲滞ナク其ノ旨ヲ報告シ十日ヲ超ユルトキハ認可ヲ受クヘシ
- 第十條 種畜牧場長及種牛所長ハ毎月五日限リ前月中ニ於テ第三條ニ依リ專決シタル雇員ノ氏名給額採用月日履歷、場員ノ出張用務出張地、日數、人名、旅費額ヲ報告スヘシ
- 第十一條 現金前渡ヲ受クル官吏ハ每一箇月分ノ金額ヲ豫定シ現金前渡ヲ請求スルコトヲ得

第十二條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ其ノ前渡金ノ各目流用ニ付テハ之ヲ專決スルコトヲ得

第十三條 種畜牧場長及種牛所長ハ前年度ニ於テ施行セル主管業務ノ成績ヲ審査編纂シ四月末日限リ報告スヘシ

本規程ハ種畜牧場分場ニ付其ノ分場長及現金前渡ヲ受クル官吏ニ之ヲ準用ス

附 則

明治四十一年四月農商務省訓令第十一號種畜牧場處務規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○種畜牧場種畜拂下規程 明治四十二年六月廿九日 農商務省令第三十號

- 第一條 本規程ニ於テ種畜ト稱スルハ種牛、種豚、種緬羊ヲ謂フ
- 第二條 種畜ヲ拂受ケントスル者ハ別記書式ニ依リ隨時種畜牧場長ニ拂下願書ヲ提出スヘシ
- 第三條 前條ノ出願アリタルトキハ種畜牧場長ハ現ニ拂下クヘキ種畜ノ種類性生年月日及拂下代價ヲ出願人ニ通知シ期間ヲ指定シテ拂受希望ノ種畜ヲ選定シテ之ヲ届出テシムヘシ
- 出願人ニ於テ指定期間内ニ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ出願ハ其効力ヲ失フ
- 第四條 種畜牧場長出願ヲ許可シタルトキハ代金納付ノ期限及種畜引渡ノ期間ヲ指定シ拂下許可證ヲ下付スヘシ
- 第五條 拂受人正當ノ事由ナクシテ前條指定期限迄ニ拂下代金ヲ納セサルトキハ拂下ノ許可ハ其ノ効力ヲ失フ
- 第六條 拂受人種畜ノ引渡ヲ請求スルトキハ拂下許可證及代金納付ノ證書ヲ種畜牧場長ニ呈示スヘシ 拂受人前項ノ書面ヲ呈セサルトキト雖種畜牧場長ニ於テ其ノ拂下許可ヲ受ケ且拂下代金ヲ納付シタ

ル者ナルコトヲ認メタルトキハ引渡ヲ爲スコトヲ得  
種畜牧場長ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時タリトモ拂受人ニ通知シテ種畜引渡ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第七條 拂受人引渡期間内ニ引渡ヲ請求セサルトキハ期間後一頭ニ付種牛ニ在リテハ一日金五十錢、種豚、種緬羊ニ在リテハ一日金十五錢ノ割合ヲ以テ飼養費ヲ引渡請求ノ際納付スヘシ

第八條 拂受人引渡期間後二週内ニ引渡ヲ請求セサルトキハ拂下ノ許可ハ其効力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ既納ノ代金ハ之ヲ還付セス

第九條 引渡前ニ於テ拂下ノ目的タル種畜力滅失シ又ハ廢疾ニ罹リタルトキハ拂受人ノ請求ニ因リ代金ヲ還付スヘシ

拂受人ハ隠レタル瑕玼ヲ事由トシテ拂下許可ノ取消代金ノ減額又ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第十條 種畜牧場長ハ拂受人ニ種畜引渡ノ際其ノ血統證ヲ交付スヘシ

第十一條 拂下種畜ノ所有者又ハ管理者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ  
一 拂受ケタル種畜斃死若クハ逸走シ又ハ之ヲ屠殺シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ三十日以内ニ種畜牧場長ニ届出テ同時ニ血統證ヲ返納スヘシ

二 前年ニ於ケル拂受種畜ノ交尾蕃殖ノ狀況、仔畜ノ生育、改良ノ成績等ヲ毎年一月三十一日迄ニ種畜牧場長ニ報告スヘシ

三 種畜ノ飼養管理及改良上ニ關シ農商務大臣又ハ種畜牧場長ヨリ諮問アリタルトキハ遲滞ナク之ニ答申スヘシ

附則

種牛牧場種豚拂下規程及種牛牧場種牛拂下規程ハ之ヲ廢止ス

(別記書式)

種牛(豚)(緬羊)拂下願

一 何々種 牡(牝)牛(豚)(緬羊) 頭

一同 同 同

右種畜牧場種畜拂下規程ヲ遵守シ牛(豚)(緬羊)ノ改良蕃殖ニ從事致度候間拂下相願候也

年 月 日

住所職業

氏

名

何々種畜牧場長宛

○種豚拂下ノ件

明治四十一年十月三十一日  
農商務省告示第三百七十八號

七塚原種畜牧場ニ於テハ自今種豚ノ拂下ヲ行ハサルニ付明治三十八年農商務省令第八號種豚拂下規程ニ依リ差出スヘキ願書ハ自今東京府豊多摩郡月寒種畜牧場澁谷分場ニ差出スヘシ

備考

省令第八號種豚拂下規程ハ四十二年六月廿九日農商務省令第三十號種畜牧場種畜拂下規程ノ發布ニ依リ廢止トナル

○牛馬ノ賣買及貨渡ニ關スル隨意契約ノ件

明治三十八年十二月十二日  
勅令第二百六十五號

農商務省ニ於テ牛馬改良ノ爲牛馬ノ賣買及貨渡ヲ爲ストキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

種豚拂下ノ件 牛馬ノ賣買及貨渡ニ關スル隨意契約ノ件

○燕麥購入ニ關スル隨意契約ノ件 明治四十年六月十二日 勅令第二百廿七號 (改正勅令一號)  
種馬牧場、種馬育成所種馬所又ハ種畜牧場ニ於テ燕麥又ハ乾草ノ購入ヲ爲ストキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

○種牡牛馬種付料ニ關スル件 明治三十九年五月十二日 (改正勅令二五五號) 勅令第四百四號

種馬所種馬牧場種牛所及種畜牧場ノ保管ニ屬スル種牡牛馬ノ種付ヲ受クル者ハ種付料ヲ納付スヘシ但シ國又ハ公共團體ニ於テ種付ヲ受クルトキハ此限ニ在ラス  
種付料ヲ納付スヘキ種牡牛馬及其ノ種付料ハ主務大臣之ヲ定ム  
種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附 則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○種禽及種卵ノ拂下代金納付ニ關スル件 明治三十九年十二月二十四日 勅令第三百十六號

種牛牧場ノ保管ニ屬スル種禽及種卵ノ拂下代金ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ  
附 則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○種豚種付料ニ關スル件 明治三十九年十二月二十四日 勅令三百十七號

種牛牧場ノ保管ニスル種豚ノ種付ヲ受クル者ハ種付料ヲ納付スヘシ  
種付料ヲ納付スヘキ種豚及其ノ種付料ハ主務大臣之ヲ定ム  
種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附 則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○種牡綿羊種牡山羊種付料ニ關スル件 明治四十二年七月五日 勅令第八十一號

種畜牧場ノ保管ニ屬スル種牡綿羊及種牡山羊ノ種付ヲ受クル者ハ種付料ヲ納付スヘシ  
種付ヲ爲スヘキ種牡綿羊及種牡山羊並其ノ種付料ハ主務大臣之ヲ定ム  
種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附 則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○種畜種付規則 明治四十年五月二十一日 (改正四十二年省令第三二號) 農商務省令第十三號

第一條 左ニ掲クル資格ヲ有スル牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊ノ所有者又ハ管理者ハ種畜牧場、種牛所ニ種牡牛、種牡豚、種牡綿羊又ハ種牡山羊ノ種付ヲ出願スルコトヲ得  
一 牝牛ニ在リテハ年齢滿二歳以上牝豚ニ在リテハ年齢滿十箇月以上牝綿羊又ハ牝山羊ニ在リテハ年齢滿十八箇月以上ナルコト  
一 牝牛ニ在リテハ身幹四尺以上ニ達シ又ハ體格均稱宜シキモノナルコト  
一 惡質ノ疾病又ハ惡癖ナキコト  
一 體格優等、體質健全ナルコト

種畜購入ニ關スル隨意契約ノ件 種牡牛馬種付料ニ關スル件 種禽及種卵ノ拂下代金納付ニ關スル件 種豚種付料ニ關スル件 種牡綿羊種牡山羊種付料ニ關スル件 種畜種付規則

前項ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ニ依ル願書ヲ種畜牧場長、種牛所長ニ差出スヘシ

第二條 種付ヲ行フ種畜牧場、種牛所並種付ヲ行フヘキ種牝牛、種牝豚、種牝緬羊又ハ種牝山羊ノ種類ハ農商務大臣之ヲ告示ス

第三條 第一條ノ出願アリタルトキハ種畜牧場長、種牛所長ハ期日及場所ヲ定メ出願人ヲシテ牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ヲ付ケシメ第一條第一項各號ノ事項ヲ検査シ検査ニ合格シタル牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ニ付種付合格證ヲ交付スヘシ

前項ノ期日及場所ニ牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ヲ牽付ケサルトキハ出願ハ其ノ効力ヲ失フ種付合格證ハ牝牛ニ在リテハ百日間牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ニ在リテハ五十日間有効トス

種付ヲ受クヘキ牝牛牝豚牝緬羊又ハ牝山羊カ種付合格證下付後第一條第一項ノ資格ヲ喪失シタルトキハ種付合格證ハ其ノ効力ヲ失フ

第四條 種畜牧場長、種牛所長ハ前條第一項ノ検査ニ合格シタル牝牛牝豚牝緬羊又ハ牝山羊ニ付種付ヲ行フヘキ日時及場所ヲ定メ出願人ニ通告スヘシ

第五條 牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ニ付種付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其承繼人ハ種付ヲ受クル際種付合格證ヲ携帶シ之ヲ當該吏員ニ示スヘシ

第六條 牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊第一回ノ種付ヲ以テ受胎セサル場合ニ於テハ第一回種付ノ日ヨリ牝牛ニ在リテハ六十日以内牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ニ在リテハ三十日以内ニ於テ第二回ノ種付ヲ請求スルコトヲ得

第九條ニ依リ種付施行ヲ延期シタル日數ハ前項ノ期間ニ之ヲ算入セス

第三條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ種付合格證ノ有効期間ヲ經過シタルモノノ外牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ノ検査ヲ行ハス

第七條 種付ヲ受クル者ハ第一回ノ種付ヲ受ケムトスル際種付料トシテ牝牛ニ在リテハ一頭ニ付金一圓牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ニ在リテハ一頭ニ付金一圓ヲ納付スヘシ

前條ニ依ル第二回ノ種付ニ付テハ種付料ヲ要セス

第八條 種付料ヲ納付セントスル者ハ第二號様式ニ依ル納付料ニ相當スル收入印紙ヲ貼付シ之ヲ種畜牧場長、種牛所長ニ差出スヘシ

前項ノ納付アリタルトキハ種畜牧場長、種牛所長ハ其ノ適法ナルコトヲ認メタル後納付書ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニ掛ケ消印ヲ押捺スヘシ

既納ノ種付料ハ之ヲ還付セス其過剩アル場合亦同シ

第九條 種畜牧場長、種牛所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ検査又ハ種付ノ施行ヲ延期スルコトヲ得

一 種畜牧場、種牛所ニ於テ指定ノ期日ニ検査又ハ種付ヲ施行スルコト能ハサルトキ

一 牝牛、牝豚、牝緬羊若ハ牝山羊ノ飼養地又ハ其ノ附近又ハ牽付ノ際經過スヘキ地方ニ於テ獸畜傳染病ノ發生又ハ流行スルトキ

一 種牝牛、種牝豚、種牝緬羊若ハ種牝山羊又ハ検査若ハ種付ヲ受クヘキ牝牛、牝豚、牝緬羊若ハ牝山羊ノ疾病、傷痕其ノ他ノ事由ニ因リ検査又ハ種付ヲ行フコト能ハス又ハ種付ニ害アリト認メタルトキ

一 疾病又ハ傷痕ニ因リ牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊ヲ牽付クルコト能ハサルトキ

検査又ハ種付ヲ受クル者其ノ牝牛、牝豚、牝緬羊又ハ牝山羊カ前項第三號又ハ第四號ニ該當スル爲其ノ延期ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ検査又ハ種付ヲ受クヘキ期日ヲ豫定シテ種畜牧場長種牛所長ニ届出ツヘシ

種畜種付規則



第四條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 種畜牧場長、種牛所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ種付ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一 種付ヲ行フヘキ期日及場所ニ牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊ヲ添付ケサル者

一 第七條ニ依リ種付料ヲ納付セサル者

一 種付ヲ受クヘキ者種付施行ニ付異議ヲ述ヘ又ハ當該吏員ノ指揮ニ從ハサル者

第十一條 種牝牛、種牝豚、種牝綿羊又ハ種牝山羊ノ斃死、疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ種付

ヲ行フコト能ハサルトキハ種畜牧場長、種牛所長ハ種付ヲ受クヘキ者ノ同意ヲ得テ種牝牛、種牝豚、

種牝綿羊又ハ種牝山羊ノ種類ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ種付ヲ受クヘキ者種牝牛、種牝豚、種牝綿羊又ハ種牝山羊ノ種類ノ變更ニ同意セ

サルトキハ種付ノ許可ハ取消スコトヲ得

第十二條 種付ヲ受ケタル者ハ種付ニ因リ生シタル損害ニ對シ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊ニ種付ヲ受ケタル者又ハ其ノ承繼人ハ其ノ仔牛、仔豚、仔綿

羊又ハ仔山羊ニ付血統證ノ下付ヲ種畜牧場長、種牛所長ニ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ種畜

牧場長、種牛所長ノ指定ニ從ヒ仔牛、仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊ノ検査ヲ受クヘシ

第十四條 種付ヲ受ケタル牝牛、牝豚、牝綿羊若ハ牝山羊又ハ其ノ仔牛、仔豚、仔綿羊若ハ仔山羊ノ

所有者又ハ管理者ハ遲滞ナク左記ノ事項ヲ種畜牧場長、種牛所長ニ届出ツヘシ

一 牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊ノ分娩前之ヲ讓渡シタルトキハ其ノ年月日、讓受人ノ氏名、住

所、牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊斃死シタルトキハ其ノ年月日及事由

一 牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊分娩シタルトキハ生産ニ在リテハ其ノ年月日、仔牛ノ性、毛色

又ハ仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊ノ數及性死産ニ在リテハ其ノ年月日、數、性及事由

一 仔牛、仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊ヲ讓渡シタルトキハ其ノ年月日、價額、讓受人ノ氏名、住所、

仔牛、仔豚、仔綿羊又ハ仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊斃死シタルトキハ其ノ年月日及事由

第十五條 種畜牧場長、種牛所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ種付出願ヲ許可セサルコトヲ得

一 種付ヲ受ケタル牝牛、牝豚、牝綿羊、又ハ牝山羊又ハ其ノ仔牛、仔豚、仔綿羊若ハ仔山羊ノ飼

養其ノ他ノ管理ヲ怠リタル者

一 第十條ニ依リ種付ノ許可ヲ取消サレタル者

一 前條ノ届出ヲ怠リタル者

第十六條 種牝牛ノ種付ハ種畜牧場、種牛所吏員各地ニ出張シテ之ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ本則ニ依ル種畜牧場長、種牛所長ノ職務ハ出張吏員ヲシテ之ヲ行ハシムルコト

ヲ得

第十七條 前條ノ場合ニ於テ種付ヲ行フヘキ期間、場所及種牝牛ノ種類並願書差出期間及場所等ハ豫

メ之ヲ公告スヘシ

第十八條 刪 除

第十九條 明治三十七年農商務省令第二號ハ之ヲ廢止ス

第一號株式ノ一

種牝牛種付願

一何種牝牛

毛 色

産 地

血 統

生 年 月

名 號

身 幹

父何種

母何種

毛 色

産 地

種畜種付規則

右種畜種付規則ヲ遵守致候間何種種牝牛ノ種付御許可相成度此段相願候也

年 月 日

住 所

所有者又ハ管理者 氏

名 印

種畜牧場長、種牛所長宛

第一號様式ノ二

種牝豚(緬羊)(山羊)種付願

一 何種牝豚(緬羊)(山羊)

毛 色 生 年 月

産 地

血 統

父何種 母何種

毛 色

産 地

右種畜種付規則ヲ遵守致候間何種種牝豚(緬羊)(山羊)ノ種付御許可相成度此段相願候也

年 月 日

住 所

所有者又ハ管理者 氏

名 印

種畜牧場長、種牛所長宛

第二號様式

種牝牛(豚)(緬羊)(山羊)種付料納付書

一 金 何 圓

收 入 印 紙

但シ何種種牝牛(豚)(緬羊)(山羊)種付料

右納付候也

住 所

所有者又ハ管理者 氏

名 印

年 月 日

種畜牧場長、種牛所長宛

注 意

一 收入印紙ハ消印スヘカラス

○種付ヲ行フ種畜牧場及種畜

明治四十二年七月二日 農商務省告示第三百七號

種畜種付規則ニ依リ種付ヲ行フ種畜牧場及種畜ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 七塚原種畜牧場

種 牝 牛

エーアシヤ種

シンメンタル種

ブラウンスウイス種

一 月寒種畜牧場

種 牝 牛

エーアシヤ種

シンメンタル種

ブラウンスウイス種

種 牝 緬 羊

種付ヲ行フ種畜牧場及種畜

- 一 月寒種畜牧場澁谷分場
  - 種 豚
    - シエロウプミヤ種
    - サウスダウン種
    - パークシヤ種
    - ヨークシヤ種
  - 種 牡山羊
    - ザーネン種

明治四十年農商務省告示第百十八號ハ之ヲ廢止ス

○種付ヲ行フ種畜牧場及種畜 明治四十三年九月二十八日 農商務省告示第百五號

種畜種付規則ニ依リ明治四十三年十月一日ヨリ種付ヲ行フ種牛所及種畜ノ種類左ノ如シ

- 一 大分種牛所
  - エーアシヤ種
  - シンメンタール種
  - ブラウンスウイス種

○種牡牛貸付規程 明治四十二年八月十一日(改正四十四年農商務省令第三十四號)

種牛所長

第一條 種畜牧場長ハ本規程ニ依リ其保管ニ屬スル種牡牛ヲ左ノ各號ニ該當スルモノニテ無償ニテ貸

付スルコトヲ得

- 一 道廳府縣種畜場又ハ畜牛ノ改良蕃殖ヲ行フ爲厩舎、運動場其ノ他必要ノ設備ヲ爲セル道府縣
- 一 産牛馬組合法ニ依リ一道府縣以上ヲ區域トシテ牧場及其他相當ノ設備ヲ爲シ畜牛ノ改良蕃殖ヲ行フ組合又ハ組合聯合會

前項貸付ヲ爲スヘキ種牡牛ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ種畜牧場長、種牛所長之ヲ定ム

第二條 前條ノ貸付ヲ受ケントスルトキハ道廳府縣種畜場及道府縣ニ在テリハ地方長官ヨリ産牛組合又ハ其聯合會ニ在リテハ地方長官ヲ經テ組長ヨリ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ種畜場長、種牛所長ニ差出スヘシ

- 一 貸付ヲ受ケムトスル種牡牛ノ種類、頭數及借受期間
- 一 貸付種牡牛ノ管理及飼養ノ方法並ニ之ニ要スル經費ノ豫算
- 一 種付ヲ行ハントスル牝牛ノ種類見込頭數及場所
- 一 組合又ハ組合聯合會ニアリテハ其種畜ニ關スル道廳府縣種畜場規程第五條第三號乃至第六號ニ掲クル事項

第三條 前條ノ申請書ヲ受ケタルトキハ種畜牧場長、種牛所長ハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第四條 種牡牛貸付許可ノ通知アリタルトキ又ハ貸付期間ノ滿了若ハ其他ノ事由ニ依リ種牡牛ヲ返納スル場合ニ於テハ借受者ハ指定期日及場所ニ於テ之ヲ受領シ又ハ之ヲ返納スヘシ

第五條 種牡牛ノ貸付期間ハ二年以内トス但シ期間滿了ノ後繼續貸付ヲ受ケムトスル者ハ期間滿了ノ日ヨリ二月前ニ其旨ヲ申請スヘシ

第六條 種牡牛ノ借受、管理、飼養、返納ニ關スル一切ノ費用ハ總テ借受者ノ負擔トス

種付ヲ行フ種畜牧場及種畜 種牡牛貸付規程

第七條 借受者ニ於テ種牝牛ノ管理、飼養ヲ怠リタル場合其他種畜牧場、種牛所ニ於テ必要ト認ムル  
トキハ貸付期間内ト雖農商務大臣ノ認可ヲ得テ種牝牛ヲ返納セシムルコトヲ得此場合ニ於テ借受者  
ハ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第八條 貸付種牝牛ニ付失踪、斃死、盜難、疾病其他重要ノ事故アリタルトキハ借受者ハ其事由ヲ具  
シ之ヲ種畜牧場長、種牛所長ニ報告スヘシ但シ斃死ノ場合ニ於テハ獸醫ノ檢案書ヲ添付スヘシ

第九條 借受者ハ種付臺帳ヲ備ヘ配合牝牛ノ種類、年齢、毛色、身幹、產地、特徴、血統、種付ノ年  
月日、受胎ノ有無及所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ記入スヘシ

第十條 貸付種牝牛ニ配シタル牝牛ノ所有者又ハ管理者ヨリ産犢ノ血統證ヲ請求スルトキハ借受者ハ  
之カ交付ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條 借受者ハ貸付種牝牛ニ依リ行フ種付ニ關スル規程ヲ設ケ種畜牧場長、種牛所長ノ認可ヲ受  
クヘシ其之ヲ變更セントスルトキ亦同シ前項ノ規程ニハ種付スヘキ牝牛ノ資格標準及其檢査手續、  
種付料ヲ徵收セムトスルトキハ其金額及徵收方法其他種付ニ關スル必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第十二條 借受者ハ毎年其前年ニ於ケル種付ノ成績及其狀況ヲ地方長官ヲ經テ遲滯ナク種畜牧場長、  
種牛所長ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○種禽種卵拂下規程 明治四十年三月二日 農商務省令第一號

第一條 種禽及種卵ヲ拂受ケムト欲スル者ハ第一號様式ノ願書ニ依リ種牛牧場長ニ出願スヘシ

第二條 拂下クヘキ種禽及種卵ノ種類ハ農商務大臣之ヲ告示ス

第三條 拂下クヘキ種禽及種卵ノ代金左ノ如シ

一種 禽 孵化後二ヶ月以上 一羽ニ付 金一圓五十錢以内  
三ヶ月未満ノモノ 同 金二圓五十錢以内  
孵化後三ヶ月以上 同 金三圓乃至七圓  
四ヶ月未満ノモノ 同 金三圓乃至七圓

第四條 出願者一人ニ拂下クヘキ種禽及種卵ハ一回ニ付各一種類トシ種禽ニ在リテハ雄一羽雌二羽ヲ  
種卵ニ在リテハ六個ヲ超ユルコトヲ得ス

種牛牧場長ハ政府ノ設立シタル學校及農事試驗場、道廳、府縣、郡、市町村又ハ之ニ準スヘキモノ  
又ハ其ノ設立シタル學校及農事試驗場、農事講習所、種畜場及農會ノ出願其ノ他公益事業ノ必要ナ  
リト認メタル出願ニ對シテハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第五條 種牛牧場長出願ヲ許可シタルトキハ種禽及種卵ノ種類、數量、代金及其ノ納付期限並引渡期  
間ヲ指定シ之ヲ出願者ニ通知スヘシ

出願者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ代金納付期限迄ニ拂下代金ニ相當スル收入印紙ヲ第二號様式ニ  
依ル納付書ニ貼付シ消印ヲ爲サスシテ之ヲ納付スヘシ但シ郵便ニ附スルトキハ書留ニテ差出スヘ  
シ

種牛牧場長納付書ヲ收受シタルトキハ之ヲ調査シ種禽及種卵ノ引渡ト同時ニ納付書ノ紙面ト貼付印  
紙ノ彩紋トニ掛ケ消印ヲ押捺スヘシ

第六條 拂受人前條第二項ニ依リ代金ヲ納付シタルトキハ種禽及種卵ノ引渡期間内ニ第三號様式ニ依

ル受領書ヲ差出シ其引渡ヲ受クヘシ

第七條 拂受人種禽及種卵ノ輸送ヲ受ケムト欲スルトキハ第三號様式ニ依ル種禽及種卵ノ受領書ト共

ニ第四號様式ニ依ル託送請求書ヲ差出スヘシ

前項輸送ニ要スル荷送費及運搬費ハ拂受人ノ負擔トシ輸送ヲ引受ケタル者ニ之ヲ支拂フヘシ

輸送ヲ引受ケタル者ニ種禽及種卵ノ交付ヲ爲シタルトキハ引渡ヲ了シタルモノトス

第八條 拂受人ハ何等ノ理由ヲ問ハス納付期限迄ニ拂下代金ヲ納付セス又ハ引渡期間内ニ種禽及種卵

ノ引渡ヲ受ケサルトキハ拂下ノ許可ハ其ノ効力ヲ失フ

第九條 種牛牧場長ニ於テ必要ト認メタルトキハ拂受人ニ通知シテ引渡ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十條 拂受人ハ引渡ヲ受ケタル後ニ於テ種禽及種卵ノ疾病、斃死、損傷又ハ瑕疵ヲ發見シタルトキ

ハ代金ノ返還又ハ減額、代物ノ交付又ハ損害ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

第十一條 拂受人ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一 前年ニ於ケル拂受ケタル種禽及種卵ノ孵化、蕃殖及發育ノ狀況ヲ記載シタル報告書ヲ毎年一月

三十一日迄ニ種牛牧場長ニ差出スヘシ

二 家禽ノ飼養、管理及改良ニ關シ農商務大臣又ハ種牛牧場長ヨリ諮問アリタルトキハ速ニ答申ス

スヘシ

第一號様式ノ一

種禽拂下願

一 第一希望

一何種

一同

種禽

同

雄

雌

孵化後何ヶ月

同

一羽

二羽

右何種ノ拂下ヲ受ケルコト能ハサルトキハ次ノ種禽ヲ拂下ケラレタシ

一 第二希望

一何種

一同

種禽

同

雄

雌

孵化後何ヶ月

同

一羽

二羽

前 同 斷

以下前項ニ準シ順次之ヲ記載スベシ

右種禽種卵拂下規程ヲ遵守致候間御拂下相成度此段相願候也

年 月 日

種牛牧場長宛

住所職業

氏

名

印

注意

一 種禽種卵拂下規程第七條ニ依リ種禽ノ輸送ヲ受ケムト欲スルトキハ其ノ旨願書ニ記載スヘシ

一 種禽及種卵ヲ同時ニ拂受ケムト欲スルトキハ願書ヲ各別ニ調製スヘシ

第一號様式ノ二

種卵拂下願

一 第一希望

一何種

一同

種卵

同

何

箇

右何種ノ拂下ヲ受ケルコト能ハサルトキハ次ノ種卵ヲ拂下ケラレタシ

一 第二希望

一何種

一同

種卵

同

何

箇

種禽種卵拂下規程

前同斷

以下前項ニ準シ順次之ヲ記載スヘシ

右種禽種卵拂下規程ヲ遵守致候間御拂下相成度此段相願候也

住所職業

氏

名

印

年 月 日  
種牛牧場長宛

注意

一 種禽種卵拂下規程第七條ニ依リ種卵ノ輸送ヲ受ケムト欲スルトキハ其ノ旨願書ニ記載スヘシ  
一 種禽及種卵ヲ同時ニ拂受ケムト欲スルトキハ願書ヲ各別ニ調製スヘシ

第二號様式

種禽(又ハ種卵)拂下代金納付書

一何圓何十錢也

明治何年何月何號ヲ以テ拂下許可相成候種禽何羽(又ハ種卵何箇)ノ拂下代金トシテ納付候也

住所

拂受人 何

某

印

年 月 日  
種牛牧場長宛

收
入
印
紙
貼
付

注意

一 拂下代金納付書ハ種禽ト種卵トニ付各別調製シ收入印紙モ各別ニ貼付スヘシ  
一 收入印紙ハ消印スヘカラス

第三號様式

拂下種禽(又ハ種卵)受領書

一何種

種禽

雄

孵化後何箇月

何羽

一同

同

雌

同 同

同

又ハ

一何種

種卵

何箇

右正ニ受領候也

住所

拂受人 何

某

印

年 月 日  
種牛牧場長宛

注意

一 受領書ハ種禽ト種卵トニ付各別ニ調製スヘシ

第四號様式

託送請求書

一何種

種禽

何

羽

又ハ

一何種

種卵

何

箇

右ハ明治何年何月第何號ヲ以テ拂下許可相成候處種禽種卵拂下規程第七條ニ依リ輸送相受度候間御所ニ於テ適當ト御認メノ運送業者ヲシテ荷造費運搬費等總テ到着拂ヲ以テ輸送セシメラレ度此段請求致候也

種禽種卵拂下規程

五六九

住所  
何 某

年月日  
種牛牧場長宛

注意

一 託送請求書ハ種禽ト種卵トニ付各別ニ調製スヘシ

○種禽種卵拂下ニ關スル件

明治四十二年七月五日  
農商務省告示第三百十號

種禽種卵拂下ニ關スル件左ノ通相定ム

- 一 種禽種卵拂下規程ニ依リ差出ヘキ書類ハ月寒種畜牧場澁谷分場ニ之ヲ提出スヘシ
- 二 種禽ハ當分ノ内種禽種卵拂下規程第四條第一項ノ制限内ニ於テ政府ノ設立シタル學校、農事試驗場、道府縣、道府縣農會又ハ道府縣ノ設立シタル學校、農事試驗場、農事講習所、種畜場又ハ之ト同等以上ノ設備ヲ有スル者ニ限り之ヲ拂下ク
- 三 拂下クヘキ種禽及種卵ノ種類左ノ如シ
  - 一 單冠褐色レグホーン
  - 一 單冠白色レグホーン
  - 一 黑色ミノルカ
  - 一 アンダルシアン
  - 一 金色紋斑ハムバード
  - 一 銀色紋斑ハムバード
  - 一 黑色ハムバード

- 一 澁斑ブリマスコック
- 一 白色ブリマスコック
- 一 金色ワイヤンドット
- 一 銀色ワイヤンドット
- 一 白色ワイヤンドット
- 一 黑色オービントン
- 一 パラ色オービントン
- 一 ラングシヤン
- 一 淡色ブラマ

四 拂下ケタル種禽及種卵ノ引渡ハ月寒種畜牧場澁谷分場ニ於テ之ヲ行フ  
明治四十年農商務省告示第三十七號ハ之ヲ廢止ス

○牛疫血清製造所處務規程

明治四十四年四月十二日  
農商務省訓令第八號

- 第一條 牛疫血清製造所長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ニ付其ノ責ニ任ス
- 第二條 牛疫血清製造所長事故アルトキハ部下ノ官吏ニ代理ヲ命シ又ハ主管事務ノ幾分ヲ委任シ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ處辨セシムルコトヲ得
- 第三條 牛疫血清製造所長ハ特別ノ規程アルモノヲ除クノ外左ニ掲クル事項ハ之ヲ專決スルコトヲ得
  - 一 判任官以下ノ歸省、看護、墓參、轉地療養ノ出願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコト
  - 二 月俸二十五圓又ハ日給八十錢ヲ超エサル雇員ヲ命免及賞與スルコト
  - 三 所員ニ内國出張ヲ命スルコト

種禽種卵拂下ニ關スル件、牛疫血清製造所處務規程

- 四 物品會計官吏ヲ命免スルコト
- 五 一廉金五百圓ヲ超ユサル印刷物ノ調製、物件ノ購買、借入、運搬、人夫、職工雇庸及建設物ノ新營修繕ノコト
- 六 工事及物件ノ賣買、貸借ニ關シ伺濟ノ範圍内ニ於テ會計規則第七十五條ノ豫定價格ヲ指定スルコト
- 七 明治二十三年勅令第九十三號ニ依リ隨意契約ヲ締結スルコト
- 八 製造血清又ハ不用物品賣拂ノコト
- 九 常備夫ノ採用、解免及慰勞金ヲ給與スルコト
- 第四條 牛疫血清製造所長ハ左記各號ノ官吏若クハ主任トス
  - 一 牛疫血清製造所ノ經費ノ現金前渡ヲ受クル官吏
  - 二 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ契約擔任官吏、會計規則第六十七條ノ監督及検査ヲ行フ官吏
  - 三 物品出納命令官並物品會計規則第十條ノ二及第十一條ノ検査官吏
  - 四 收入官吏、歳入歳出外現金出納官吏及保管物取扱主任
  - 第五條 牛疫血清製造所長ハ事務處理ノ爲メ經伺ノ上處務細則ヲ設クルコトヲ得
  - 第六條 牛疫血清製造所ハ其主管事務ニ付各官廳ニ照會應答スルコトヲ得
  - 第七條 牛疫血清製造所長内國出張ヲ要スル場合ニ於テ日數二十日以内ナルトキハ出張歸任ノ後遲滞ナク其旨ヲ報告シ二十日ヲ超ユルトキハ認可ヲ受クヘシ
  - 第八條 牛疫血清製造所長ハ毎月五日限リ前月中ニ於テ第三條ニ依リ專決シタル雇員ノ氏名、給額、採用月日、履歷、所員ノ出張用務、出張地、日數、人名、旅費額ヲ報告スヘシ
  - 第九條 現金前渡ヲ受クル官吏ハ每一箇月分ノ金額ヲ豫定シ現金前渡ヲ請求スルコトヲ得

第十條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ其前渡金ノ各日流用ニ付テハ之ヲ專決スルコトヲ得  
 第十一條 牛疫血清製造所長ハ前年度ニ於テ施行セル主管業務ノ成績ヲ審査編纂シ四月末日限リ報告スヘシ

### 第二十六章 蠶業講習所

#### ○蠶業講習所名稱位置

東京蠶業講習所 東京府下北豐島郡瀧ノ川村元西ケ原  
 京都蠶業講習所 京都府下葛野郡衣笠村

○夏秋蠶部設置ノ件 明治四十二年三月十七日  
 告示第八十九號

東京蠶業講習所夏秋蠶部ヲ長野縣松本市ニ設置ス

○蠶業講習所事務區域區分ノ件 明治三十二年七月  
 告示第六十六號

蠶業講習所ノ巡回講話、蠶種配布、質問應答等ニ關スル事務ハ左ノ區域ニ依リ各其蠶業講習所ニ於テ之ヲ取扱フ

東京蠶業講習所	
北海道廳	東京府
群馬縣	千葉縣
山梨縣	長野縣
	宮城縣
	福島縣
	巖手縣
	神奈川縣
	新潟縣
	埼玉縣
	枋木縣
	静岡縣

牛疫血清製造所處務規程 蠶業講習所名稱位置 夏秋蠶部設置ノ件  
 蠶業講習所事務區域區分ノ件 五七三



青森縣	山形縣	秋田縣			
京都府	大阪府	兵庫縣	長崎縣	奈良縣	
三重縣	愛知縣	滋賀縣	岐阜縣	福井縣	
石川縣	富山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	
廣島縣	山口縣	愛媛縣	德島縣	香川縣	
和歌山縣	高知縣	福岡縣	大分縣	佐賀縣	
熊本縣	宮崎縣	鹿兒島縣	沖繩縣		

○東京蠶業講習所分課規程 明治四十三年三月 文第七五號

- 第一條 東京蠶業講習所ニ講習部、試験部、夏秋蠶部及庶務課ヲ置ク
- 第二條 講習部ニ於テハ養蠶製絲ニ關スル學理及技術ノ講習並講話ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第三條 試験部ニ於テハ養蠶製絲ニ關スル試験及調査、質問應答並蠶種ノ配付ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第四條 夏秋蠶部ニ於テハ夏秋蠶ニ關スル試験及調査講話並質問應答ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第五條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 文書ノ接受發送及保管ニ關スル事項
  - 二 報告書及圖書等ニ關スル事項
  - 三 會計ニ關スル事項
  - 四 他部ノ主掌ニ屬セサル事項

○京都蠶業講習所分課規程

- 第一條 京都蠶業講習所ニ講習部、試験部及庶務課ヲ置ク
- 第二條 講習部ニ於テハ養蠶ニ關スル學理及技術ノ講習並講話ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第三條 試験部ニ於テハ養蠶ニ關スル試験及調査、質問應答並蠶種ノ配付ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第四條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 文書ノ接受、發送及保管ニ關スル事項
  - 二 報告書及圖書等ニ關スル事項
  - 三 會計ニ關スル事項
  - 四 他部ノ主掌ニ屬セサル事項

○蠶業講習所處務規程 明治四十三年四月 訓令第六號

- 第一條 蠶業講習所長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ主管事務ニ付其ノ責ニ任ス
- 第二條 蠶業講習所長事故アルトキハ部下ノ官吏ニ代理ヲ命シ又主管事務ノ幾分ヲ委任シ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ處辨セシムルコトヲ得
- 第三條 各部課ニ部長及課長ヲ置ク
- 第四條 部長及課長ハ所長ノ命ヲ承ケ分擔ノ事務ニ對シ其ノ責ニ任ス
- 第五條 部長又ハ課長事故アルトキハ所長ハ臨時其ノ代理者ヲ命ス
- 第六條 舎監ハ所長ノ命ヲ承ケ講習生ノ取締ニ付其ノ責ニ任ス
- 第六條 蠶業講習所長ハ特別ノ規程アルモノヲ除クノ外左ニ掲クル事項ハ之ヲ專決スルコトヲ得但シ

東京蠶業講習所分課規程 京都蠶業講習所分課規程 蠶業講習所處務規程

特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス  
一 東京蠶業講習所ノ高等官カ京都市ニ出張シ京都蠶業講習所ノ高等官カ京都市ニ出張スル事及ヒ  
判任官以下ノ出張

但シ東京蠶業講習所夏秋蠶部在勤ノ高等官ノ京都市ニ出張スルコトヲ除ク

二 部下ノ高等官訴訟ノ爲又ハ裁判所ノ證人、參考人若ハ鑑定人トシテ出張旅行

三 部下ノ官吏看護歸省、慕參、轉地療養又ハ旅行ノ願及除服出仕

四 月俸金二十五圓又ハ日給金八十錢ヲ超ヘサル雇員ノ命免及賞與

五 部長及課長ヲ除ク外部下ノ官吏ニ事務ノ分擔ヲ命免スルコト

六 部下ノ官吏ノ受驗願

七 出納官吏ノ命免

八 官吏療治料ノ給與

九 官吏職工人夫死傷者ニ療養料、扶助料及埋葬料ノ給與

十 内國博覽會、共進會其ノ付類似ノ會又ハ道廳府縣ノ請求ニ對シ參考品ノ出陳又ハ貸與

十一 一廉金五百圓ヲ超エサル印刷物ノ調製物件ノ買入、借入、運搬、人夫職工ノ雇傭及建設物ノ  
新營修繕

十二 寄贈ノ圖書、標本等ノ領收及其領收證又ハ謝狀ノ發送

十三 一廉金二百圓ヲ超エサル寫字料及翻譯料、廣告料、保管料、手数料類ノ處理

十四 見積價格一廉金二百圓ヲ超エサル物品ノ處分

十五 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ伺濟ノ範圍内ニ於テ豫定價格ノ指定

十六 明治二十三年勅令第九十三號ニ依リ隨意契約ノ締結

十七 官吏出張先ニ於テ公務ニ要スル通信、運搬金額百圓以内ノ處理

十八 金額二百圓以内現金ノ前渡

十九 守衛、給仕、小使及常備定夫ノ備罷、賞與

二十 遺失物ノ處分

二十一 金額百圓以下ノ物品ノ亡失毀損ニ關スル事項

二十二 出版圖書印刷物ノ配與

第七條 蠶業講習所長ハ事務處理ノ爲メ經伺ノ上處務細則及講習規程ヲ設クヘシ

第八條 蠶業講習所長ハ試驗成績ヲ審査編纂シ農商務大臣ニ報告スヘシ

第九條 蠶業講習所長ハ毎年配付蠶種ノ蛾數ヲ定メ配付ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 巡回講話、講習會、品評會等ノ爲旅費ヲ支辨シ所員ノ出張巡回ヲ申出ル者アルトキハ所長之

ヲ許否ス所長出張巡回ヲ要スル場合ニ於テハ日數十日以内ナルトキハ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告シ

十日ヲ超ユルトキハ認可ヲ承クヘシ

○東京蠶業講習所講習規程（明治四十一年七月改正）

第一章 總 則

第一條 本所ハ養蠶及製絲ニ關スル學理及技術ヲ講習ス

第二條 本所ニ養蠶科及製絲科ヲ置キ養蠶科ニ本科、製絲科ニ本科及別科ヲ置ク

第三條 講習生ノ定員左ノ如シ

一 養 蠶 科

本科（男 生）

六十名

東京蠶業講習所講習規程

二 製絲科

本科(男生) 六十名  
 本科(女生) 二十名  
 別科(女生) 四十名

第四條 講習期限左ノ如シ

一 養蠶科

本科 三年

二 製絲科

本科(男生) 三年  
 本科(女生) 二年

別科 十箇月

第五條 講習生ノ學費ハ自辨トス但シ講習料ヲ徴收セス

第六條 講習生ハ男生ニ在リテハ本所所定ノ制帽及制服ヲ、女生ニ在リテハ制服ヲ着用スヘシ

第七條 講習生ハ所内ニ寄宿スルモノトス但シ本所ノ都合ニ依リ通學ヲ命シ又ハ講習生ノ願ニ依リ通學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二章 學科課程

第八條 學科課程左ノ如シ

一 養蠶科

本科課程

學科	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
動物學	動物學	動物學	動物學	動物學	動物學	動物學			
植物學	植物學	植物學	植物學	植物學	植物學	植物學			
物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學			
化學	化學	化學	化學	化學	化學	化學			
氣象學	氣象學	氣象學	氣象學	氣象學	氣象學	氣象學			
法規	法規	法規	法規	法規	法規	法規			
經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論			
農業經濟論				農業經濟論	農業經濟論	農業經濟論	農業經濟論	農業經濟論	農業經濟論
農業大意				農業大意	農業大意	農業大意	農業大意	農業大意	農業大意
土壤學				土壤學	土壤學	土壤學	土壤學	土壤學	土壤學
肥料學				肥料學	肥料學	肥料學	肥料學	肥料學	肥料學
昆蟲學				昆蟲學	昆蟲學	昆蟲學	昆蟲學	昆蟲學	昆蟲學
微生物學				微生物學	微生物學	微生物學	微生物學	微生物學	微生物學
蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論	蠶業汎論
桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論	桑樹栽培論
蠶種論				蠶種論	蠶種論	蠶種論	蠶種論	蠶種論	蠶種論
養蠶論				養蠶論	養蠶論	養蠶論	養蠶論	養蠶論	養蠶論
蠶室蠶具論				蠶室蠶具論	蠶室蠶具論	蠶室蠶具論	蠶室蠶具論	蠶室蠶具論	蠶室蠶具論
蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論	蠶體解剖論
蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論	蠶體生理論

東京蠶業講習所講習規程

卒業論文	習實										
	製絲	秋蠶飼育	夏蠶飼育	春蠶飼育及蠶種製造	生絲審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查
繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論	繭體病理論
織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論	織維論
製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法	製絲法
桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培
繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造	繭具製造
顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用	顯微鏡使用
分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析
繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖	繭體解剖
繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理	繭種病理
繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查	繭種審查
繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造	繭種製造
生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查	生絲審查
繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育	繭種飼育
秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育	秋蠶飼育
製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲	製絲

二 製絲科  
本科課程(男生)

東京蠶業講習所講習規程	義講										
	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第一學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第二學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第三學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第一學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第二學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第三學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第一學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第二學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論
第三學期	生絲整理論	製絲機械論	製絲論	製絲經營論	殺蛹貯繭論	殺繭貯繭論	繭業汎論	織維論	繭業汎論	工場衛生論	工場管理論

東京蠶業講習所講習規程

學	科	講習		算術	工場管理	衛生
		製繭	殺繭			
第一學期	第一學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第二學期	第二學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第三學期	第三學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			

五八三

別科課程

學	科	講習		算術	工場管理	衛生
		製繭	殺繭			
第一學期	第一學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第二學期	第二學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第三學期	第三學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			

本科課程(女生)

學	科	講習		算術	工場管理	衛生
		製繭	殺繭			
第一學期	第一學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第二學期	第二學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第三學期	第三學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			

學	科	講習		算術	工場管理	衛生
		製繭	殺繭			
第一學期	第一學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第二學期	第二學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			
第三學期	第三學期	第一製繭	第一殺繭	算術	工場管理	衛生
		第二製繭	第二殺繭			
		第三製繭	第三殺繭			

五八二

生	絲	整理	生	絲	整理	生	絲	整理	生	絲	整理	生	絲	整理	生	絲	整理
---	---	----	---	---	----	---	---	----	---	---	----	---	---	----	---	---	----

第三章 講習期及休業  
第九條 講習期ヲ分ツコト左ノ如シ

養蠶科			學	期	第	一	學	年	第	二	學	年	第	三	學	年					
第	第	第	一	期	至	自	十二月	二十四	日	至	自	十二月	二十四	日	至	自	十二月	二十四	日		
三	二	一	學	期	至	自	四月	十八	日	至	自	四月	十八	日	至	自	四月	十八	日		
學	學	學	期	至	自	秋	蠶	飼	育	結	了	日	至	自	秋	蠶	飼	育	結	了	日

二製絲科  
本科(男生)

製絲科			學	期	第	一	學	年	第	二	學	年	第	三	學	年					
第	第	第	一	期	至	自	十二月	二十四	日	至	自	十二月	二十四	日	至	自	十二月	二十四	日		
三	二	一	學	期	至	自	四月	十八	日	至	自	四月	十八	日	至	自	四月	十八	日		
學	學	學	期	至	自	秋	蠶	飼	育	結	了	日	至	自	秋	蠶	飼	育	結	了	日

本科(女生)			學	期	第	一	學	年	第	二	學	年									
第	第	第	一	期	至	自	十二月	二十四	日	至	自	十二月	二十四	日							
三	二	一	學	期	至	自	四月	十八	日	至	自	四月	十八	日							
學	學	學	期	至	自	秋	蠶	飼	育	結	了	日	至	自	秋	蠶	飼	育	結	了	日

第十條 休業日左ノ如シ但シ養蠶科ニ在リテハ養蠶ノ實習中、製絲科ニ在リテハ繭繭又ハ殺蛹貯繭ノ實習中ハ休業セス

冬期休業 至自十二月二十五日  
夏期休業 至自第三學期終  
大祭祝日 三月十八日  
蠶業講習所官制公布紀念日 三月十八日

東京蠶業講習所講習規程

第四章 募集及入學

第十一條 入學志願者ハ品行方正ニシテ在學中家事ノ係累ナク第十二條ノ規定ニ該當スル學者ニシテ左ノ資格ヲ有スル者タルヘシ

一 養蠶科

本科

一 滿十七年以上ノ者

一 中學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

二 製絲科

本科(男生)

一 滿十七年以上ノ者

一 中學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

本科(女生)

一 滿十八年以上ノ者

一 二箇年以上製絲ニ從事シタル者

一 高等小學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

別科

一 滿二十年以上ノ者

一 三箇年以上製絲ニ從事シ優等工女タリシ者

一 尋常小學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第十二條

入學志願者ハ身體強壯ニシテ左記ノ各項ニ該當セサル者タルヘシ

一 結核、略血、癩癩、癩癩、梅毒、傳染性皮膚病、其ノ他傳染性疾患アル者又ハ心臓、肺臟、肋膜ノ著シテ疾患、肋膜炎後ノ障害甚シキ者、其ノ他動作ニ堪ヘサル疾患アル者

二 發育不全ニシテ薄弱ナル者、高度ノ脂肪肥滿ナル者四肢ノ著シキ彎曲若ハ不同又ハ甚シキ筋肉薄弱ナル者、手指ノ缺損若ハ畸形ナル者、下肢靜脈ノ怒張著シキ者、又ハ動靜脈瘤等總テ動作ニ堪ヘサル者

三 精神ノ異狀言語障害アル者又ハ甚シキ啞吃ナル者

四 片眼若ハ兩眼ノ視力妨ケアル者又ハ色盲ナル者但シ養蠶科ニ在リテハ眼鏡ヲ用キテ其ノ視力ヲ調節シ得ル者、製絲科ニ在リテハスネルレン氏ノ視力表ノ三十號(九號)ヲ二十呎(六メートル)ノ距離ニ於テ明視シ得ル者ハ此ノ限ニ在ラス

五 片耳若ハ兩耳ノ聾ナル者又ハ底聲ヲ聴取シ難キ者

第十三條 入學志願者ハ七月十日迄ニ左ノ書式ニ依ル入學願書ニ履歷書及身體検査證ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ本所ニ差出スヘシ但シ男生ハ寫真一葉ヲ添附スヘシ

入學願書

(用紙美濃白紙)

某儀貴所養蠶科本科製絲科本科又ハ別科入學志願ニ付東京蠶業講習所(又ハ何道廳府縣都市役所)ニ於テ試驗ノ上御許可相成度別紙履歷書身體検査證(及寫真)相添ヘ此段相願候也

住所

何 某 印

年 月 日

東京蠶業講習所長某殿

履 歷 書

(用紙美濃白紙)

本籍地

寄留地  
族 籍(戸主又ハ戸主トノ續柄)

何 某  
何年月日生

一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業

一 何年何月何學校ニ於テ第何年ノ課程修業或ハ全科卒業

一 何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ(養蠶)ヲ修得シ或ハ何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ(製絲)實業ニ従事

一 何年何月何々ニ付賞又ハ罰

右之通相違無之候也

右

年 月 日

何 某印

身體検査證

住 所

何 某

何年月日生

右精細検査候處東京蠶業講習所講習規程第十二條ニ該當スル者ト診断候也

住 所

醫師 何 某印

年 月 日

第十四條 入學試験ハ東京蠶業講習所又ハ京都蠶業講習所ニ於テ之ヲ執行ス但シ入學志願者ノ願ニ依

リ男生ハ地方廳女生ハ地方廳又ハ郡市役所ニ於テ之ヲ執行ス

第十五條 入學試験時期ハ八月中トス

第十六條 入學試験科目左ノ如シ

一 養蠶科

本科

一 數 學(算術、代數、幾何學)

二 動物學

三 植物學

四 物理學

五 無機化學

六 地 理(日本地理、外國地理)

七 作 文

八 英 語(英文和譯、和文英譯、文法)

二 製絲科

本科(男生)

一 算 術

二 代數及幾何學

三 物理學

四 無機化學

東京蠶業講習所講習規程



- 五 地理(日本地理、外國地理)
- 六 作文
- 七 英語(英文和譯、和文英譯、文法)
- 本科(女生)
  - 一 算術
  - 二 理科
  - 三 作文(假名交リ記事文又ハ往復文)
  - 四 製絲法
- 別科
  - 一 作文(往復文)
  - 二 製絲法

第十七條 入學試験ニ合格シタル者ハ假入學ヲ許可シ本所ニ於テ更ニ第十二條ニ依リ身體検査ヲ行ヒ  
 検査ニ合格シタル者ハ入學ヲ許可シ合格セサル者ハ假入學ヲ取消スヘシ

第十八條 入學許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ左ノ書式ニ依リ在學證書ヲ本所ニ差出スヘシ

印紙 在學證書 (用紙美濃白紙)

私儀今般 養蠶科本科製絲科本科又ハ別科 入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク遵守シ専心勉勵可仕候仍テ在學證書如件

本籍地 族籍(戸主又ハ戸主トノ續柄)

年 月 日

何 某 何年月日生

右某今般入學許可相成候ニ於テハ御規則等固ク相守ラセ且本人ニ係ル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引  
 受可申候仍テ保證候也

住 所

族籍職業(入學者トノ關係)

保證人 何 某 何年月日生

住 所

族籍職業(入學者トノ關係)

保證人 何 某 何年月日生

東京蠶業講習所長某殿

前記保證人某ハ當區町村公民ニ相違無之候也

何區町村長 印

第十九條 保證人ハ二人トス内一人ハ學資ヲ供給スル者他ノ一人ハ東京府内在住ノ公民タルヲ要ス

第二十條 保證人旅行セントスルトキハ豫メ相當ノ代理者ヲ定メ届出ツヘシ

第二十一條 保證人死亡シ若ハ第十九條ノ資格ヲ失ヒタル時ハ新ニ保證人ヲ定メ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第二十二條 本所ニ於テ保證人又ハ其ノ代理者ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ換ヘシムヘシ

東京蠶業講習所講習規程

第五章 試験及卒業

第二十三條 試験ハ各學科ニ付一學期間一回以上隨時之ヲ行フ  
 第二十四條 實習ノ試験點數ハ試験及平生ノ成績並勤怠ニ依リテ之ヲ定ム  
 第二十五條 各學科ノ試験點數ハ一百點ヲ以テ滿點トス  
 第二十六條 試験ニ缺席シタル學科ハ零點トス  
 第二十七條 病氣其ノ他止ヲ得サル事故ニ因リ届出ノ上試験ニ缺席シタル者ニハ願ニ依リ特ニ試験ヲ行フコトアルヘシ

第二十八條 及落ハ第三學期ノ終ニ於テ各學期ノ試験點數ヲ通算シ左ノ規定ニ依リ之ヲ定ム  
 總平均點數 六十點以上 及 第  
 總平均點數 六十點未滿 落 第  
 二學科以上 五十點未滿 落 第  
 一 學 科 四十點未滿 落 第

第二十九條 本科ハ最終學年、別科ハ全學期ニ及第シタル者ヲ卒業セシム卒業ノ成績ハ講習期間ノ試験點數ヲ通算シテ之ヲ定ム

第六章 休學賞罰及退學

第三十條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ一學期以上修學スルコト能ハサル者ハ其ノ學年問休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十一條 休學ノ許可ヲ得ムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ  
 第三十二條 休學者ハ次學年ノ始ヨリ原級ニ編入ス

第三十三條 疾病又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ退學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第三十四條 在學中學術優等品行方正ニシテ他ノ模範タルヘキ者ニハ卒業ノ際賞品ヲ授與ス

第三十五條 諸規則及心得等ニ違反シ又ハ怠惰不品行ナル者ハ其ノ情狀ニ依リ左ノ懲戒ニ處ス

一 譴責

二 停學

三 退學

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

一 缺席多キ者

二 成業ノ見込ナキ者

三 同級ニ於テ二回落第シタル者

第七章 雜則

第三十七條 本科及別科ノ各級ニ級長一名ヲ置キ上席者ヲ以テ之ニ充ツ級長事故アルトキハ次席者ヲシテ代理セシム

第三十八條 級長ハ主務官ノ命令ヲ傳達シ又ハ其ノ級ノ意見ヲ上申スルモノトス

○東京蠶業講習所研究生規程

第一條 蠶業講習所卒業生(元農務局蠶業試驗場卒業生ヲ含ム)ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究ヲ爲サムト欲スル者ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ研究生ト爲ルコトヲ得

第二條 研究生ノ定員左ノ如シ

養蠶講習科  
製絲講習科

十名  
二十名

第三條 研究ノ期限ハ男生ニ在リテハ六箇月以上二箇年以内女生ニ在リテハ一箇年以内トス

但シ研究上必要アリト認ムルモノニ付テハ所長ハ其ノ期限ノ伸縮ヲ許可スルコトアルヘシ

第四條 研究生タラムト欲スル者ハ研究ノ事項及期限ヲ明記シタル願書ニ履歷書ヲ添付シテ講習所ニ差出スヘシ所長ハ詮議ノ上之ヲ許否ス

第五條 研究生ノ研究ニ要スル費用ハ器具藥品其ノ他所長ニ於テ指定シタルモノヲ除クノ外總テ自辨トス

第六條 研究生ニシテ貸與ノ物品ヲ毀損シ若ハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム

第七條 研究生ハ研究シタル事項ニ付報告書ヲ編成シ期限滿了後一箇月以内ニ之ヲ所長ニ差出スヘシ

第八條 所長前條ノ報告書ヲ審査シ研究ノ目的ヲ達シタルモノト認ムルトキハ證明書ヲ交付ス

第九條 研究生ニシテ成業ノ見込ナキ者ハ除名スヘシ

第十條 研究生ニシテ其ノ研究ヲ中止シタル者及除名セラレタル者ハ再ヒ研究生タルコトヲ得ス

○東京蠶業講習所留學生規程

第一條 外國人ニシテ蠶業講習所ノ講習ヲ受ケムト欲スル者ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ留學生ト爲ルコトヲ得

第二條 入學志願者ハ身體強壯ニシテ本邦語ヲ解シ得ル者タルヘシ

第三條 入學志願者ハ志望ノ學科ヲ明記シタル願書ニ履歷書ヲ添付シ本邦駐劄公使ヲ經テ講習所ニ差

出スヘシ所長ハ詮議ノ上之ヲ許否ス

第四條 留學生ニシテ規定ノ學科ヲ習得シタル者ニハ證明書ヲ交付ス

第五條 留學生ニ關シテハ前四條ノ外總テ蠶業講習所講習規程ヲ準用ス

○京都蠶業講習所講習規程 (明治四十一年七月改正)

第一章 總 則

第一條 本所ハ養蠶ニ關スル學理及技術ヲ講習ス

第二條 本所ニ本科別科及女子部ヲ置ク

第三條 講習生ノ定員左ノ如シ

一 本科(男生) 六十名

二 別科(男生) 六十名以内

三 女子部 六十名

第四條 講習期限左ノ如シ

一 本科 三年

二 別科 六箇月

三 女子部 二年

第五條 講習生ノ學費ハ自辨トス但シ講習料ヲ徴收セス

第六條 講習生ハ男生ニ在リテハ本所所定ノ制帽及制服ヲ、女生ニ在リテハ制服ヲ着用スヘシ

第七條 講習生ハ所内ニ寄宿スルモノトス但シ本所ノ都合ニ依リ通學ヲ命シ又ハ講習生ノ願ニ依リ通

東京蠶業講習所留學生規程 京都蠶業講習所講習規程

學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二章 學科課程

第八條 學科課程左ノ如シ

一 本科課程

學科	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
動物學	動物學	動物學	動物學						
植物學	植物學	植物學	植物學						
物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學	物理學			
化學	化學	化學	化學	化學	化學	化學			
氣象學	氣象學	氣象學	氣象學	氣象學	氣象學	氣象學			
法規學	法規學	法規學	法規學	法規學	法規學	法規學			
經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論	經濟原論			
農業經濟論				農業經濟論	農業經濟論	農業經濟論			
農業大意				農業大意	農業大意	農業大意			
土壤學				土壤學	土壤學	土壤學			
肥料學				肥料學	肥料學	肥料學			
昆蟲學				昆蟲學	昆蟲學	昆蟲學			
微生物學				微生物學	微生物學	微生物學			

卒業論文	習實										
	製絲	秋蠶飼育	夏蠶飼育	春蠶飼育及蠶種製造	生絲審査	繭種審査	繭體病理	蠶體解剖	分析	顯微鏡使用	桑樹栽培
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論
						繭種審査	繭體解剖		顯微鏡使用	桑樹栽培	養蠶論

京都蠶業講習所講習規程

二 別科課程

學科	講義										學科
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	
第一學期	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
第二學期	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑

三 女子部課程

學科	第一學年			第二學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
物理及化學	物理及化學	物理及化學	物理及化學	物理及化學	物理及化學	物理及化學

講義	實習									
	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑
蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑	蠶桑

第九條 第三章 講習期及休業  
講習期ヲ分ツコト左ノ如シ

一本 科

京都蠶業講習所講習規程

學期	第一學年	第二學年	第三學年
第一學期	至自 十月二十四日	至自 十二月二十四日	至自 十二月二十四日
第二學期	至自 四月十八日	至自 四月十八日	至自 四月十八日
第三學期	至自 四月十六日	至自 四月十六日	至自 四月十六日

二別科

學期	第一學年	第二學年	第三學年
第一學期	至自 四月十五日		
第二學期	至自 四月十六日		

三女子部

學期	第一學年	第二學年
第一學期	至自 十二月二十四日	至自 十二月二十四日
第二學期	至自 四月十八日	至自 四月十八日
第三學期	至自 四月十六日	

第十條 休業日左ノ如シ但シ養蠶ノ實習中ハ休業セス

冬期休業

至十二月二十五日  
至一月七日止

夏期休業

自第三學期終  
至九月三十日

日曜日

大祭祝日

蠶業講習所官制公布紀念日

三月十八日

第四章 募集及入學

第十一條 入學志願者ハ品行方正ニシテ在學中家事ノ係累ナク第十二條ノ規定ニ該當スル者ニシテ左ノ資格ヲ有スル者タルヘシ

一本科

一 滿十七年以上ノ者

一 中學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

二別科

一 滿二十五年以上ノ者

一 三箇年以上養蠶ニ從事シタル者

一 中學三年若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

三女子部

一 滿十六年以上ノ者

一 嘗テ養蠶ニ從事シタルコトアル者

一 高等小學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第十二條 入學志願者ハ身體強壯ニシテ左記ノ各項ニ該當セサル者タルヘシ

一 結核、咯血、癩狂、癩痢、癩病、梅毒、傳染性及膚病其ノ他傳染性疾患アル者又ハ心臟、肺臟、肋

京都蠶業講習所講習規程

- 二 膜ノ著シキ疾患、肋膜炎後ノ障害甚シキ者其ノ他動作ニ堪ヘサル疾患アル者
  - 發育不全ニシテ薄弱ナル者、高度ノ脂肪肥滿ナル者四肢ノ著シキ彎曲若ハ不同又ハ甚シク筋肉薄弱ナル者、手指ノ缺損若ハ畸形ナル者、下肢靜脈ノ怒張著シキ者、又ハ動靜脈瘤等總テ動作ニ堪ヘサル者
  - 三 精神ノ異狀、言語障害又ハ甚シキ啞吃アル者
  - 四 片眼若ハ兩眼ノ視力妨ケアル者又ハ色盲アル者但シ眼鏡ヲ用キテ其ノ視力ヲ調節シ得ル者ハ此限ニ在ラス
  - 五 片耳若クハ兩耳ノ聾ナル者又ハ低聲ヲ聴取シ難キ者
- 第十三條 本科及女子部ノ入學志願者ハ七月十日迄ニ別科ノ入學志願者ハ十月十日迄ニ左ノ書式ニ依ル入學願書ニ履歷書及身體検査證ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ本所ニ差出スヘシ但シ男生ハ寫真一葉ヲ添附スヘシ

入學願書

(用紙美濃白紙)

某儀貴所本科別科又ハ女子部入學志願ニ付東京蠶業講習所(又ハ何道廳府縣廳郡市役所)ニ於テ試験ノ上御許可相成度別紙履歷書身體検査證(及寫真)相添ヘ此段相願候也

京都蠶業講習所長某殿  
履歷書

(用紙美濃白紙)

本籍地  
寄留地

住所  
何 某印

族 籍(戸主又ハ戸主トノ續柄)

何 某  
何年月日生

- 一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業
  - 一 何年何月何學校ニ於テ第何年ノ課程修業或ハ全科卒業
  - 一 何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ(養蠶)ヲ修得シ或ハ何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ(製絲)實業ニ從事
  - 一 何年何月何々ニ付賞又ハ罰
- 右ノ通相違無之候也

年 月 日  
身體検査證

住所  
何 某印  
何年月日生

右精細検査候處京都蠶業講習所講習規程第十二條ニ該當スル者ト診斷候也

年 月 日

醫師 何 某印

第十四條 入學試験ハ京都蠶業講習所又ハ東京蠶業講習所ニ於テ之ヲ執行ス但シ入學志願者ノ願ニ依リ男生ハ地方廳、女生ハ地方廳又ハ郡市役所ニ於テ之ヲ執行ス

京都蠶業講習所講習規程

第十五條 入學試驗時期ハ本科及女子部ハ八月中、別科ハ十一月中トス  
第十六條 入學試驗科目左ノ如シ

- 一 本科
    - 一 數學(算術、代數、幾何學)
    - 二 動物學
    - 三 植物學
    - 四 物理學
    - 五 無機化學
    - 六 地理(日本地理、外國地理)
    - 七 作文
    - 八 英語(英文和譯、和文英譯、文法)
  - 二 別科
    - 一 算術
    - 二 理科
    - 三 作文
    - 四 養蠶法
    - 三 女子部
      - 一 算術
      - 二 理科
- 三 作文(假名交リ記事文又ハ往復文)

四 養蠶法

第十七條 入學試驗ニ合格シタル者ハ假入學ヲ許可シ本所ニ於テ更ニ第十二條ニ依リ身體検査ヲ行ヒ  
検査ニ合格シタル者ハ入學ヲ許可シ合格セサル者ハ假入學ヲ取消スヘシ  
第十八條 入學許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ左ノ書式ニ依リ在學證書ヲ本所ニ差出スヘシ

印紙

在學證書

(用紙美濃白紙)

私儀今般本科別科又ハ女子部ハ入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク遵守シ專心勉勵可仕候仍テ在學證書如  
件

本籍地

族籍(戸主又ハ戸主トノ續柄)

何

某

何年何月日生

一

年 月 日

右某今般入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク相守ラセ且本人ニ係ル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引  
受可申候仍テ保證候也

住 所

族籍職業(入學者トノ關係)

保證人 何

某

何年何月日生

住 所

族籍職業(入學者トノ關係)



保證人 何 某

何年何月日生

京都蠶業講習所長某殿

前記保證人某ハ當區町村公民ニ相違無之候也

何區町村長

第十九條 保證人ハ三人トス内一人ハ學資ヲ供給スル者他ノ一人ハ京都府内在住ノ公民タルヲ要ス  
 第二十條 保證人旅行セントスルトキハ豫メ相當ノ代理者ヲ定メ届出ツヘシ  
 第二十一條 保證人死亡シ若ハ第十九條ノ資格ヲ失ヒタル時ハ新ニ保證人ヲ定メ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第二十二條 本所ニ於テ保證人又ハ其ノ代理者ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ換ヘシムヘシ

第五章 試験及卒業

第二十三條 試験ハ各學科ニ付一學期間一回以上隨時之ヲ行フ

第二十四條 實習ノ試験點數ハ試験及平生ノ成績並勤怠ニ依リテ之ヲ定ム

第二十五條 各學科ノ試験點數ハ一百點ヲ以テ滿點トス

第二十六條 試験ニ缺席シタル學科ハ零點トス

第二十七條 病氣其ノ他止ヲ得サル事故ニ因リ届出ノ上試験ニ缺席シタル者ニハ願ニ依リ特ニ試験ヲ行フコトアルヘシ

第二十八條 及落ハ本科及女子部ニ在リテハ第三學期ノ終ニ於テ別科ニ在リテハ第二學期ノ終ニ於テ各學期ノ試験點數ヲ通算シ左ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

總平均點數 六十點以上 及 第

總平均點數	六十點未滿	落	第
二學科以上	五十點未滿	落	第
一學科	四十點未滿	落	第

第二十九條 本科及女子部ハ最終學年、別科ハ全學期ニ及第シタル者ヲ卒業セシム卒業ノ成績ハ講習期間ノ試験點數ヲ通算シテ之ヲ定ム

第六章 休學賞罰及退學

第三十條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ一學期以上修學スルコト能ハサル者ハ其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十一條 休學ノ許可ヲ得ムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第三十二條 休學者ハ次學年ノ始ヨリ原級ニ編入ス

第三十三條 疾病又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ退學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第三十四條 在學中學術優等品行方正ニシテ他ノ模範タルヘキ者ニハ卒業ノ際賞品ヲ授與ス

第三十五條 諸規則及心得等ニ違反シ又ハ怠惰不品行ナル者ハ其ノ情狀ニ依リ左ノ懲戒ニ處ス

一 譴責

二 停學

三 退學

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

一 缺席多キ者

二 成業ノ見込ナキ者  
三 同級ニ於テ二回落第シタル者

第七章 雜 則

第三十七條 本科別科及女子部ノ各級ニ級長一名ヲ置キ上席者ヲ以テ之ニ充ツ級長事故アルトキハ次席者ヲシテ代理セシム

第三十八條 級長ハ主務官ノ命令ヲ傳達シ又ハ其ノ級ノ意見ヲ上申スルモノトス

○京都蠶業講習所研究生規程（明治三十八年十月改正）

第一條 蠶業講習所卒業生（元農務局蠶業試驗場卒業生ヲ含ム）ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究ヲ爲サムト欲スル者ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ研究生ト爲ルコトヲ得

第二條 研究生ノ定員左ノ如シ

養蠶講習科 十 名  
製絲講習科 二十 名

第三條 研究ノ期限ハ男生ニ在リテハ六ヶ月以上二ヶ年以内女生ニ在リテハ壹箇年以内トス但シ研究上必要アリト認ムルモノニ付テハ所長ハ其期限ノ伸縮ヲ許可スルコトアルヘシ

第四條 研究生タラント欲スル者ハ研究ノ事項及期限ヲ明記シタル願書ニ履歷書ヲ添付シテ講習所ニ差出スヘシ所長ハ詮議ノ上之ヲ許否ス

第五條 研究生ノ研究ニ要スル費用ハ器具藥品其ノ他所長ニ於テ指定シタルモノヲ除クノ外總テ自辨トス

第六條 研究生ニシテ貸與ノ物品ヲ毀損シ若クハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム

第七條 研究生ハ研究シタル事項ニ付報告書ヲ編成シ期限満了後一箇月以内ニ之ヲ所長ニ差出スヘシ

第八條 所長前條ノ報告書ヲ審査シ研究ノ目的ヲ達シタルモノト認ムルトキハ證明書ヲ交付ス

第九條 研究生ニシテ成業ノ見込ナキ者ハ除名スヘシ

第十條 研究生ニシテ其ノ研究ヲ中止シタル者及除名セラレタル者ハ再ヒ研究生タルコトヲ得ス

○京都蠶業講習所留學生規程

第一條 外國人ニシテ蠶業講習所ノ講習ヲ受ケムト欲スル者ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ留學生ト爲ルコトヲ得

第二條 入學志願者ハ身體強壯ニシテ本邦語ヲ解シ得ル者タルヘシ

第三條 入學志願者ハ志望ノ學科ヲ明記シタル願書ニ履歷書ヲ添付シ本邦駐劄公使ヲ經テ講習所ニ差出スヘシ所長ハ詮議ノ上之ヲ許否ス

第四條 留學生ニシテ規定ノ學科ヲ習得シタル者ニハ證明書ヲ交付ス

第五條 留學生ニ關シテハ前四條ノ外總テ蠶業講習所講習規程ヲ準用ス

學資概算表

男 生

一 制 帽	一 個	金一圓内外
一 制 服	(冬服及夏服)	金二十圓内外
一 食 費	一ヶ月	金六圓内外
一 筆紙墨料	一ヶ月	金五十錢内外
一 機械費	本科ニアリテハ三ヶ年間七圓乃至十圓	

京都蠶業講習所研究生規程 京都蠶業講習所留學生規程

別科ニアリテハ六ヶ月間三圓乃至四圓

- 一 雜費 一ヶ年 金二圓内外
- 右ノ外寢具机等ハ總テ用意ノ事
- 女生
- 一 袴 一 着 金四圓内外
- 一 食費 一ヶ月 金六圓内外
- 一 筆紙墨料 一ヶ月 金五十錢内外
- 一 機械費 一ヶ月 金七圓内外
- 一 雜費 一ヶ月 金一圓内外
- 右ノ外寢具机等ハ總テ用意ノ事

○蠶種配付規則 明治三十五年十一月 省令第二十二號

- 第一條 蠶業講習所ニ於テ製造スル蠶種ハ原種トシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ無代價ニテ配付ス
- 一 蠶病豫防法ニ依ル蠶種製造者
  - 二 蠶絲業ニ關スル學校、講習所、傳習所又ハ試驗場
- 第二條 蠶種ノ配付ヲ請求セムトスル者ハ管轄道府縣廳ノ證明ヲ得テ毎年四月十五日迄ニ種名蛾數及飼育ス可キ年度ヲ明記シ所轄蠶業講習所ニ出願スヘシ
- 第三條 蠶種ノ配付ハ請求者一名ニ付五百蛾以内トス
- 第四條 蠶種ノ配當ハ出願ノ順序ニ依リ之ヲ定ム
- 配當ヲ受クルコト能ハサル者ニハ九月三十日迄ニ其旨ヲ通知スヘシ

- 第五條 蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ別記雛形ノ飼育成績表其蠶種ヨリ得タル繭一升及推製蠶種一枚ヲ所轄蠶業講習所ニ提出ス可シ其提出期限ハ成績表及繭ニアリテハ飼育當年八月三十一日蠶種ニアリテハ同十一月三十日限トス但數種類ノ配付ヲ受ケタル者ハ一種類毎ニ本文ノ手續ヲナス可シ
- 第六條 前條ノ義務ヲ履行セサル者ハ爾後三箇年間蠶種ノ配付ヲ受クルコトヲ得ス
- 第七條 第一條第二號ニ該當スル者ノ出願ニ對シテハ第二條ノ證明及期日竝ニ第五條ノ繭及蠶種ニ關スル規定ヲ適用セス

配付蠶種成績表

道廳(府縣)郡(市)町(村) 何 某										
經					收					
種類	繭立蠶量	繭立月日	上簇月日	飼育日數	同功繭	上繭		下繭		合計
						重	容	重	容	
桑	蠶一匁ニ對スル量	同數	同數	同數	蠶一匁ニ對スル量	重	容	重	容	蠶一匁ニ對スル量
獲										

蠶種配付規則

事 記	度 溫		種 蠶	對スル量 重 量	
	平 均	最 低		普 通 製	框 製

六一二

右之通候也

明治 年 月 日

右

何

某 印

東京蠶業講習所御中

備考

記事欄ニハ左記事項ノ要點ヲ記載スヘシ

- (一) 蠶種ノ貯藏 (蠶種ヲ受取リタル後ノ貯藏法)
- (二) 蠶種ノ催青 (催青ノ日數及其溫度)
- (三) 飼育中ノ氣候 (氣候ノ順否晴雨寒暖其他著シキ氣象狀況)
- (四) 上簇中ノ氣候 (晴雨乾濕及寒暖)
- (五) 飼育法 (火力使用ノ有無及多少ハ特種ノ飼育法ヲ爲セルトキハ其概要)
- (六) 用桑ノ桑 (用桑ノ重ナル種類並ニ根刈、高刈、立通等ノ別)
- (七) 蠶兒發育狀況 (各齡期ニ於ケル發育ノ遲速及齊否)
- (八) 病 蠶 (各齡期ニ於テ生セル病蠶ノ種類並ニ其多寡)

○蠶業講習所巡回講話及生徒募集心得 明治廿九年五月 訓令第十三號

蠶業講習所長ヨリ 蠶業講習所ノ爲メ技術官派遣ノコトヲ通知シタルトキハ地方長官ハ所長ト打合せ

- 一 上講話ノ場所及期日ヲ定メ管内ニ告知スヘシ
- 二 巡回講話等ノ爲メ旅費ヲ支辨シテ技術官ノ派出ヲ要スルトキハ蠶業講習所長ニ其旨ヲ移牒スヘシ
- 三 蠶業傳習生ノ募集ハ蠶業講習所長ノ通牒ニ依リ地方長官其手續ヲ爲スヘシ

第二十七章 糖 業

○糖業改良事務局處務規程 明治三十九年五月十一日 (四十年六月八日訓令 農商務省訓令第十七號 第二十五號ヲ以テ改正)

- 第一條 糖業改良事務局ニ技術部及庶務部ヲ置ク
- 第二條 技術部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 甘蔗ノ耕種試験ニ關スル事項
  - 二 砂糖ノ製造試験ニ關スル事項
  - 三 講習講話ニ關スル事項
  - 四 品評會ニ關スル事項
  - 五 糖業ニ關係アル物料ノ分析鑑定ニ關スル事項
  - 六 種苗ノ配布ニ關スル事項
  - 七 依托試験ニ關スル事項
  - 八 調査及質問應答ニ關スル事項
  - 九 報告書調査書等ノ編纂ニ關スル事項
- 第三條 庶務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 局長ノ官印及局印ノ保管ニ關スル事項

蠶業講習所巡回講話及生徒募集心得 糖業改良事務局處務規程

- 二 職員ニ關スル事項
  - 三 公文書ノ授受發送編纂及保管ニ關スル事項
  - 四 會計ニ關スル事項
  - 五 圖書及報告書類保管ニ關スル事項
  - 六 他部ノ主管ニ屬セサル事項
  - 第四條 糖業改良事務局局長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ノ處理ニ付其責ニ任ス
  - 第五條 局長事故アルトキハ事務官之ヲ代理ス
  - 局長ハ主管事務ノ一部ヲ部下ノ官吏ニ委任スルコトヲ得
  - 第六條 局長ハ部下ノ官吏ノ歸省看護慕參轉地療養願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得
  - 局長ハ毎年二回以上事業ノ狀況及成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
  - 第八條 局長ハ其主管事務ニ付各官廳ニ照會往復スルコトヲ得
  - 第八條ノ二 局長ハ事務處理ノ爲メ農商務大臣ノ認可ヲ經テ處務細則ヲ設クルコトヲ得
  - 第九條 局長ハ實習生ヲ置キ講習ヲ爲スコトヲ得
  - 實習生ニ關スル規定及其人員ハ局長之ヲ定ム
  - 第十條 農商務大臣ニ經伺又ハ報告ヲ要スル事項ハ總テ農務局長ヲ經由スヘシ
- 糖業改良事務局東京出張所處務規程 明治四十年六月八日  
農商務省訓令第十六號
- 第一條 糖業改良事務局東京出張所ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 内外國ニ於ケル糖業ニ關スル學術上ノ調査事項
  - 二 内外國ニ於ケル糖業經濟ニ關スル調査事項
  - 三 農商務大臣ヨリ諮問セラレタル糖業ニ關スル調査ニシテ至急答申ヲ要スル事項
  - 四 本局ニ於テ使用スル物品ニシテ東京若クハ外國ニ注文スル器具器械ノ購入ニ關スル事項
  - 第二條 糖業改良事務局東京出張所ニ所長ヲ置キ技師ヲ以テ之ニ充ツ
  - 第三條 所長ハ糖業改良事務局長ノ指揮監督ヲ承ケ所中一切ノ事務ヲ掌理シ凡テ其ノ責ニ任ス
  - 第一條第四項ニ關シテハ直ニ農商務大臣ノ決裁ヲ受クヘシ
  - 第四條 所長ハ主管事務ニ付各官廳ニ照會往復スルコトヲ得
  - 第五條 所長ハ所員ノ歸省看護慕參轉地療養願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得
  - 第六條 所長ハ月俸拾五圓又ハ日給五拾錢以下ノ傭員ノ採用解免ハ之ヲ專行スルコトヲ得
  - 第七條 所長事故アルトキハ次席ノ所員之ヲ代理ス
  - 第八條 所長ハ事務處理ノ爲メ糖業改良事務局長ノ認可ヲ經テ處務細則ヲ設クルコトヲ得

○糖業改良事務局大島出張所處務規程 明治四十年六月八日  
農商務省訓令第十七號

- 第一條 糖業改良事務局大島出張所ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 甘蔗ノ耕種試驗ニ關スル事項
- 二 砂糖ノ製造ニ關スル事項
- 三 講習講話ニ關スル事項
- 四 品評會ニ關スル事項
- 五 種苗ノ配布ニ關スル事項
- 六 調査及質問應答ニ關スル事項
- 第二條 糖業改良事務局大島出張所ニ所長ヲ置キ技師ヲ以テ之ニ充ツ

糖業改良事務局東京出張所處務規程 糖業改良事務局大島出張所處務規程

- 第三條 所長ハ糖業改良事務局局長ノ指揮監督ヲ承ケ所中一切ノ事務ヲ掌理シ凡テ其責ニ任ス
- 第四條 所長ハ主管事務ニ付各官廳ニ照會往復スルコトヲ得
- 第五條 所長ハ所員ノ歸省看護墓參轉地療養願ヲ許可シ及除服出仕ヲ命スルコトヲ得
- 第六條 所長ハ月俸拾五圓日給五十錢以下ノ僱員ノ採用解免ハ之ヲ專行スルコトヲ得
- 第七條 所長事故アルトキハ次席ノ所員之ヲ代理ス
- 第八條 所長ハ事務處理ノ爲メ糖業改良事務局局長ノ認可ヲ經テ處務細則ヲ設クルコトヲ得

○糖業改良事務局處務細則 明治四十年十月五日 農受第九一七一號

第一章 事務分掌

- 第一條 本局技術部及庶務部ニ各部長ヲ置ク技術部長ハ技師ヲ以テ之ニ充テ庶務部長ハ事務官ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 部長ハ局長ノ指揮監督ヲ受ケ各主管ノ事務ニ就キ其責ニ任ス
- 第三條 技術部ニ左ノ掛ヲ置ク
  - 栽培掛
  - 製造掛
- 第四條 栽培掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 甘蔗ノ耕種試驗ニ關スル事項
  - 二 種苗ノ配付ニ關スル事項
- 第五條 製造掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 砂糖ノ製造試驗ニ關スル事項

二 土壤肥料砂糖其他糖業ニ關係アル物料ノ分析鑑定ニ關スル事項  
 第六條 第四條評五條ニ掲クル事項ノ外左記事項ハ各其ノ主務掛ニ於テ之ヲ處理スヘシ

- 一 講習講話ニ關スル事項
- 二 共進會品評會等ニ關スル事項
- 三 調査及質問應答ニ關スル事項
- 四 依託試驗ニ關スル事項
- 五 報告書調査書等ノ編纂ニ關スル事項

庶務部ニ左ノ掛ヲ置ク

文書掛

會計掛

- 第八條 文書掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 局長ノ官印及局印ノ保管ニ關スル事項
  - 二 職員ニ關スル事項
  - 三 公文書ノ授受發送編纂及保管ニ關スル事項
  - 四 他部ノ主管ニ屬セサル事項
- 第九條 會計掛ハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 經費及諸收入ノ豫算決算並ニ會計ニ關スル事項
  - 二 官有財産及物品ニ關スル事項
  - 三 生産物處分ニ關スル事項
  - 四 營繕ニ關スル事項

糖業改良事務局處務細則

五 給仕小使夫ノ取締ニ關スル事項  
六 廳中取締ニ關スル事項

第二章 事務ノ處理

- 第十條 部長事故アルトキハ其部ノ次席者事務ヲ代理ス
- 第十一條 技術部長ハ年度ノ始ニ於テ其施行スヘキ事業ニ付設計案ヲ作り局長ノ裁決ヲ受クヘシ
- 第十二條 技術部長ハ毎年十月三十一日及翌年四月三十日迄ニ前半ケ年度ニ於ケル事業功報報告書案ヲ作り局長ニ差出スヘシ
- 第十三條 部長ハ各掛員ノ事務分擔ヲ定メ局長ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十四條 文書ノ配布ヲ受ケタル各主任者ハ三日以内ニ調査ヲ遂ケ處理ノ手續ヲ爲スヘシ但シ三日以内ニ處理シ難キモノハ豫メ部長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第十五條 各主任者ニ於テ配布ヲ受ケタル文書中事ノ異例ニ屬スルカ又ハ重要ノ事件ト認ムルモノハ先ツ部長ノ指揮ヲ請フヘシ
- 第十六條 事ノ各部ニ關聯スルモノハ其主任者ニ於テ成案ヲ具シ關係部ニ合議スヘシ
- 第十七條 合議ヲ受ケタル回議書ハ速ニ査閱スヘシ若シ意見ヲ異ニスルモノアルトキハ先ツ面議商量シ仍ホ決セサルトキハ上官ノ決裁ヲ請フヘシ
- 第十八條 凡ソ立案ハ回議用紙ヲ用ヒ簡明ヲ主トシ楷書又ハ行書ヲ以テ明瞭ニ記述シ改竄ヲ加ヘタルトキハ必ス其ノ傍ニ檢印スヘシ定例アリテ別ニ理由ヲ記載スルニ及ハサルモノハ一定ノ帳簿ヲ用ヒテ回議スルコトヲ得
- 第十九條 回議書ノ秘密ヲ要スルモノハ「秘」ノ印ヲ欄外ニ捺シ主任者自ラ携帶シ又ハ糊封シテ提出スヘシ

事ノ至急ヲ要スルモノハ赤色票紙ヲ上部ニ貼付シテ提出スヘシ

- 第二十條 緊急又ハ秘密ニ係ル事件ハ成規ノ手續ニ依ラス施行スルコトヲ得ヘシト雖施行後速ニ成規ノ手續ヲ履行スヘシ

第三章 文書ノ授受發送及編纂

- 第二十一條 凡ソ本局ニ於テ授受又ハ發送シ及發送決定ヲ要スル文書ハ文書件名簿ニ依リ之ヲ整理スヘシ
- 第二十二條 本局ニ到着シタル文書ハ文書掛ニ於テ接受開封シ（親展書ヲ除ク）接受年月日番號ヲ記入シ庶務部長ノ檢印ヲ經テ庶務ニ關スルモノハ主任者ニ技術ニ關スルモノハ技術部長ノ指定スル主任者ニ配布スヘシ
- 第二十三條 局長宛親展書ハ文書掛ニ於テ其封皮ニ番號年月日ヲ記入シ簿冊ニ登記ノ上之ヲ局長ニ差出スヘシ
- 第二十四條 各主任者ニ於テ調査セシ成案ハ部長ヲ經テ局長ニ提出シ決裁ヲ請フヘシ
- 第二十五條 局長決裁済ノ成案ハ其ノ發送ヲ要スルモノハ文書掛ニ於テ淨書鈐印ノ上其文書ニ年月日番號ヲ付シ之ヲ發送スヘシ
- 總テ成案ハ決判月日ヲ回議書及件名簿ニ登錄シテ保存ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第二十六條 接受シタル公文書ニ金券及物品ノ添付セル場合ニハ局員二名以上ノ立會ヲ以テ其旨帳簿ニ記入シ金券ハ會計掛ニ於テ保管シ物品ハ當該掛主任ニ渡シ證印ヲ受クヘシ
- 第二十七條 文書ノ編纂ハ冊首ニ件名目錄ヲ附シ目錄及文書共ニ編纂番號ヲ記入シ以テ索引ニ便ナラシムヘシ
- 第二十八條 文書ハ總テ其事件完結シタル年ヲ以テ編纂シ數回往復ヲ重ネタルモノハ其ノ始ヨリ終ニ

至ル迄之ヲ一括シテ編纂スヘシ

第二十九條 文書ハ完結ノ都度左ノ類別ニ之ヲ經綴シ普通文書ハ曆年ニ依リ會計文書ハ會計年度ニ依リ編纂スヘシ

第一類 永久保存

本省令達訓示規格外重要文書

第二類 十年保存

法規ニ依リ處分シタルモノ及諸報告復命書  
調査書類等事業上参照タルハキモノ

第三類 一年保存

一時ノ處辨ニ屬シ將來必要ナキモノ

第三十條 保存期限ヲ經過シタル文書ハ局長ノ決裁ヲ經テ棄却ノ手續ヲ爲スヘシ

第四章 會 計

第三十一條 凡ソ物品ノ交付ヲ要スルトキハ主任者ハ其品質、構造、大小、用途、數量ヲ明記シタル申告書ヲ物品取扱主任ニ提出シ物品取扱主任ハ部長ノ檢印ヲ徵シ會計掛ニ請求スヘシ

第三十二條 臨時農夫其他人夫ノ傭人ヲ要スルトキハ其主任者ハ必要ノ理由及豫定員數ヲ取調ヘ部長ノ檢印ヲ徵シ會計掛ニ請求スヘシ

第三十三條 物品ハ毎年三月九月ノ二回ニ於テ物品會計官吏物品取扱主任立會ノ上帳簿ニ對照シ現品ヲ點檢スヘシ

第三十四條 凡テ生産物ハ技術部ニ於テ生産總高試驗用消費高及不用殘高ノ各項ニ區別シ種類數量ヲ明記シ局長ニ報告シタル後不用殘高ハ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第五章 服務心得

第三十五條 局員出勤スレハ先ツ出勤簿ニ捺印シ然ル後各其ノ職務ニ從事スヘシ

第三十六條 退廳ノトキハ各自其ノ取扱ノ書類ハ物品ヲ收藏シ重要ナル印輪ノ類ハ宿直者ニ其保管ヲ託スヘシ

第三十七條 病氣ニ因リ七日以上缺勤スルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ツヘシ

第三十八條 轉地療養又ハ慕參ノ歸省等ノ爲メ旅行セムトスルトキハ往復滞在ノ日數ヲ定メ旅行先ヲ明記シ其事由ヲ具シ許可ヲ受クヘシ

但シ其願書ハ轉地療養ノ場合ニ於テハ醫師ノ診斷書其他ハ確證トナルヘキモノヲ添付スヘシ

第三十九條 忌服ヲ受ケタル者ハ其續柄及忌服日數ヲ記載シ届出ツヘシ

第四十條 局員ノ出張ヲ命セラレタル者ハ其ノ發着ヲ速ニ届出テ尙三十日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ

第四十一條 旅費ノ概算渡ヲ行ケタルトキハ歸着後七日以内ニ必ラス精算書ヲ會計掛ニ差出スヘシ

第四十二條 宿直ハ判任官以下ノ局員ヲシテ一名宛輪番之ヲ勤務セシム

宿直心得ハ別ニ之ヲ定ム

○糖業改良事務局甘蔗耕作審查會規則 明治四十七年十月十六日 博發第七九號

第一章 總 則

第一條 沖繩縣ノ糖業改良ヲ圖ル爲メ毎年秋期ニ於テ甘蔗耕作審查會ヲ同縣下ニ施行ス但シ其期日ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 本會施行區域ハ左ノ各地トス

- 一 島尻郡全部(久米島以外ノ離島ヲ除ク)
- 二 中頭郡全部(離島ヲ除ク)
- 三 國頭郡 金武、恩納、名護、本部、今歸仁、羽地、久志ノ七間切及伊江島
- 四 宮古郡ノ本島
- 五 八重山郡ノ本島

糖業改良事務局甘蔗耕作審查會規則



第三條 本會施行區域ヲ左ノ十一區ニ分チ一區ヲ以テ一競爭區域トス

第一區 島尻郡 眞和志、小祿、豊見城、南風原ノ四間切

第二區 同 郡 高嶺、兼城、東風平、大里ノ四間切

第三區 同 郡 眞壁、喜屋武、摩文仁、具志頭、玉城、知念、佐敷ノ七間切

第四區 同 郡 久米島一圓

第五區 中頭郡 浦添、宜野灣、北谷、讀谷山ノ四間切

第六區 同 郡 西原、中城ノ二間切

第七區 同 郡 越來、美里、具志川、與那城、勝連ノ五間切

第八區 國頭郡 金武、恩納、名護、本部、今歸仁、羽地、久志ノ七間切

第九區 同 郡 同郡伊江島一圓

第十區 宮古郡 本島一圓

第十一區 八重山郡 本島一圓

第四條 本會へ出品スル蔗圃ノ出品人員ハ糖業改良事務局ヨリ毎年指定スル員數ニ依リ行フモノトス

但シ百坪以内ノ栽培者ハ出品ノ資格ナキモノトス

第五條 本規則ニ違背セル出品ハ審査セス

第二章 審査委員

第六條 審査委員ハ沖繩縣知事ニ於テ管内各郡長ヲシテ斯業ニ熟達堪能ナルモノヲ推薦セシメ局長之

ヲ囑託ス

第七條 審査委員ハ各區ヲ通シテ二十二人トス

但シ臨時増減スルコトアルヘシ

第八條 審査委員ハ監督官ノ指揮ニ從フ可シ

第九條 審査委員ニハ審査ニ從事シタル日數ニ應シ日當一日ニ付金八拾錢ヲ支給シ別ニ旅費ヲ支給セ

ス但シ採用ノ際ニ於ケル召喚旅費並ニ審査委員ニシテ本島ヨリ離島ニ渡ル場合アルトキハ別表ニ依

リ船賃及車馬賃ヲ支給ス

第三章 褒賞授與

審査委員旅費支給表

船 賃 一 漚ニ付 參 錢

車馬 賃 一 里ニ付 八 錢

第十條 出品中其ノ優秀ナルモノヲ選抜シ糖業改良事務局長名ヲ以テ褒賞ヲ授與ス

第十一條 褒賞ハ一等ヨリ五等迄トス

但シ時宜ニ依リ増減スルコトアルヘシ

第十二條 褒賞ハ等級ニ準シ農具肥料等ヲ下附ス

但シ其割合撰擇ハ別ニ之ヲ定ム

○糖業改良事務局大島出張所糖業傳習生養成規定 明治四十年十一月十九日 農受一〇七三九號

第一條 糖業改良事務局大島出張所ニ於テ糖業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ之ニ關スル學術及實地ノ大要ヲ

習得セシムル目的ヲ以テ傳習生ヲ養成ス

第二條 糖業傳習生ニ關スル講習ハ大島出張所職員之ヲ擔當ス

第三條 傳習生ノ講習科目左ノ如シ

一 農學大意

糖業改良事務局大島出張所糖業傳習生養成規定

二 甘蔗栽培論

三 製糖論

四 甘蔗栽培及製糖ノ實習

第四條 傳習生ノ募集人員、講習期間及其開期ハ本局長ニ經伺ノ上毎年度大島出張所長之ヲ定ム

第五條 傳習生ハ所轄戸長ノ推薦ニ依リ左ノ資格アルモノヨリ募集ス

一 高等小學校ヲ卒業シタルモノ若クハ之ト同等以上ノ學力アリト認メラル、モノ

二 年齢十八歳以上ニシテ品行方正身體強健ナルモノ

三 大島郡ノ住民ニシテ相當ノ耕地ヲ所スルモノ若クハ其子弟ニシテ將來糖業ニ從事スルモノ

第六條 傳習生志願ノモノハ別紙書式ニ依リ願書ニ履歷書及戸長ノ推薦狀ヲ添ヘ講習開始一ヶ月前迄

ニ大島出張所ニ差出スヘシ

但シ志願者ノ數定員ニ超過スルトキハ入所ノ許否ハ大島出張所長之ヲ決ス

第七條 保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ營ムモノニ限ル

第八條 傳習生ハ所内ニ寄宿セシム但シ時宜ニ依リ通所ヲ許スコトアルヘシ

第九條 傳習生ニハ一日一人金拾五錢ノ手當ヲ支給ス但シ食費被服文具等ハ一切之ヲ自辨トス

第十條 傳習生左ノ各項ノ一ニ該當スルトキハ何時ト雖退所ヲ命スルコトアルベシ

一 品行不良ナルモノ

二 成績不良ニシテ修得ノ見込ナキモノ

三 疾病其他ノ事故ニヨリ修得スルコト能ハサルモノ

第十一條 傳習生中途退所ヲ命セラレ又ハ自己ノ都合ニ依リ退所シタルトキハ既給手當ハ即日之ヲ辨償セシム

但シ疾病其他大島出張所長ニ於テ至當ト認ムル理由ニヨリ退所シタルトキハ辨償ヲ免スルコトアルヘシ

第十二條 講習ヲ了シタルトキハ傳習生修得證書ヲ授與ス

第十三條 傳習生ハ修得後糖業ニ從事シ以テ斯業ノ改良發達ニ資スルハ勿論大島出張所ノ命ニ依リ其

地方ノ糖業ニ關スル事項ニ就キ報告ノ義務アルモノトス

傳習生志願書

某 儀

今般貴所傳習生志願致候ニ付御許可相成度別紙履歷書及戸長ノ推薦狀相添保證人連署此段御願申上

候也

年 月 日

住所族籍戸主又ハ何某何男

姓 名 印

生 年 月 日

右何某貴所傳習生トシテ御採用御許可相成候上ハ御規則等一切遵奉爲致可申ハ勿論同人身上ニ關スル一切ノ事ハ拙者共ニ於テ引受可申此段保證候也

年 月 日

住所族籍

保證人

何

某 印

同上

保證人

何

某 印

糖業改良事務所大島出張所長官氏名殿

糖業改良事務所大島出張所傳習生養成規定

備考

本人姓名ニハ振り假名ヲ附スヘシ  
保證人中一名ハ名瀧在住者タルヘシ

履 歷 書

- 一年月日何學校卒業
- 一年月日何學校卒業
- 一年月日ヨリ年月日迄何ケ年(又ハ何ケ月)間何學校(又ハ何業)修業又ハ研究
- 一年月日ヨリ年月日迄何ケ年(又ハ何ケ月)間何職從事
- 一賞 罰

右之通相違無之候也

年 月 日

推 薦 狀

何 某 印

住所族籍戸主又ハ何某何男  
姓 名

生 年 月 日

右者貴所傳習生養成規定第五條ノ資格ヲ有スルモノタルコトヲ認候條此段推薦候也

年 月 日

鹿兒島縣大島郡何村外何ケ村

戸 長 姓 名 印

糖業改良事務局大島出張所長官氏名殿

○鹿兒島縣大島郡共同製糖場獎勵規程 明治四十年十月十日  
農發一三八號

第一條 鹿兒島縣大島郡ニ於ケル糖業改良ノ爲メ共同製糖場ヲ設置スル者ニ對シ明治四十年度ニ於テ

補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

補助金ハ一製糖場ニ付金五拾圓以下トス

第二條 補助ヲ受ケムトスル者ハ左ノ條件ヲ具備スヘシ

- 一 製糖場ハ甘蔗栽培ヲ爲ス者十人以上共同シテ設置スルコト
  - 二 共同製糖者ハ自作ノ甘蔗ヲ原料トシテ一製糖期間ニ合計五十樽以上ノ製糖ヲ爲シ得ルコト
  - 三 製糖場ノ設備ハ別ニ定ムル標準ニ從フコト
  - 四 製糖場ニハ製糖擔當人一名補助員一名ヲ置クコト
- 第三條 補助ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ明治四十年十一月末日限リ糖業改良事務局大島出張所長ニ願出ツヘシ

- 一 共同製糖者ノ住所氏名及各人別甘蔗栽培反別
  - 二 共同製糖ニ關スル規約
  - 三 製糖場ノ位置
  - 四 製糖場ノ設備ニ關スル設計書(圖面添付)及經費豫算
  - 五 製糖場設備完成ノ期限
  - 六 製糖擔當人及補助員ノ住所氏名及履歷
  - 七 一製糖期間ニ於ケル製糖ノ豫定數量
- 前項ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ許可ヲ受クヘシ

鹿兒島縣大島郡共同製糖場獎勵規程

第四條 前條第二項ニ違反シタルトキハ糖業改良事務局大島出張所長ハ補助ヲ取消シ又ハ補助金額ヲ減少スルコトヲ得

第五條 補助金ハ製糖場ノ設備完成シタル後之ヲ交付ス

第六條 製糖場ノ設備完成シタルトキハ其ノ年月日ヲ記載シ明治四十一年二月末日限り糖業改良事務局大島出張所ヲ經テ糖業改良事務局長ニ補助金ノ交付ヲ請求スヘシ

第七條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ五箇年間左ノ各號ヲ遵守スヘシ違反シタルトキハ糖業改良事務局大島出張所長ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

一 製糖場ハ製糖期間専ラ之ヲ製糖ノ用ニ供スルコト

二 製糖場ヲ讓渡シ又ハ移轉セムトスルトキ若クハ重要ナル器械器具ヲ變更セムトスルトキハ糖業改良事務局大島出張所長ノ許可ヲ受クルコト

三 各製糖期間ニ於ケル製糖高ハ毎年八月末日限り糖業改良事務局大島出張所長ニ届出ヲ爲スコト

四 製糖擔當人補助員又ハ共同製糖者ニ異動ヲ生シタルトキハ其旨二週間以内ニ糖業改良事務局大島出張所長ニ届出ヲ爲スコト

○糖業改良事務局及出張所所在地

明治三十九年五月二十四日 農商務省告示第一五〇號

本局 沖繩縣中頭郡西原間切我謝村

東京出張所 農商務省内

大島出張所

鹿兒島縣大島郡金久村

明治四十年四月六日 農商務省告示第五九號

○沖繩縣糖業獎勵規程

明治四十三年九月三十日 農商務大臣改正決裁

第一條 沖繩縣ノ糖業ヲ獎勵スル爲此ノ規程ニ依リ賞與及補助金ヲ下付ス

第二條 賞與ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ區町村長ノ申請ニ依リ糖業改良事務局長之ヲ下付ス

一 三畝歩以上甘蔗ヲ栽培シ其ノ立毛優良ナル者

二 新ニ甘蔗ヲ栽培シ之ニ因リ砂糖三百六十斤以上ヲ製造シタル者

三 區町村ニ於テ糖業改良事務局長ノ認可ヲ得テ開設シタル甘蔗又ハ砂糖ノ品評會ニ於テ優良ト認めラレタル甘蔗又ハ砂糖ノ出品者

第三條 糖業改良事務局長ハ左ノ事項ニ該當スル者ニ夫々補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

一 糖業改良事務局長ニ於テ有益ト認ムル製糖用器具器械ヲ製作又ハ購入シテ之ヲ使用シ又ハ他人ヲシテ使用セシメタル者ノ申請ニ依リ其費用又ハ代價ノ半額以内ノ金額

一 甘蔗耕作者ニシテ左記條件ヲ具備スル工場ニ於テ自作ノ甘蔗一千斤以上ヲ以テ色相和蘭標本第十一號以上ノ砂糖ニ製造シタル者ノ申請ニ依リ甘蔗一千斤ニ付一圓以内ノ金額

(一) 製糖器械運轉ノ原動力ニ蒸氣力又ハ電氣力ヲ用フルモノ

(二) 搾汁車ハ八轉子以上ノモノ

(三) 少クトモ効用罐、真空罐、遠心力分蜜器ヲ具フルモノ

第四條 區町村長ハ第二條第一號又ハ第二號ニ該當スル者ニ對スル賞與ノ審査及擬賞ニ關スル規程ヲ

糖業改良事務局及出張所所在地 沖繩縣糖業獎勵規程

設ケ糖業改良事務局長ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ  
 第五條 第二條第三號ニ依リ品評會開設ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ品評會ノ規則書、審査及擬賞ニ關スル規程及出品點數見込書ヲ添ヘ之ヲ糖業改良事務局長ニ差出スヘシ  
 第六條 區町村長第二條ニ依ル賞與ノ下付ヲ申請セムトスルトキハ第四條又ハ第五條ニ依ル規程ニ依リ審査擬賞シ申請書ニ擬賞ニ關スル說明書ヲ添附シ糖業改良事務局長ニ之ヲ差出スヘシ  
 第七條 區町村長ハ毎年十月三十一日限リ其ノ區町村ニ於ケル前年十月一日ヨリ其ノ年九月三十日迄ノ砂糖製造高ヲ調査シ糖業改良事務局長ニ之ヲ報告スヘシ  
 第八條 此ノ規程ニ定ムルモノノ外必要ナル細則ハ糖業改良事務局長之ヲ定ム

○糖業改良事務局砂糖委託製造規程 明治四十二年九月二十二日 農商務大臣決裁

第一條 糖業改良事務局ハ甘蔗耕作人七人以上ヲ以テ組織スル團體ヨリ其ノ提供スル團體員ガ生産シタル甘蔗五百萬斤以上ヲ原料トシテ砂糖製造ノ委託ヲ受クルコトアルヘシ  
 但シ甘蔗ノ數量ハ特別ノ事情アル場合ニ限リ百萬斤迄之ヲ減少スルコトアルヘシ  
 第二條 糖業改良事務局長ハ毎年四月引受クヘキ委託製造高ヲ甘蔗ノ數量ヲ以テ定メ之レヲ公告スヘシ其ノ數量ヲ變更シタル場合亦同シ  
 第三條 第一條ノ規定ニ依リ砂糖ノ製造ヲ委託セムトスル者ハ毎年九月三十日迄ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル願書ヲ糖業改良事務局長ニ差出スヘシ  
 一 團體ノ種類及名稱並團體員ノ總數、氏名若ハ名稱及住所  
 二 甘蔗ノ數量、種類、栽培反別及栽培地ノ屬スル町村大字名

三 甘蔗ノ運搬方法

第四條 糖業改良事務局長前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ甘蔗ノ引受數量並製造ニ着手スル期日及製造ニ要スル期間ノ豫定ヲ委託者ニ通知スヘシ

第五條 委託製造出願ノ數量カ第二條ノ規定ニ依リ公告シタル數量ヲ超過スルトキハ糖業改良事務局長ハ左ニ掲クル順位ニ依リテ出願ヲ許可スヘシ

一 砂糖ノ生産、販賣又ハ生産販賣ヲ目的トスル産業組合

二 前號ニ該當セサル法人其ノ他ノ團體

同一順位ノ出願ニ付其ノ數量尙超過スルトキハ出願シタル甘蔗ノ數量ヲ標準トシ按分比例ヲ以テ受託ノ數量ヲ定ム但シ按分比例ノ結果一出願ノ委託數量著シク減少シテ製糖上不利益ナリト認ムルトキハ出願數量ノ順序ニ依リ糖業改良事務局長ノ指定スル範圍ニ於テ更ニ按分比例ヲ爲スヘシ

第六條 已ムヲ得サル事由アル時ハ糖業改良事務局長ハ許可ヲ取消シ又ハ第四條ニ掲クル事項ニ付變更ヲ加フルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ旨ヲ委託者ニ通知スヘシ

第七條 委託者ハ糖業改良事務局長ノ指定スル俵裝材料ヲ提供スヘシ  
 糖業改良事務局長ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ製糖ニ要スル勞力及燃料ノ供給ヲ命スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第八條 委託者ハ甘蔗搾殻ノ返戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第九條 委託者ハ甘蔗、俵裝材料、勞力及燃料ヲ提供スル日時、數量、場所等ニ關シテハ糖業改良事務局長ノ指揮ニ從フヘシ

第十條 委託者ハ砂糖製造ノ方法、種類、品質、歩留等ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十一條 糖業改良事務局ニ於テ俵裝スル一俵ノ容量ハ俵裝當時ノ重量ニ從ヒ百斤トス

- 第十二條 糖業改良事務局局長ハ製品ノ種類及品質ニ應シ相當ノ證票ヲ押捺ス可シ
- 第十三條 糖業改良事務局局長ハ試驗ノ爲必要アリト認ムルトキハ甘蔗竝之ヲ原料トシテ製造シタル砂糖及糖蜜各千斤ニ付一斤以内ヲ無償ニテ徵收スルコトアルヘシ
- 第十四條 委託者ハ製造濟ノ通知ヲ受ケタル毎ニ其ノ日ヨリ三日以内ニ砂糖又ハ糖蜜ヲ引取ルヘシ
- 第十五條 委託者ハ糖業改良事務局ニ委託シテ製造シタル砂糖ノ種類、品質、數量、俵裝及證票ニ變更ヲ加ヘテ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス但シ糖業改良事務局長ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限リニ在ラス
- 第十六條 糖業改良事務局カ保管スル甘蔗、砂糖及糖蜜ニ付損害ヲ生スルコトアルモ賠償ノ責ニ任セス
- 第十七條 糖業改良事務局局長ハ本規程ニ掲クルモノノ外委託製造ニ關シ必要ナル手續ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第十八條 委託者ハ第七條、第九條及第十四條ノ規定ニ違背シタルトキハ糖業改良事務局局長ハ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトアルヘシ
- 第十九條 委託製造出願者又ハ其ノ團體員ノ全部若ハ一部カ第七條、第九條、第十四條、第十五條ノ規定ニ違背シタル事實アルトキハ出願者又ハ其ノ團體員ニ付其ノ出願ヲ許可セサルコトアルヘシ

附 則

第二條ノ公告及第三條ノ出願期限ハ明治四十二年ニ在リテハ糖業改良事務局局長別ニ之レヲ定ム

○糖業改良事務局局長委任事項ノ件

明治四十年六月七日 文發三十八號

(改正 四十二年七月廿四日文發三八號 四十二年五月十七日文發八九號)

糖業改良事務局局長ハ此ノ委任條件ノ定ムル所ニヨリ主管事務ヲ專行處分スルコトヲ得

但シ特ニ重要關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限リニ在ラス

委任條件第四號、第七號及第八號、第十九號及第二十號ノ處分ハ其都度報告スヘシ

委 任 條 件

- 一 內國博覽會、共進會其他類似ノ會又ハ道廳府縣ノ票請ニ對シ參考品トナルヘキモノヲ出陳又ハ貸與ノ件
- 二 配付豫算ノ圍内ニ於テ印刷物ノ調製、物件ノ買入、借入、運搬人夫、職工ノ雇傭及建物ノ新營修繕寫字料及翻譯料等處理ノ件
- 三 配付豫算費目流用ノ件
- 四 生産物及不用物品賣却ノ件
- 五 官吏出張先ニ於テ公務ニ要スル通信、運搬費等金額五十圓以内處理ノ件
- 六 金額五百圓以内現金前渡ニ關スル件
- 七 判任官以下進退ノ件
- 八 月手當五十圓以下事務囑託及解除ノ件
- 九 出納官吏命免ノ件
- 十 官吏療治料給與ノ件
- 十一 官役人夫死傷者ニ療治料、給助料、不具痲疾者扶助料、葬祭料及遺族扶助料ヲ成規ニヨリ給與ノ件
- 十二 高等官以下五十日以内出張巡回ノ件  
但シ沖繩縣下及鹿兒島縣下大島郡ノ出發巡回ハ此限ニ依ラサルコトヲ得
- 十三 給仕小使及常備夫傭罷及賞與ノ件

糖業改良事務局局長委任事項ノ件

- 十四 金額百圓以下ノ物品亡失毀損ニ關スル處分ノ件
- 十五 調査又ハ報告書類ノ印刷配付ノ件
- 十六 内務省出版圖書ノ送附及版權登錄通知ノ件
- 十七 出版物ノ翻刻發賣並其著作權讓渡願許否ノ件
- 十八 出版物中ノ事項ヲ新聞雜誌等ハ轉載許否ノ件
- 十九 鹿兒島縣大島郡販賣組合補助ノ件
- 二十 鹿兒島縣大島郡ニ於ケル共同製糖場補助ノ件

○糖業改良事務局東京出張所長專決事項ノ件 明治四十一年十一月十三日  
局長報告

左記事項ハ當局東京出張所長ニ委任シ專行處分セシメ候條此段報告候也

記

- 一 東京出張勤務高等官以下三週間以内出張巡回ノ件並出張巡回三週間以上ニ互ルトキ大臣又ハ農務局長ニ經伺ノ件

- 十四 金額百圓以下、物品已失毀損、圖、處分、件
- 十五 調査文、報告書類、印刷配付、件
- 十六 内務省出張圖書、送附及取付、件
- 十七 出版物、印刷發售器具著作權譲渡申請書、件
- 十八 出張途中、事項、高麗雜誌等、轉送調査、件
- 十九 鹿児島縣大島郡販賣組合申請書、件
- 二十 鹿児島縣大島郡、於、共同製糖場補助、件

糖業改良事務局東京出張所長專決事項、件 昭和四十二年十一月十日

登記事項、當局東京出張所長、委任、専行處分、件、候修局長報告書、件

東京出張所長高等官以下、對照以内出張巡回、件並出張巡回、巡回以上、件、大出文、件

## 第二編 商業



## 第二編 商業

### 第一章 取引所

#### ○取引所法

明治二十六年三月三日  
法律第五號

#### 第一章 取引所ノ設立

第一條 賣買取引ノ繁盛ナル地區内ノ商人ハ政府ヘ免許ヲ受ケテ一種若ハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スルコトヲ得

第二條 同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ハ一地區一箇所ニ限り設立スルコトヲ得但シ其ノ地區ハ農商務大臣之ヲ定ム

第三條 取引所ノ免許年限ハ十箇年トス但シ土地商業ノ情況ニ依リ更ニ繼續ノ出願ヲ爲スコトヲ得

第四條 株式會社組織ノ取引所ハ營業保證金ヲ政府ニ納ムヘシ

#### 第二章 取引所ノ組織

第五條 取引所ハ土地商業ノ情況及賣買取引スヘキ物件ノ種類ニ依リ會員組織又ハ株式會社組織ト爲スコトヲ得

第六條 會員組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲買人及會員ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得株式會社組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲買人ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得

第七條 取引所ハ法人トシテ財産ヲ所有シ及之ヲ處分スルコトヲ得  
取引所ノ責任ハ其ノ財産ニ限ルモノトス

第八條 取引所ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ營業部類ニ屬スル商品ノ倉庫ヲ設置シ及指圖式ノ倉荷證書ヲ發行スルコトヲ得

取引所ハ其ノ倉荷證書ニ對シ前貸ヲ爲シ又ハ買受クルコトヲ得ス

第九條 取引所ノ定款ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三章 取引所ノ會員、株主及仲買人  
第十條 一箇年以上取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ハ定款ノ規程ニ從ヒ其ノ取引所ノ會員トナルコトヲ得

二箇年以上其ノ取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ從事シタル商人ニシテ年齢二十五歳以上ノ者ハ政府ノ免許ヲ受ケ其ノ取引所ノ仲買人トナルコトヲ得

一種ノ商業ニ付前項ノ資格ヲ有スル者ハ土地商業ノ情況ニ依リ二種以上ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ノ仲買人タル免許ヲ受クルコトヲ得

第十一條 帝國臣民ニ非サレハ取引所ノ會員又ハ仲買人トナルコトヲ得ス(三十二年法律第五八號ヲ以テ本項中改正)  
婦女、未成年者、公權剝奪及停止中ノ者、復權セサル破産者及家資分散者並ニ取引所ニ於テ除名ノ處分ヲ受ケタル者ハ取引所ノ會員タルコトヲ得ス

禁錮(刑法施行法第二條ニヨリ有期懲役ト改正)一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ信用ヲ害スル罪、財産ニ對スル罪、商業及農工業ヲ妨害スル罪ヲ犯シテ刑ニ處ラレ其ノ滿期若ハ赦免後二箇年ヲ經サル者及前項ニ該當スル者ハ取引所ノ仲買人タルコトヲ得ス

第十二條 取引所ノ會員ハ自己ノ計算ヲ以テスルノ外取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス  
仲買人ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトヲ問ハス取引所ニ對シ其ノ賣買取引上一切ノ責任ヲ負フヘシ

第十三條 取引所ノ仲買人ハ其ノ免許ヲ受クルトキハ免許料ヲ納ムハシ免許料ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 取引所ノ會員及仲買人ハ身元保證金ヲ其ノ取引所ニ納ムヘシ

第十五條 取引所ハ其ノ秩序ヲ保持スルカ爲定款ノ規定ニ依リ會員又ハ仲買人ノ營業ヲ停止シ五百圓以內ノ過意金ヲ課シ且政府ノ認可ヲ受ケ會員又ハ仲買人ヲ除名スルコトヲ得

第四章 取引所ノ役員  
第十六條 取引所ノ役員ハ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ株主中ヨリ二箇年以內ノ任期ヲ以テ之ヲ選舉シ政府ノ認可ヲ受クヘシ  
取引所ノ役員左ノ如シ

- 理事長 一人
- 理事 二人以上
- 監査役 若干人

理事長及理事ハ會員ニ非サル者ヲ選舉スルモ妨ケナシ  
第十一條第三項ニ該當スル者ハ取引所ノ役員ト爲スコトヲ得ス  
第十七條 取引所ノ役員及雇人ハ其ノ取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス但シ監査役ハ此限ニ在ラス

第五章 取引所ノ賣買取引  
第十八條 取引所ノ賣買取引ハ直取引、延取引及定期取引ノ三種トス  
第十九條 取引所ノ賣買取引ノ方法ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第二十條 取引所ハ其ノ定款ニ依リ賣買取引ニ付證據金ヲ納メシムルコトヲ得

第二十一條 取引所ハ賣買取引ノ責任ヲ履行セサル者アルトキハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第二十二條 株式會社組織ノ取引所ハ賣買取引ノ違約ヨリ生スル損害ニ付賠償ノ責ニ任スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ取引所ハ其ノ賠償シタル金額及之ニ關スル諸費ノ追償ヲ其ノ違約者ニ要求スルコトヲ得

第二十三條 取引所ハ賣買取引高ニ應シ賣買雙方ヨリ手数料ヲ徴收スルコトヲ得其ノ率ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債主ニ對シ優先權ヲ有ス

第二十五條 取引所外ニ於テ取引所ノ定期取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 取引所ニ於テ賣買取引シタル物件ノ相場ハ公定相場トス

第六章 取引所ノ監督

第二十七條 農商務大臣ハ取引所ノ行爲法律命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 取引所ノ解散
- 二 取引所ノ停止
- 三 取引所ノ一部ノ停止若ハ禁止
- 四 役員ノ解職
- 五 會員又ハ仲買人ノ營業停止若ハ除名

第二十八條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ官吏ヲシテ取引所ノ業務、帳簿、財産其ノ他一切ノ物件及會員又ハ仲買人ノ帳簿ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ取引所ノ役員會員及仲買人ハ其ノ物件ヲ提供シ質問ニ應答スヘシ

第二十九條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ取引所ノ定款ヲ改正セシメ又ハ其ノ決議及處分ヲ停止シ禁止シ若ハ取消スコトヲ得

第三十條 取引所任意ノ解散ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第七章 罰則

第三十一條 第十二條第一項及第十七條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 第二十五條ニ違背シタル者及公定相場ヲ偽リタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第三十三條 取引所ノ稅則ハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 取引所ノ資本金、營業保證金、株式、手数料及積立金ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 本法ハ明治二十六年十月一日ヨリ施行ス

明治九年布告第百五號米商會所條例、明治十一年布告第八號株式取引所條例、明治二十年勅令第十一號取引所條例、明治十三年布告第二十一條、明治十五年布告第四十六號、明治十六年布告第四號及同年布告第二十九號ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十六條 本法發布以前ヨリ營業スル米商會所、株式取引所及取引所ハ本法ニ依リ更ニ免許ヲ受ケ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得但シ本法施行ノ日ヨリ二箇月以前ニ於テ出願ノ手續ヲ爲ササルモノハ此ノ限ニ在ラス

○取引所法施行規則 明治三十二年七月廿六日  
農商務省令第十八號

六四〇

- 第一條 會員組織ノ取引所ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ左ノ事項ヲ記載シタル發起認可申請書ニ定款及發起人ノ履歷書ヲ添へ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 一 發起人各自出資額
  - 二 資本金使用ノ概算
  - 三 設立ヲ要スル事由
  - 四 賣買取引スヘキ物件ノ其地區内ニ於ケル集散ノ沿革及現況
  - 五 其地區内ニ於テ會員又ハ仲買人タルコトヲ得ヘキ商人ノ概數但各賣買品毎ニ區別スヘシ
- 第二條 株式會社組織ノ取引所ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ左ノ事項ヲ記載シタル發起認可申請書ニ定款及發起人ノ履歷書ヲ添へ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 一 前條第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項
  - 二 發起人各自ノ引受クヘキ株式ノ數
  - 三 其地區内ニ於テ仲買人タルコトヲ得ヘキ商人ノ概數但各賣買品毎ニ區別スヘシ
- 第三條 農商務大臣取引所ノ地區ヲ定メタルトキハ隨時之ヲ告示スヘシ
- 第四條 發起人ハ賣買取引スヘキ物件ノ種類毎ニ二箇年以上其種類ノ商業ニ從事シタル商人三十人以上タルヘシ(三十五年六月十七日省令第十三號改正)
- 第五條 取引所ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 取引所ノ地區
  - 二 賣買取引スヘキ物件

- 三 役員ノ選舉及其職務ニ關スル事項
  - 四 會議ニ關スル事項
  - 五 手数料及仲買人ノ口錢ニ關スル事項
  - 六 仲買人ノ業務組合及規約ニ關スル事項
  - 七 仲買人ノ身元保證金及使用人ニ關スル事項
  - 八 仲買人ノ入退ニ關スル事項
  - 九 市場ノ開閉及休業ニ關スル事項
  - 十 賣買、受渡及證據金ニ關スル事項
  - 十一 倉庫ニ關スル事項
  - 十二 公定相場ニ關スル事項
  - 十三 取引所ノ帳簿、記錄及仲買人ノ帳簿ニ關スル事項
  - 十四 取引所ノ出納及決算ニ關スル事項
  - 十五 金錢及有價證券ノ保管ニ關スル事項
  - 十六 仲裁ニ關スル事項
  - 十七 違約處分ニ關スル事項
  - 十八 定款ノ變更及解散ニ關スル事項
- 第六條 會員組織ノ取引所ノ定款ニハ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 取引所ノ名稱及所在地
  - 二 會員ノ出資及身元保證金ニ關スル事項
  - 三 會員ノ入退ニ關スル事項

取引所法施行規則

六四一

第七條 會員組織ノ取引所ノ發起人發起ノ認可ヲ得タルトキハ少ナクモ十四日間左ノ事項ヲ公布シテ會員ヲ募集スヘシ

- 一 發起認可ノ年月日
- 二 取引所ノ組織、名稱及所在地
- 三 取引所ノ地區
- 四 賣買取引スヘキ物件
- 五 資本金及發起人各自ノ出資額
- 六 各申込人ニ定款ヲ展閱セシムヘキ事
- 七 發起人ノ氏名

第七條ノ二 會員組織ノ取引所ハ賣買取引スヘキ物件ノ種類毎ニ五十人以上ノ會員アルニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス(三十五年省令十三號追加)

第八條 發起人會員ノ募集ヲ終リタルトキハ設立總會ヲ開クヘシ此總會ニ於テハ總會員ノ半数以上ノ承諾ヲ以テ定款ヲ確定シ且役員ヲ選舉ス

役員ハ設立免許申請書ニ定款、會員申込簿及申込人ノ履歷書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第九條 株式會社組織ノ取引所ノ發起人株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ總役員ハ商法第二百二十四條ニ定メタル調査終了ノ後設立免許申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

- 一 定款
- 二 發起人各自ノ引受ケタル株式ノ員數ヲ記載シタル書面

三 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本

四 役員ノ選舉ニ關スル書類

第十條 發起ノ認可ヲ得タル後一年以内ニ設立免許ノ申請ヲ爲ササルトキハ認可ハ其効力ヲ失フ

第十一條 發起人株式ノ總數ヲ引受ケサリシトキハ總役員ハ創立總會終結ノ後設立免許申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 定款

二 各株主ノ株式申込證ノ謄本及株主名簿

三 商法第三百三十四條ノ規定ニ從ヒテ役員又ハ検査役カ爲シタル調査報告書及其附屬書類

四 創立總會ノ決議録

第十二條 役員認可申請書ニハ其役員ノ履歷書ヲ添ヘ設立免許申請書ト共ニ之ヲ差出スヘシ

第十三條 發起認可申請書及設立免許申請書ニハ地方長官其意見書ヲ添附スヘシ

第十四條 開業ノ日ヲ定メタルトキハ役員ハ其旨ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十五條 取引所設立ノ免許ヲ得タル後一年以内ニ開業セサルトキハ免許ハ其効力ヲ失フ

第十五條ノ二 取引所ニシテ繼續ノ出願ヲ爲サムトスルモノハ願書ニ定款ヲ添付シ免許年限満了前一年以内ニ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但免許年限満了ノ日ヨリ三箇月前ニ其手續ヲ爲ササルモノハ出願ヲ受理セス(三十五年省令十三號追加)

第十六條 仲買人ノ免許ヲ得ント欲スル者ハ其願書ニ履歷書ヲ添ヘ取引所ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

取引所ハ前項ノ願書ニ意見書ヲ添附スヘシ

第十七條 農商務大臣仲買人ノ免許ヲ與ヘタルトキハ免許狀ヲ取引所ニ送付スヘシ

取引所法施行規則

取引所ハ前項ノ免許狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ其旨ヲ本人ニ通知シ免許料金額ニ相當スル收入印紙ヲ貼用シタル請書及身元保證金ヲ差出サシメタル後之ヲ交付スヘシ

第十八條 仲買人前條第二項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ請書又ハ身元保證金ヲ差出ササルトキハ免許ハ其効力ヲ失フ

第十九條 仲買人廢業シタルトキハ届書ニ免許狀ヲ添附シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十條 仲買人免許狀ヲ紛失シタルトキハ其事由ヲ具シテ免許狀ノ再下附ヲ申請スヘシ

仲買人氏名ヲ變更シタルトキハ免許狀ノ書換ヲ申請スヘシ

第二十一條ノ二 取引所ハ會員及仲買人ノ帳簿ノ種類、記載事項及株式ヲ定メ農商務大臣ニ届出ツヘシ(三十五年省令十三號追加)

第二十二條ノ三 取引所ニ於テ會員及仲買人身元保證金ノ代用有價證券ノ種類及價格ヲ指定シタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ(全上)

第二十三條ノ四 取引所ハ其所有及諸預リノ金錢及有價證券ノ保管方法ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ(全上)

第二十四條ノ五 取引所ニ於テ米、大麥、小麥、蠶絲、棉花、綿絲ノ格付ヲ定ムル場合ニ於テハ一種又ハ一種以上ノ標準物ヲ定メ格付表ヲ調製シ認可ヲ申請スヘシ(全上及三十九年十一月四十一日省令第三〇號追加) (三十五年省令十三號追加)

第二十五條ノ六 取引所ニ於テ轉賣買戻相殺ノ方法ヲ用非ントスルトキハ賣買者ノ届出ニ依リ帳簿ニ記載シ之ヲ相殺ヲ爲シテ其契約ヲ結了スルノ手續ヲ定メ之ヲ定款中ニ規定スヘシ(全上)

第二十六條ノ七 取引所ハ其市場ニ於テ賣買取引スル物件ノ公定相場ヲ公ホスヘシ(全上)

公定相場ハ市場ニ於ケル取引價格ニシテ適當ト認めタルモノニ依リ取引所ノ理事長理事之ヲ定ムル其決定ノ方法ハ定款ニ於テ之ヲ定ムヘシ(全上)

第二十七條ノ八 有價證券ノ延取引ニ限リ賣買者間ノ合意ニ依リ債權債務ノ移轉ヲ爲シタル場合ニ於テ取引所ハ其賣買差金ノ立換又ハ預リヲ爲スコトヲ得(三十六年四月七日省令三號追加)

第二十八條 取引所又ハ其役員訴訟ノ當事者トナリタルトキハ其訴訟ノ要旨及其年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ訴訟結了シタルトキ亦同シ

第二十九條 株式會社組織ノ取引所商法ノ規定ニ依リテ登記ヲ爲シタルトキハ登記シタル事項及其登記ノ年月日ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第三十條 取引所ハ左ノ報告書類ヲ調製シ農商務大臣ニ差出スヘシ

- 一 毎月公定相場表
- 二 毎月賣買高表
- 三 毎月商品ノ集散及商況ニ關スル報告書
- 四 收支豫算表
- 五 以上議定後十五日限リ發送
- 六 毎半年期財產目錄
- 七 毎半年期貸借對照表
- 八 毎半年期損益計算表
- 九 毎半年期末日現在會員、株主及仲買人並其使用人ノ氏名表

取引所法施行規則

以上決算期後二十日限リ發送

第二十四條 取引所ヨリ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ別段ノ規定アルモノノ外地方長官ヲ經由スヘシ  
地方長官前項ノ書類ニ付キ意見アルトキハ之ニ其意見書ヲ添付スヘシ  
第二十五條 仲買人ヨリ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ取引所ヲ經由スヘシ

第二十六條 本令施行前ニ發起ノ認可アリタルモノニ付テハ第十條ノ期間ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

三十五年省令第二三號附則

第一條 本令ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第二條 第二十條ノ二ノ届出ハ明治三十五年九月三十日迄ニ之ヲ爲スヘシ  
第三條 第二十條ノ四ノ認可ハ明治三十五年九月三十日迄ニ之ヲ申請スヘシ  
第四條 第二十條ノ二乃至四ニ規定スル事項ニ關シ本令施行前ニ届出ヲ爲シ又ハ認可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依リ届出ヲ爲シ又ハ認定ヲ受ケタルモノト見做ス

○取引所ノ資本金營業保證金株式手数料積立金及賣買取引ノ

方法ニ關スル 規程並仲買人免許料金額 明治二十六年七月二十一日 勅令第七十四號

(改正三十五年第一五八號三十五年第一二七號三十九年第一七四號第二八三號四十二年第二六七號)

第一條 株式會社組織ノ取引所ノ資本金ハ十萬圓以上トス(三十五年六月二日勅令百五十八號改正)  
農商務大臣ハ賣買取引ノ狀況ニ因リ必要ト認ムルトキハ資本金額ヲ増加セシムルコトヲ得  
株式會社組織ノ取引所ハ資本金ノ半額以上ニシテ少ナク十萬圓ノ拂込ヲ終リタル後ニ非サレハ

業務ヲ行フコトヲ得ス(三十五年勅令百五十八號追加)

第二條 會員組織ノ取引所ノ創設及維持ノ資本金ハ其會員ノ據金ヲ以テ之ニ充ツヘシ解散ノ場合ニ於テ存留スル資本及他ノ財産ハ一切ノ義務ヲ解除シタル後ニ於テ現時ノ各會員ニ平分スヘシ  
第三條 取引所ニシテ倉庫ヲ設置スルトキハ其倉庫ニ關スル資本金ハ第一條及第二條ノ資本金以外ニ之ヲ増加スヘシ

第四條 株式會社組織ノ取引所ノ營業保證金額ハ其資本金額ノ三分ノ一トス但倉庫ノ爲メ増加シタル資本金ハ之ヲ算入セス  
營業保證金ハ營業開始前大藏省預金局預金ノ證書若クハ國債地方債證券ヲ以テ其金額ヲ地方廳ニ納ムヘシ但國債地方債證券ヲ以テ納入スル場合ニ於テハ其價格ハ農商務大臣ノ指定スル所ニ依ルヘシ  
資本金増額ノ場合ニ於テ増納スヘキ營業保證金ハ農商務大臣ノ指定スル日限マテニ其手續ヲ爲スヘシ

第五條 取引所ノ資本金ノ各株式ハ其株金ノ半額以上拂込前ニ讓渡ヲ爲スコトヲ得ス  
第六條 會員組織ノ取引所ニ於テハ利益ヲ會員ニ分配スルノ目的ヲ以テ手数料ヲ徵收スルコトヲ得ス  
第七條 取引所ニ於テ賣買雙方ヨリ徵收スル手数料ハ取引所ノ組織、賣買ノ物件、賣買ノ方法及賣買ノ狀況ニ應ジ賣買約定代金ノ千分ノ八ヲ超過スルコトヲ得ス  
農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ定限以內ニ於テ取引所ノ手数料ノ率ヲ改定セシムルコトヲ得

第七條ノ二(明治三十九年六月勅令第一七四號ヲ以テ削除)

第八條 會員組織ノ取引所ハ毎年其總收入金ノ二十分ノ一ニ相當スル金額ヲ準備ノ積立金トシテ積立クヘ但準備ノ積立金額資本金額ノ四分ノ一以上ニ達シタルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ其積立ヲ

取引所ノ資本金營業保證金株式手数料積立金及賣買取引ノ方法ニ關スル規程並仲買人免許料金額 六四七

停止シ若クハ其積立金額ノ率ヲ減少スルコトヲ得

第九條 取引所ノ準備ノ積立金ヲ支出セントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 取引所ハ會員及仲買人ノ身元保證金ヲ供託スヘシ(三十五年勅令)  
(五八號追加)

第十一條 取引所ノ賣買取引ノ契約ハ現物、見本又ハ銘柄ニ依リテ取結フヘシ

第十二條 取引所ノ賣買取引ノ契約履行ノ期限ハ當日ヨリ起算シ直取引ハ五日以内延取引ハ百五十日以内賣買雙方約定ノ日限ニ依リ定期取引ハ三箇月以内取引所指定ノ限月ニ依ルヘシ(三十二年勅令)  
(二十七號改正)

第十三條 取引所ノ定期取引ニ限リ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ限月ニ依ラサルコトヲ得(三十九年勅令)  
(八三號但書追加)

一 單位ヲ定メテ賣買スルノ方法

二 競賣買ヲ爲スノ方法

三 米、大麥、小麥、蠶絲、棉花、綿絲ニ限リ標準物ヲ以テ賣買契約ヲ爲シ取引所ニ於テ豫メ指定スル

四 株式會社組織ノ取引所ニアリテハ契約期限内ニ於テ爲シタル轉賣買戻ヲ取引所ノ帳簿ニ記載スル所ニ依リ相殺スルノ方法

五 賣買雙方ヨリ證據金ヲ差出サシムルノ方法

取引所ニ於テ第一項第三號ニ依リ同種商品ノ格付ヲ定ムルトキ又ハ第一項第四條ノ方法ヲ用フルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

取引所ハ特ニ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ直取引及延取引ニ於テモ亦第一項第一號、第二號及第五號ノ方法ヲ用フルコトヲ得

第十四條 取引所ニ於テ賣買取引ノ契約ヲ爲シタルトキハ賣買雙方ノ氏名賣買品ノ數量及其價格ヲ取引所ノ帳簿ニ記載スヘシ

第十五條 賣買取引ノ物件代金ノ受渡ハ取引所ノ役員立會ノ上執行スヘシ

第十六條 取引所ノ仲買人免許料ノ金額ハ百圓トス(三十五年勅令)  
(一五八號改正)

三十五年勅令第一五八號附則

本令ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ設立ノ免許ヲ得タル株式會社組織ノ取引所ニシテ其資本金額又ハ拂込金額カ第一條ニ定メタル額ニ達セサルモノハ明治三十五年十一月三十日迄ニ其資本ヲ増加シ且拂込ヲ爲スヘシ

本令施行前ニ設立ノ免許ヲ得タル取引所ニ付テハ第七條ノ二ノ規定ハ本令施行後ノ計算期間ヨリ之ヲ適用ス計算期間カ本令施行後ニ跨カルトキ亦同シ

三十六年勅令第一二七號附則

第七條ノ二第一項ノ規定ハ本令施行後ノ計算期間ヨリ之ヲ適用ス計算期間カ本令施行後ニ跨カルトキ亦同シ

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收セラレタル鐵道

株式會社ノ株券ハ政府ニ納ムヘキ保證金其他ノ擔保ニ充

當セララルヘキ國債證券ニ代用シ得ル件 明治四十年八月二十三日  
勅令第二百九十一號

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收セラレタル鐵道株式會社ノ株券ハ政府ニ納ムヘキ保證金其他

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收セラレタル鐵道株式會社ノ株券ハ政府ニ納ムヘキ保證金 六四九

其他ノ擔保ニ充當セララルヘキ國債證券ニ代用シ得ル件



ノ擔保ニ充當セラルヘキ國債證券ニ之ヲ代用スルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於ケル株券ノ價格ハ各省大臣之ヲ定ム

附 則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○政府ニ納ムヘキ保證金其他ノ擔保ニ充用スル國債價格ノ件

明治四十一年十一月  
勅令第二百八十七號

政府ニ納ムヘキ保證金其他ノ擔保ニ充用スル國債ノ價格ハ其債權金額ニ依ル  
明治三十八年勅令第二十號ハ之ヲ廢止ス

○取引所稅法

明治二十六年三月三日  
法律第六號

(改正 三十七年法第三號非常特別稅法三十八年法第一號  
ノ取引所稅廢止四十二年法第一號國債證券)

第一條 取引所ハ定期賣買ニ付左ノ割合ニ從ヒ稅金ヲ納ムヘシ

一 商品、有價證券 賣買各約定代金高萬分ノ十二

一 地方債證券 同 萬分ノ五

第二條 定期内ニ於ケル轉賣人ノ賣高及買戻人ノ買高ニ係ル稅金ハ之ヲ免除ス

第三條 賣買ヲ解約スルコトアルモ其ノ稅金ハ之ヲ免除セス

第四條 取引所ハ每一箇月分賣買取引ヲ爲シタル各約定代金高ヲ翌月五日迄ニ管應ニ届出ヘシ

取引所稅額ハ前項ノ届出ニヨリ地方長官之ヲ定ム  
第五條 取引所稅金ハ毎月一箇月分ヲ翌月二十日マテニ納ムヘシ

第六條 當該官吏ハ地方長官ノ命令ニ依リ隨時取引所並ニ會員仲買人ニ就キ其賣買取引ニ關スル帳簿  
書類ヲ檢査スルコトアルヘシ

第七條 第四條ノ届出ヲ詐リ脫稅ヲ圖リ又ハ脫稅シタルトキハ取引所理事長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰

金ニ處シ猶取引所ヨリ其ノ脫稅ニ係ル金額ヲ徵收スヘシ

第八條 第四條ノ届出ヲ怠リタルトキハ理事ヲ一圓以上一圓九十錢以下ノ科料ニ處ス

第九條 本法ヲ犯シタルモノハ刑法ノ減輕、再犯加重、數罪併發(刑法改正ノ結果再犯加重ハ累)ノ例ヲ用キ

附 則

第十條 本法ハ取引所法實施ノ日ヨリ施行ス

○地方廳ヲ經由セス直ニ農商務大臣ニ提出スヘキ文書ノ件

明治三十年九月十四日  
農商務省令第一六號

一 一般人民及法人其他ノ團體ヨリ提出スル建議書請願書並ニ任意ノ報告書  
二 一般人民及法人其他ノ團體ヨリ吏員派遣ノ申請書

(三、四、五、六略、七、八消滅)

九 取引所開業届書

十 取引所仲買人營業免許願及免許狀受書廢業届(三十一年十月六日省令七號)

十一 取引所仲買人免許狀再交付及書換ノ申請書

十二 取引所ヨリ提出スル左記ノ報告申請及届書(三十一年省令七號ヲ以テ)

政府ニ納ムヘキ保證金其他ノ擔保ニ充用スル國債價格ノ件 取引稅法 地方廳ヲ經由セス直ニ  
農商務大臣ニ提出スヘキ文書ノ件

- 一 毎日公定相場表
  - 二 毎月賣買高表
  - 三 毎月商品集散及商況報告
  - 四 收支豫算表
  - 五 每半季財産目錄
  - 六 每半季貸借對照表
  - 七 每半季損益計算表
  - 八 每半季末日現在會員役員ノ就任退任屆書
  - 九 株式(債券)賣買舉行認可申請(三十二年省令七號ヲ以テ九號ヨリ十八號迄追加)
  - 十 賣買手数料徴收額認可申請
  - 十一 取引所所有金預リ金、保管方法認可申請
  - 十二 特別契約倉庫設置認可申請
  - 十三 賣買諸證據金及仲買人口錢額徴收率
  - 十四 賣買停止及解停屆書
  - 十五 臨時休業屆書
  - 十六 立會時間變更屆書
  - 十七 代米格付表
  - 十八 國債證券、地方債證券賣買舉行屆書
  - 十九 仲買人ノ身元保證金供託ニ關スル屆書(四十二年省令第十號ヲ以テ追加)
- (十三略)

○米及有價證券取引市場設立ニ關スル規定 明治二十九年三月二十一日 省令第一號

米又ハ有價證券ヲ取引スル市場ハ自今地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ許可ヲ受クルニアラサレハ設立スルコトヲ得ス犯ス者ハ十圓以上二十五圓以下ノ罰金若クハ十一日以上二十五日以内ノ重禁錮(刑法施行法第二條ニヨリ重禁錮ニ處スハ有期懲役ト改正)ニ處ス

○取引所ニ於ケル賣買取引ノ證明ニ關スル件 明治三十九年十二月十四日 省令第三十三號

第一條 取引所ハ仲買人ヲシテ賣買取引ノ契約成立ノ都度委託口數毎ニ賣買取引ノ種類、賣買物件、數量、約定直段、期限及賣買成立ノ時期ヲ明記シタル申告書ヲ取引所ニ差出サシムヘシ

第二條 取引所ハ前號ノ申告ヲ受ケタルトキハ申告書ノ事項ヲ記載シタル賣買取引ノ契約成立ノ證明書ヲ仲買人ニ交付シ仲買人ヲシテ更ニ之ヲ委託者ニ交付セシムヘシ

附 則

本令ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○取引所ノ轉賣買戻及米ノ格付ニ關スル認可ノ件 明治三十五年六月五日 省令第十一號

第一條 取引所ニ於テ定メタル米ノ格付ニシテ本令發布前農商務大臣ニ届出アリタルモノハ更ニ格付ヲ定ムルマテハ明治三十五年七月一日後ニ於テモ尙之ヲ續用スルコトヲ認可ス

第二條 株式會社組織ノ取引所ニシテ本令發布前定款ノ定ムル所ニ依リ明治二十六年勅令第七十四號第十三條第一項第四號ノ方法ヲ用ユルモノハ其定款中之ニ關スル規定ヲ變更スルマテハ明治三十五年七月一日以後ニ於テモ尙之ヲ續用スルコトヲ認可ス

米及有價證券取引市場設立ニ關スル規定 取引所ニ於ケル賣買取引ノ證明ニ關スル件 取引所ノ轉賣買戻及米ノ格付ニ關スル認可ノ件 六五三

○取引所設立發起認可申請ニ對スル意見添申ニ關スル件

明治二十七年二月二日  
訓令第七號

道 廳 府 縣

取引所設立發起ノ認可ヲ申請スルモノアルトキハ左ノ各項ニ對スル意見ヲ添申シテ其中申請書ヲ進達ス  
ヘシ

- 一 該地ニ於ケル其物件ノ集散ノ數量及ヒ集散ノ狀況果シテ取引所ヲ設立シ之カ價格ヲ公定スルノ必  
要アルヤ否
- 二 該地ニ近接セル取引所ノ作用ニ依リ其物件ノ需要供給ノ關係ヲ圓滑ナラシムルニ足ラサルヤ否
- 三 該地ニ取引所ヲ設立スルモ將來能ク之ヲ保續シ得ヘキヤ否

○取引所發起並ニ營業物件追加取締方等ニ關スル件

明治四十二年一月二十七日  
商發第九號次官通牒

戰後事業熱ノ勃興ハ會社濫設ノ弊ヲ醸シ事業ト資本トノ調和ヲ失シ我國ノ經濟界ヲシテ一時殆ント危  
機ニ瀕セシメタルハ一般ノ認ムル處ニ有之候處爾來歲月ヲ經ルニ從ヒ淘汰自然ニ行ハレ整理自ラ成リ  
今ヤ漸ク順調ニ復セントシツ、アルハ海ニ喜フヘキ所ニ有之斯ニ於テ初メテ眞ニ我經濟界ヲシテ堅實  
ニシテ且穩健ナル發達ヲ爲サシムルヲ得ヘク此秋ニ方リテ各般ノ事業最モ戒慎ヲ要スヘキ儀ト存候就  
中取引所ノ如キハ一般經濟界ニ及ホスヘキ影響渺カラス然ルニ近時往々各地ニ取引所ノ新設若クハ營  
業物件ノ追加ヲ計劃スルモノ有之候處由來取引所ハ動モスレハ其眞正ノ機能ヲ完ソスル能ハスシテ單

ニ世ノ射倖心ヲ助長シ民心ヲ賊スルニ由リ着實ナル民業ノ發達ヲ阻礙シ延テ地方經濟界ヲ攪亂スルニ  
終ルハ其通弊ニ有之候處將來之ヲ發起セントスルモノアルニ際シテハ能ク其利害得失ノ論示ヲ可成他  
ノ穩健ニシテ且生産的ノ事業ニ轉換セシムル様御配慮相成度往年取引所ノ濫設其極度ニ達シタル當時  
之カ爲メ我經濟界ニ害毒ヲ流シタルコト實ニ甚シキモノアリシヲ以テ爾來年々之カ整理ニ勗メタルモ  
尙ホ未タ多キニ失スルノ感有之候間將來ノ新設若ハ營業物件追加等ニ對シテハ容易ニ詮議不相成見込  
ニ候條其邊篤ト御含置ノ上夫々御配慮相成候様致度依命及通牒候他

○取引所營業保證金價格計算方并ニ代用證券異動報告ノ件

明治四十二年  
商發第二〇四號通牒

從來取引所ノ營業保證金代用有價證券ノ價格ハ總テ本省大臣ノ指令スル所ニ依ルヘキ儀ニ有之候處本  
年十一月勅令第二百八十七號ノ規定ニ依リ其價格ノ計算相成可然就テハ自今右國債證券ノ價格指定ノ  
申請ハ之ヲ要セサル儀ニ付右ニ御承知ノ上貴管下取引所ハ其旨御通達相成度此段及通牒候也  
追テ營業保證金及其代用有價證券ノ出入有之候節ハ其都度左記様式ニ依リ報告可致様取引所ヘ御示  
達相成度申添候也

取引所營業保證金異動報告書

入 ノ 部

現金又ハ有價證券銘柄個數	代 用	價 格	單	價

取引所設立發起認可申請ニ對スル意見添申ニ關スル件 取引所發起ノ營業物件追加取締方等ニ  
ニ關スル件 取引所營業保證金價格計算方并ニ代用證券異動報告ノ件 六五五

計	出ノ部	現金又ハ有價證券銘柄個數	代	用	價	格	單	價

計	現在高ノ部	現金又ハ有價證券銘柄個數	代	用	價	格	單	價

計	現在高ノ部	現金又ハ有價證券銘柄個數	代	用	價	格	單	價

○取引所會員及仲買人身元保證金供託届ニ關スル件

明治三十五年六月二十六日  
發第二八三號商工局長通牒

貴管下所在取引所ニ於テ會員及仲買人身元保證金ヲ供託シタル時ハ明治三十二年大藏省令第六號供託物取扱規程第四條ニヨリ金庫ヨリ交付セラレタル受領ノ證アル供託書ノ謄本ヲ添へ即時其旨ヲ本省

届出候様御示達相成度此段及通牒候也

○取引所會員及仲買人身元保證金供託替ノ件 明治三十六年一月二十八日

新潟縣知事照會

取引所仲買人身元保證金ヲ供託シタルトキハ供託書ノ謄本相添へ即時其旨御省へ可届出旨客年六月發第二八三號ヲ以テ御通牒相成候處新ニ供託ノ場合ヲ除キ供託替ノ場合ハ單ニ最後ノ供託ヲ届出ツルノミニテ如何ナル現金又ハ有價證券ト取換ラレシヤ並ニ實際ノ現供託物判明不致候條自今各取引所ヨリ右事項ヲ判明セシムル書類ヲ提出セシメ候方可然ト存候得共一應御意見承知致度候

商工局長回答 (同年二月七日)

御意見ノ通新規供託書ノ謄本ト共ニ返還請求書ノ謄本ヲモ同時ニ提出可爲致義ニ有之候

○取引所會員及仲買人身元保證金供託手續 明治三十五年六月二十日  
商發第二八四號商工局長通牒

取引所會員及仲買人身元保證金供託手續左記ノ通り大藏省ヨリ金庫出納役へ通達相成候ニ付爲念其旨貴管下所在取引所へ漏ナク御示達相成度此段及通牒候也

一 供託ノ場合ニハ供託物取扱規程第三條ニ據ル此場合ニ於テ同條第三項供託ノ原因トハ各會員若ハ仲買人ニ就キ身元保證金トシテ現金(現金ニ代用ス)ヲ受取リタル事實ノ詳記トス

二 取戻ノ場合ニハ供託物取扱規程第十條ニ據ル此場合ニ於テ同條第四項供託ノ原因カ消滅シタル事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書類トハ

會員若ハ仲買人カ脱退若ハ廢業シタルトキハ會員若ハ仲買人ヨリ取引所ニ提出シタル脱退届若ハ廢業届

但届書ニハ會員若ハ仲買人ノ記名捺印ヲ要ス

會員若ハ仲買人除名ノトキハ農商務大臣ノ命令書又ハ除名ノ認可書

會員若ハ仲買人死亡ノトキハ戸籍ノ謄本

會員若ハ仲買人資格消滅ノトキハ裁判所ノ判決書、破産宣告書、家資分散決定書等之ヲ證明スル

ニ足ルヘキ書類トス

三 取換ノ爲メ全部又ハ一部ヲ取戻ス場合ニハ前項ノ書類ハ會員若クハ仲買人ヨリ新ニ身元保證金ヲ

提出シタル事由ニ因リ先キニ身元保證金トシテ提出シタル現金(現金ニ代用ス)ノ返還ヲ取引所ニ對

シ請求スル請求書トス

但返還請求書ニハ會員若クハ仲買人ノ記名捺印ヲ要ス

(此場合ニ於テハ新ニ提出シタル身元保證金ノ供託ト同時ニ取戻ヲ請求スヘキ事)

○取引所會員及仲買人身元保證金供託現在調ニ關スル件

明治三十八年四月十七日  
商工局長通牒商局報第一七六號

貴管下取引所ヨリ會員及仲買人身元保證金ノ取換又ハ拂渡ヲ届出候節ハ自今供託書又ハ拂渡請求書謄本ノ外其者ノ同保證金現在調書ヲ添付シ差出候様御示達相成度此段及通牒候也

○取引所會員及仲買人身元保證金供託現在調書様式

ニ關スル件 明治四十二年十一月八日  
商局第一五一三號通牒

明治三十八年四月十七日商局第一七六號通牒ニ依リ取引所ヨリ提出スヘキ會員又ハ仲買人身元保證金

現在調書ハ自今左記様式ニ依リ調製セシメラレ度此段及通牒候也

身元保證金現在調書

代用證券名	拂込金額	代用價額單價	數量	代用價格
計				

備考

公債ニ關シテハ拂込金額ノ欄ニハ額面ノ總額ヲ掲ゲ數量ノ欄ニハ記入ヲ要セス

○取引所仲買人身元保證金供託届出ニ關スル件(受書ト)

同時ニ差出ス件) 明治四十三年  
商局第三七三號通牒

取引所會員及仲買人ノ身元保證金供託届出ニ關シテハ明治三十五年六月二十六日發第二八三號通牒之次第モ有之候處新ニ仲買人營業免許ヲ得タルモノニ對シテハ自今必免許狀ノ請書ト共ニ一括提出候様貴管下取引所ニ御示達相成度

右通牒ス

○仲買人營業免許申請ニ付調査事項 明治三十四年十一月十四日  
往第一二二七〇號商工局長照會

(四十三年商局第一三號商  
務局長通牒ヲ以テ追加)

一 各出願人ノ資産(某所々在宅地何反何畝歩此見積價格何圓某所々在家屋幾坪此見積價格何圓何々

取引所會員及仲買人身元保證金供託現在調ニ關スル件 取引所會員及仲買人身元保證金供託  
現在調書様式ニ關スル件 取引所仲買人身元保證金供託届出ニ關スル件 仲買人營業免許申  
請ニ付調査事項

株幾個此見積價額何圓何公債額面何圓資本金約何圓ト云フカ如シ)

- 一 各出願人ノ商業(何年何月ヨリ何地ニ於テ某商、何年何月何業ニ轉シ目下何業ニ從事シ業務ノ狀態(既往現在トモ)何々ト云フカ如ク最モ精確ニ記載スルヲ要ス
- 一 各出願人ノ納税(最近三ヶ年間地租、所得税、營業稅納額並其納付年月日)

但シ二種以上ノ營業ヲ爲スモノ、營業稅ニ關シテハ當該取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ對スル稅額ヲ特ニ區分スルヲ要ス

- 一 各出願人ノ身分(生年月日、取引所法第十一條第二十五條牒觸ノ有無並其他犯則ノ有無)
  - 一 各出願人ノ性行
- 右第一項、第二項及第四項ニ關シテハ市(又ハ區)町村長第三項ニ關シテハ當該稅務署ノ證明書ヲ添付スヘシ

○仲買人相互間及委託者間訴訟届出ノ件

明治三十七年一月二十日 商工局長商發第二〇號通牒

貴管下取引所仲買人ニシテ其相互間又ハ委託者トノ間ニ於ケル取引ニ關シ自今訴訟ノ當事者トナリ裁判所ノ判決ヲ受ケタルトキハ判決確定後直ニ其判決書ノ寫ヲ添へ當該取引所ヨリ本省大臣ニ届出候様御示達相成度依命此段及通牒也

○取引所定期取引立會停止申告ノ件

明治三十七年十一月廿一日 商工局長通牒

各取引所ノ定款ニ依レハ定期取引ノ賣買高多額ニ上リ又ハ計算整理ノ必要アルトキ其他止ムヲ得サル事情アルトキハ一定ノ立會ノ全部若クハ一部ヲ停止シ之ヲ主務大臣ニ申告スルコトト相成居候處從來其中告方法ハ都度書面ニ依リタルモ右等ノ場合ハ定期取引ノ重要事件ニシテ其影響往々甚シキモノモ

有之ニ付今後立會停止ノ場合ハ施行後直チニ理由ヲ附シ電報(東京ハ電話)ヲ以テ申告シ更ニ通常書面ニ依リ詳細申告可致候様貴管下各取引所へ御示達相成度此段依命及通牒候也

○定期取引各仲買人賣買高揭示ノ件

明治三十八年三月八日 商工局長通牒商發第九四號

取引所仲買人カ日々取引所ニ於テ賣買シタル物件ノ數量ヲ其市場内ニ揭示スルハ取締上必要ノ義ト存候ニ付自今取引所ニ於テハ日々賣買ノ帳入ヲ終リタル後各取引及各期限毎ニ之ヲ各場ニ區分シ仲買人別ニ其賣買數量ヲ取引所市場ニ揭示スヘキ様貴管下取引所へ御示達ノ上請書ヲ徵シ御差廻シ相成度依命此段及通牒候也

○取引所々々有ノ有價證券ニ關スル件

明治四十年四月八日 商工局長通牒商發第三四號

取引所ニ於テ有價證券ヲ所有スル場合ハ左記會社ノ債券並ニ株式モ差支無之候事ニ相成候條右等有價證券ヲ所有セントスルトキハ取引所施行規則第二十條ノ四ニ依リ認可申請相成可然ト存候間此旨貴管下取引所へ御示達相成度此段爲念及通牒候也

- 株式會社日本銀行
- 株式會社橫濱正金銀行
- 株式會社日本興業銀行
- 株式會社日本勸業銀行
- 株式會社臺灣銀行
- 株式會社北海道拓殖銀行
- 日本鐵道株式會社

仲買人相互間及委託者間訴訟届出ノ件 取引所定期取引立會停止申告ノ件 定期取引各仲買人賣買高揭示ノ件 取引所々々有ノ有價證券ニ關スル件

山陽鐵道株式會社  
 甲武鐵道株式會社  
 北海道炭礦鐵道株式會社(政府ノ買収ニ係ル分ニ限ル義ニシテ北海道炭礦汽船株式會社株式會社ヲ含マサルハ勿論トス)

○取引所々有ノ有價證券ニ關スル件(追加) 明治四十一年十月三十一日 商發第五〇二號通牒

取引所ニ於テ東洋拓殖株式會社株式ヲ所有金保管方法トシテ所有スルモ差支無之候事ニ相成候條右株式ヲ所有セントスル場合ニハ取引所法施行規則第二十條ノ四ニ依リ可及手續候様貴管下各取引所へ御示達相成候様致度此段爲念及通牒候也

○取引所々有ノ有價證券ニ關スル件(追加) 明治四十二年九月一日 商局第一二二六號通牒

今回設立サルヘキ韓國銀行ノ株式ヲ取引所ノ所有金保管方法トシテ所有スルモ差支無之候事ニ相成候條右株式ヲ所有セントスル場合ニハ取引所法施行規則第二十條ノ四ニ依リ手續可致候様貴管下各取引所へ御示達相成度此段及通牒候也

○取引所々有々價證券ニ關スル件(追加) 明治四十四年三月廿八日 商局第四七二號通牒

取引所ニ於テ所有金保管方法トシテ南滿洲鐵道株式會社ノ株式並債券所有ノ件岡山米取引所ノ申請ニ對シ認可相成候條爲念貴管下各取引所へ御示達相成度  
 右通牒ス

○取引所役員履歷書ニ關スル件 明治四十四年二月二日 商局第一五四號通牒

從來取引所役員就任申請ノ場合ニ添付セル履歷書ハ區々ニ其リ調査上不便不勘候ニ付爾今左記事項ニ必ス記載シ署名捺印ノ上認可申請書ニ添付セシムル事ニ相定メ候條其旨貴管下各取引所ニ御示達相成度

- 右通牒ス
- 一 本籍、現住所、身分、職業、氏名、生年月日
  - 二 從來ノ經歷
  - 三 取引所法第十一條第三項ニ該當セサルコト
  - 四 同法第三十一條第三十二條ノ處罰ヲ受ケタルコトノ有無
  - 五 右ノ外賞罰事項
  - 六 履歷書作製ノ年月日

○取引所諸報告書式追加ノ件

明治二十六年十月二十八日丁第二〇五號商工局長通牒取引所諸報告書式中左記ノ通追加致候條其趣貴管下取引所ニ御示達相成度  
 右通牒ス

- 一 貸借對照表中諸有價證券ニ對シ適宜一欄ヲ設ケ各其單價ヲ掲記スヘシ
- 一 損益表中賣買手数料ニハ定期、直、延ニ區分シタル内譯ヲ設ケ國稅ニハ稅目ヲ區分シタル内譯ヲ設クヘシ

○取引所諸報告書式 明治二十六年十月二十八日 商工局長通知

明治何年何月公定相場表 何々取引所

取引所々有ノ有價證券ニ關スル件(追加) 取引所役員履歷書ニ關スル件  
 取引所諸報告書式追加ノ件 取引所諸報告書式

何々定期取引ノ部 品名

\*印ハ朱書トス 六六四

日	期月名稱	何月限 (拂込金何圓)				何月限				何月限			
		最昂	最低	平均	最昂	最低	平均	最昂	最低	平均	最昂	最低	平均
一	日	*			*			*			*		
二	日	*			*			*			*		
三	日												
四	日												
五	日												
六	日												
七	日												
八	日												
九	日												
十	日												
十一	日												
十二	日												
十三	日												
十四	日												
十五	日												

日	期月名稱	最昂	最低	平均	最昂	最低	平均	最昂	最低	平均	最昂	最低	平均
十六	日												
十七	日												
十八	日												
十九	日												
二十	日												
二十一	日												
二十二	日												
二十三	日												
二十四	日												
二十五	日												
二十六	日												
二十七	日												
二十八	日												
二十九	日												
三十	日												
三十一	日												
一ヶ月平均													

備考  
 平均價格ハ當日前後兩場賣買ノ總代價ヲ合計シ更ニ之ヲ總數(石、斤量、額面金額、株數等)ニテ除シタル價格ヲ記入ス會社株券ノ取引所諸報告書式









一金何萬何千何百何十何圓何十何錢何厘  
收支差引

支出總豫算額

純益金何千何百何十何圓何十何錢何厘  
收入豫算内譯表

印ハ朱書トス

種目	本季豫算額	前季豫算額	摘要
賣買手數料			平均一ヶ月何圓ノ見込
株券書換手數料			一枚ノ書換料何程ニシテ何枚ノ見込
倉入取扱手數料			平均一ヶ月何圓ノ見込
倉敷料			倉庫幾棟一棟平均一ヶ月何圓宛
所有國債地方債證券利子			何種國債證券額面何圓此利子何圓 何種地方債證券額面何圓此利子何圓
前季繰越金			
計			

支出豫算内譯表

印ハ朱書トス

種目	本季豫算額	前季豫算額	摘要
國稅			商品有價證券ニ對スル平均一ヶ月何圓ノ見込 國債及地方債證券ニ對スル平均一ヶ月何圓ノ見込
府縣稅及市町村稅			府縣稅本年分何圓 市町村稅平均一ヶ月何圓ノ見込
役員俸給			理事長一ヶ月何圓、理事何名各一ヶ月 何圓宛、監督何名各一ヶ月何圓宛 書記、計算方、使丁等ノ職員ヲ包括スルモノニシテ月給若 クハ日給等何程ノモノ何人等ヲ記スヘシ
雇員其他ノ給料			職員ニ對スル分何圓
旅費			

交際費	平均一ヶ月何圓
證券印紙	全上
郵便電信費	郵便費平均一ヶ月何圓 電信費平均一ヶ月何圓
筆紙墨費	平均一ヶ月何圓
營繕費	全
役員以下費與金	純益金何分ノ何
計	

收入之部

前半季ニ比シ増減ノ理由ヲ記スヘシ

支出之部

前半季ニ比シ増減ノ理由ヲ記スヘシ

財產目錄(明治何年何月何日調)

何々取引所

種目	摘要	金額
營業保證金	現金何圓預金局預リ證券何圓何々國債證券額面何圓	
所有國債地方債證券	何々地方債證券額面何圓 何々國債證券額面何圓何々地方債證券額面何圓	
保證預金	何々銀行何圓 何々銀行何圓	
當座預金	同上	
地所	何市町村字何番地坪數何程 同上	

取引所諸報告書式





第二章 商業會議所

○商業會議所法

明治三十五年三月二十四日  
法律第三十一號

- 第一條 商業會議所ハ法人トス
- 第二條 商業會議所ノ地區ハ市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地町ト爲スコトヲ得
- 第三條 商業會議所ヲ設立セムトスルトキハ議員ノ被選舉權ヲ有スヘキ者三十人以上發起人ト爲リ發起ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ
- 第四條 發起人前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ定款ヲ作り議員ノ選舉權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ設立ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ
- 第五條 商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日ニ於テ成立ス
- 第六條 定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 名稱、地區及所在地
  - 二 議員ノ定數及其ノ選舉ニ關スル規定
  - 三 役員ノ權限、選任及解任ニ關スル規定
  - 四 會議ニ關スル規定
  - 五 仲裁ニ關スル規定
  - 六 庶務ニ關スル規定

- 七 會計ニ關スル規定
  - 八 營造物ヲ設立シ又ハ管理スルトキハ其ノ管理ニ關スル規定
- 第七條 商業會議所ノ事務權限左ノ如シ
- 一 商工ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査スル事
  - 二 商工業ニ關スル法規ノ制定、改廢、施行ニ關シ意見ヲ行政廳ニ開申シ及商工業ノ利害ニ關スル意見ヲ表示スル事
  - 三 商工業ニ關スル事項ニ關シ行政廳ノ諮問ニ應スル事
  - 四 商工業ノ狀況及統計ヲ調査發表スル事
  - 五 商工業者ノ委囑ニ因リ商工業ニ關スル事項ヲ調査シ又ハ商品ノ產地價格等ヲ證明スル事
  - 六 官廳ノ命ニ因リ商工業ニ關スル鑑定人又ハ參考人ヲ推薦スル事
  - 七 關係人ノ請求ニ因リ商工業ニ關スル紛議ヲ仲裁スル事
  - 八 農商務大臣ノ認可ヲ受ケ商工業ニ關スル營造物ヲ設立シ又ハ管理シ其ノ他商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル施設ヲ爲ス事
- 第八條 農商務大臣又ハ地方長官ハ商工業ニ關スル事項ノ調査ヲ商業會議所ニ命スルコトヲ得
- 第九條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區内ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ議員ノ選舉權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ半數以上、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ半數以上、株式會社ニ在リテハ取締役ノ半數以上帝國臣民タルコトヲ要ス
- 第十二號ニ掲ケタル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者

二 自己ノ名ヲ以テ製造及加工ニ關スル行爲ヲ爲スコトヲ業トシ營業稅ヲ納ムル者  
 三 取引所稅ヲ納ムル取引所  
 四 鑛業稅ヲ納ムル鑛業權者  
 前項納稅ノ額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
 帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ商業會議所ノ地區内ニ營業所又ハ事務所ヲ有シ第一項各號ノ  
 一ニ該當スルモノノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事又ハ登記シタル支配人ニシテ所得  
 稅ヲ納ムル帝國臣民ハ其ノ主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ノ所在地ニ於テ議員ノ選舉權  
 ヲ有ス

前項納稅ノ額及法人ノ資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ハ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ  
 以テ之ヲ定ム

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選舉權ヲ有セス

- 一 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル  
 時ヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
- 二 剝奪公權者及停止公權者
- 三 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

第十一條 一人ニシテ同一商業會議所ノ議員ノ選舉ニ關シ二以上ノ選舉權ヲ有スルコトヲ得ス

第十二條 法人及年齢三十歳以上ノ男子ニシテ二箇年以來議員ノ選舉權ニ關スル要件ヲ具備スル者ハ  
 議員ノ被選舉權ヲ有ス但シ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無  
 限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員帝國臣民タルコトヲ要ス  
 第十三條 第十條各號ノ一ニ該當スル者並禁治產者及準禁治產者ハ被選舉權ヲ有セス

第十四條 議員ノ定數ハ五十人以下トス

第十五條 商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ置クコトヲ  
 得

地方長官ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ命スルコトヲ得

特別議員ハ決議ニ加ハルコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

特別議員ハ年齢三十歳以上ノ帝國臣民タル男子ニシテ商工業ニ關スル學術、技藝又ハ經驗アル者タ  
 ルコトヲ要ス

第十六條 議員ノ選舉ニ關シテハ複選舉、階級選舉其ノ他ノ方法ニ依ルコトヲ得

議員選舉人ノ選舉ニ關シテハ議員ノ選舉ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條 議員ノ選舉事務ハ地方長官ノ命シタル選舉委員之ヲ行フ其ノ費用ハ商業會議所ノ負擔トス

地方長官ハ選舉事務ヲ監督ス

第十八條 議員ノ選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フヘシ但シ法人、女子及無能力者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ

代人ヲ以テ之ヲ行フ

第十九條 議員及議員選舉人選舉ノ方法、手續及取締ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 議員當選者ハ地方長官、議員ハ會頭ニ於テ正當ノ事由アリト認メタル場合ヲ除クノ外商業

會議所ノ決議ヲ經ルニ非サレハ當選ヲ辭シ又ハ其職ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十一條 議員タル法人ハ其ノ代表者ヲ定ムヘシ

代表者ハ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長又ハ理事ニシテ年齢三十歳以上ノ男子タルコトヲ要

ス

第十三條ニ該當スル者ハ代表者タルコトヲ得ス



第二十二條 一人ニシテ同一商業會議所ニ於テ二以上ノ法人ノ代表者ト爲リ又ハ議員ト代表者トヲ兼ヌルコトヲ得ス

第二十三條 議員及特別議員ハ無給トス  
第二十四條 議員ノ任期ハ四箇年トシ二箇年毎ニ其ノ半數ヲ改選ス若シ二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ改選ス

初回ノ改選期及議員ノ場合ニ於テ解任者ヲ定ムル方法ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム  
第二十五條 補選議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

議員増減ノ爲必要ナル任期ノ異動ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 特別議員ハ議員ノ半數改選期毎ニ解任ス  
第二十七條 議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ

第二十八條 商業會議所ニ左ノ役員ヲ置ク  
會 頭 一 人  
副會頭

會頭ハ商業會議所ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任シ會議ノ議長ト爲リ商業會議所ヲ代表ス  
副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキハ之ヲ代理ス

商業會議所ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ會頭副會頭ノ外必要ナル役員及事務員ヲ置クコトヲ得  
役員ハ議員中ヨリ之ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ  
役員ニシテ議員ノ職ヲ失ヒタルトキハ解任ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ後任者ノ認可アル迄其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十九條 商業會議所ハ商工業ノ狀況及統計ノ調査ノ爲必要ナル材料ノ提出ヲ商工業者ニ請求スルコトヲ得

第三十條 商業會議所ノ經費ハ議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ於テ之ヲ負擔ス  
選舉權ヲ停止セラレタル者ハ停止中ト雖經費ヲ負擔ス

第三十一條 商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料若ハ手数料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

前項ノ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
第三十二條 商業會議所ハ其ノ決議ヲ以テ職務ヲ怠リ其ノ他不正ノ行爲アリタル議員ニ二百圓以下ノ過怠金ヲ課シ又ハ之ヲ除名スルコトヲ得

第三十三條 過怠金ヲ滯納シ督促ヲ受クルモ尙之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ徵收金ハ市町村其ノ他之ニ準スルモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付時効ニ關シテハ國稅ノ例ニ依ル

滯納處分ハ滯納者住所地ノ市參事會、町村長之ヲ行フ  
第三十四條 商業會議所ハ滯納又ハ除名ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シ其決議ヲ以テ四箇年以内選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第三十五條 左ノ決議ハ議員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一 定款變更ノ決議  
二 第三十二條、第三十四條及第四十二條第一項ノ決議

商業會議所法

前項ノ決議及經費ノ豫算、賦課徵收方法ノ決議ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十六條 商業會議所ハ經費ノ決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

商業會議所ハ毎年少クトモ一回其ノ事業成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第三十七條 商業會議所解散ノ決議ハ議員總數ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ決議ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十八條 商業會議所ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙存續スルモノト看做ス

第三十九條 商業會議所解散シタルトキハ其ノ決議ヲ以テ清算人ヲ選任スヘシ清算人缺ケタルトキ亦同シ

清算人ヲ選任シタルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條 前條ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官清算人ヲ選任ス

第四十一條 清算人ハ商業會議所ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第四十二條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ商業會議所ノ決議ヲ經ヘシ

商業會議所前項ノ決議ヲ爲サス又ハ爲スコト能ハサルトキハ清算人ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ムヘシ

第四十三條 商業會議所ハ解散ノ後ト雖其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

前項ノ賦課徵收ニ關シテハ第三十條及第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ定款經費ノ豫算及賦課徵收方法、清算及財産處分方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 議員ノ選舉、商業會議所ノ決議、行爲又ハ役員、清算人ノ行爲ニシテ法令若ハ定款ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ選舉若ハ當選ノ取消、役員、清算人、議員若ハ特別議員ノ停職若ハ解任、商業會議所ノ決議、行爲若ハ役員、清算人ノ行爲ノ停止若ハ取消又ハ商業會議所ノ解散ヲ命スルコトヲ得

農商務大臣ハ前項ニ依リ解任セラレタル議員又ハ役員及不正ノ行爲ニ因リ當選ヲ取消サレタル者ニ對シ四箇年以内選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第四十六條 選舉權及被選舉權ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止中議員、特別議員又ハ法人ノ代表者タルコトヲ得ス

第四十七條 農商務大臣ハ本法ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第四十八條 本法中市町村、市參事會、町村長ニ關スル規定ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

附 則

第四十九條 本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

商業會議所條例ハ之ヲ廢止ス但シ同條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外第五十二條ノ認可ヲ受クル迄其ノ效力ヲ有ス

第五十條 商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニシテ本法施行後繼續セムトスルモノハ本法ノ規定ニ從ヒ議員ノ定數、選舉方法其ノ他選舉ニ關スル必要ナル規定ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十六年三月三十一日迄ニ議員ノ選舉ヲ爲スヘシ

前項ノ選舉及之ニ依リ適舉セラレタル議員ニ關シテハ本法及本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ヲ適用ス

第五十一條 商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ノ會員及特別會員ニシテ本法施行ノ際其ノ職ニ在ル者ノ任期ハ前條第一項ノ選舉終了ノ日迄トス

第五十二條 第五十條第一項ノ選舉ニ當選シタル議員ハ選舉終了ノ日ヨリ三十日以内ニ本法ノ規定ニ從ヒ定款ヲ議定シ及役員ヲ選任シ農商務大臣ノ認可ヲ申請スヘシ

商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ハ第二條ノ規定ニ拘ラス從前ノ地區ニ依ルコトヲ得  
第五十三條 商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ノ役員ノ任期ハ前條第一項ニ依リ選任シタル役員認可ノ日迄トス

第五十四條 商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所ニシテ第五十二條第一項ノ認可ヲ受ケタルモノハ本法ニ依リテ設立シタルモノト看做ス  
商業會議所條例ニ依リ設立シタル商業會議所第五十條第一項又ハ第五十二條第一項ニ定メタル手續ヲ爲サ、ルトキハ解散シタルモノト看做ス此場合ニ於テハ第三十八條乃至第四十五條ノ規定ヲ適用ス

○商業會議所法施行規則 明治三十五年六月二十七日 省令第十四號

第一條 商業會議所發起ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書又ハ其ノ附屬書類ニ左ノ事項ヲ記載シ發起人連署シテ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 商業會議所設立ノ理由

二 地區

三 議員ノ選舉權ヲ有スヘキ者及被選舉權ヲ有スヘキ者ノ數

四 發起人カ議員ノ被選舉權ヲ有スヘキ資格

五 創立費豫算

六 市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスルトキハ其ノ特別ノ事情

前項ノ外發起人ハ農商務大臣ノ命ニ依リ商工業ノ狀況其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ差出スヘシ

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ少クトモ一人ノ發起人アルコトヲ要ス

第二條 發起人發起ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ六箇月以内ニ設立ノ認可ヲ申請セサルトキハ發起ノ認可ハ其ノ効力ヲ失フ

發起人ノ行爲ニシテ法令ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ發起ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第三條 發起人設立ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ定款及一年度經費ノ豫定額並議員ノ選舉權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得タルコトヲ要ス

市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲サムトスル場合ニ於テハ各市町村ニ付キ議員ノ選舉權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得タルコトヲ要ス

第四條 農商務大臣商業會議所設立ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ名稱、地區及所在地ヲ告示スヘシ

第五條 發起人ハ議員選舉終了後遲滞ナク商業會議所ノ會議ヲ開キ其ノ執行シタル事務ヲ報告シ且創立費決算ノ承認ヲ求ムヘシ

前項ノ會議ニ於テハ經費ノ豫算及賦課徵收方法ヲ議決シ並役員ノ選舉ヲ行フヘシ  
發起人ハ第一項ノ承認ヲ經タル創立費決算ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第六條 役員ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク一切ノ書類、物件及事務ヲ役員ニ引繼クヘシ  
 第七條 商業會議所ハ議員ノ當選者アル毎ニ其ノ氏名、職業、身分、住所、生年月、納税種目及納税額ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ法人ニ關シテハ其ノ名稱、目的、住所、設立ノ年月日、資本金額又ハ財産ヲ目的トスル出資額、納税種目及納税額ヲ報告スヘシ

商業會議所法第九條第三項ニ依リ議員ノ被選舉權ヲ有スル者當選シタルトキハ前項ノ外其ノ主トシテ職務ニ從事スル法人ノ目的、納税種目、納税額及資本金額又ハ財産ヲ目的トスル出資額並其ノ法人ニ於ケル地位ヲ報告スヘシ

階級、選舉區又ハ業種ニ分チテ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ前二項ノ外當選者ノ屬スル階級、選舉區又ハ業種ヲ報告スヘシ

特別議員ノ選定又ハ任命アリタルトキハ商業會議所ハ履歷書ヲ添付シ其ノ氏名、職業、身分、住所、生年月ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第八條 議員又ハ特別議員ノ退任アリタルトキハ其ノ事由及氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ農商務大臣ニ於テ解任ヲ命シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 法人議員ニ當選シタルトキハ當選確定ノ日ヨリ二十日以内ニ代表者ノ氏名其ノ法人ニ於ケル地位、身分、住所、及生年月ヲ商業會議所ニ届出ツヘシ代表者變更ノ場合亦同シ

第十條 第七條及第九條ニ依リ報告シタル事項ニ變更アリタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十一條 商業會議所役員ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添付シ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ  
 役員ノ退任アリタルトキハ其ノ事由及氏名ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ農商務大臣ニ於テ解任ヲ

命シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 商業會議所ハ毎月一回其ノ前月中ニ執行シタル事務ノ要領ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十三條 商業會議所ニ於テ商業會議所法第七條第八條ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ申請書ニ其ノ理由ヲ記載シ事業ノ計畫及費用ニ關スル詳細ノ調書ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十四條 商業會議所ノ經費ハ資本金額ヲ標準トシテ之ヲ賦課スルコトヲ得ス  
 納税額ヲ標準トシテ經費ヲ賦課スル場合ニ於テハ營業稅及鑛業稅ニ在リテハ其ノ百分ノ二十五、取引所稅ニ在リテハ其ノ百分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

人頭割ハ等級ヲ定メテ之ヲ賦課スルコトヲ得  
 商業會議所法第九條第三項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ニ對シテハ人頭割ニ依ルノ外經費ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ同時ニ商業會議所法第九條第一項各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 商業會議所ハ其ノ會計年度二箇月前ニ經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ但シ創立ノ場合ニ於テハ決議ノ日ヨリ七日以内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

第十六條 經費豫算及賦課徵收方法ノ變更ノ認可ハ決議ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ申請スヘシ  
 經費ノ決算ハ財産目錄ヲ添付シ會計年度經過後四箇月以内ニ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十七條 商業會議所解散シタルトキハ農商務大臣之ヲ告示スヘシ  
 第十八條 商業會議所清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添へ遲滞ナク認可申請書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第十九條 地方長官前條ノ認可ヲ與へ又ハ清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ氏名ヲ告示スヘシ  
 第二十條 清算人ハ就職ノ日ヨリ六箇月以内ニ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ之ヲ商業會議所ノ決議ニ

附スヘシ

商業會議所法施行規則

前項ノ清算及財産處分ノ方法ニシテ商業會議所ノ決議ヲ經タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ添附シ七日以内ニ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

商業會議所第一項ノ期間内ニ決議ヲ爲サス又ハ爲スコト能ハサルトキハ清算人ハ其ノ事由ヲ具シ財産目錄及貸借對照表ヲ添附シ期間經過後七日以内ニ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第二十一條 清算終了シタルトキハ清算人ハ其結果ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

前項ノ報告書ニハ商業會議所ニ屬スル帳簿其ノ他ノ書類及清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添附スヘシ

第二十二條 商業會議所法第三十五條第一項又ハ第三十七條ノ決議ニ關スル認可申請書ニハ法定ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書類ヲ添附スヘシ

第二十三條 商業會議所法又ハ本令ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第二十四條 本令ハ商業會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○商業會議所議員選舉規則

明治三十五年六月二十七日  
省令第十五號

第一條 商業會議所ニ於テ階級選舉ヲ行ハムトスルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ選舉權者ヲ三級又ハ二級ニ分ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ商業會議所法第九條第三項ニ依リ選舉權者有スル者ハ別ニ之ヲ一階級ト爲スヘシ若シ其ノ數一階級ヲ爲スニ足ラサルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ前項ニ依リテ定メタル各級ニ編入スルコトヲ得

第二條 選舉權者ヲ分テテ三級ト爲ス場合ニ於テハ選舉權者中經費ノ納額最モ多キ者ヲ合セテ經費總額ノ三分一ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ一級以外ノ選舉權者中經費ノ納額多キ者ヲ合セテ經費總額ノ餘ノ一半ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉權者ヲ三級トス

選舉權者ヲ分テテ二級ト爲ス場合ニ於テハ選舉權者中經費ノ納額最モ多キ者ヲ合セテ經費總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉權者ヲ二級トス

前條第二項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ之ニ屬スル選舉權者ノ經費納額ヲ經費總額ヨリ控除シタル殘額ヲ以テ前二項ノ經費總額ト看做ス

各級ノ間經費ノ納額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ納額同シキ者二名以上アルトキハ選舉權ニ關スル要件ヲ具備シタル年數ノ多キ者ヲ上級ニ入ル其ノ年數ニ依リ難キトキハ年數ニ依リ年數ニ依リ難キトキハ商業會議所ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三條 經費納額ニ依リ階級ヲ分ツコト能ハサル場合ニ於テハ商業會議所法第九條ノ納稅額ニ依リ前條ノ規定ニ準シテ選舉權者ヲ分ツヘシ但シ取引所稅ニ關シテハ其ノ二十五分一ヲ以テ納稅額ト看做ス

一人ニシテ商業會議所法第九條第一項各號ノ稅ヲ納ムル者ハ其ノ納稅額ヲ通算スヘシ

第四條 選舉權者ヲ分テテ三級ト爲シタル場合ニ於テハ選舉權者ハ每級各別ニ議員三分一ヲ選舉シ選舉權者ヲ分テテ二級ト爲シタル場合ニ於テハ選舉權者ハ每級各別ニ議員二分一ヲ選舉ス

第一條第二項ニ依リ一階級ヲ作リタル場合ニ於テハ定款ヲ以テ其ノ階級ヨリ選舉スヘキ議員ノ數ヲ定メ殘餘ノ議員ニ關シテ前項ノ規定ヲ準用ス

第五條 階級選舉法ニ依ル場合ニ在リテハ定款ノ定ムル所ニ依リ改選期ニ於テ各級ヨリ議員ノ各半數ヲ改選スヘシ

第六條 商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ選舉區又ハ投票區ヲ設クルコトヲ得  
各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員數ハ各區ニ於ケル選舉權者ノ數ニ應シ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七條 複選舉法ニ依ル場合ニ於ケル議員選舉人ノ數ハ定款ノ定ムル所ニ依リ但シ選舉スヘキ議員數

ノ三倍ヲ下ルコトヲ得ス

第八條 商業會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ選舉權者ヲ業種ニ分テ各業種ヨリ各別ニ所定ノ員數ノ議員ヲ選舉セシムルコトヲ得

第五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 複選舉法ニ依ル場合ニ於テハ議員選舉人ノ選舉ニ限リ階級若ハ業種ニ分テ又ハ選舉區ヲ設ケ選舉ヲ行フコトヲ得

階級選舉法ニ依ル場合ニ於テハ二級若ハ三級ノ選舉ニ限リ選舉區ヲ設ケルコトヲ得

第十條 商業會議所ハ設立ノ認可ヲ受ケタル日及毎年一回定款ニ定メタル期日ノ現在ニ依リ選舉權者名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ地方長官ニ差出スヘシ

選舉權者名簿ハ階級選舉法ニ依リ議員ヲ選舉スル場合ニ於テハ選舉權者ノ屬スヘキ階級、選舉區又ハ投票區ヲ設ケテ議員ヲ選舉スル場合ニ於テハ選舉權者ノ屬スヘキ選舉區又ハ投票區、業種ニ分テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テハ選舉權者ノ屬スヘキ業種ニ區別シテ調製スヘシ

選舉權者名簿ニハ選舉權者ノ氏名、職業、住所、納稅種目及納稅額ヲ記載スヘシ但シ法人ニ關シテハ其ノ名稱、目的、住所、納稅種目及納稅額ヲ記載スヘシ

商業會議所法第九條第三項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ニ關シテハ前項ノ外其ノ主トシテ職務ニ從事スル法人ノ名稱、目的、納稅種目、納稅額及其ノ資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額並其ノ職務、主トシテ職務ニ從事スル營業所又ハ事務所ヲ記載スヘシ

第十一條 商業會議所選舉權者名簿ヲ調製シタルトキハ十四日以上ニ於テハ公示ノ期間ヲ定メ豫メ其ノ期間及場所ヲ公告シ其ノ事務所又ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ之ヲ縦覽ニ供スヘシ  
第十二條 選舉權者選舉權者名簿ニ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ縦覽期間内ニ其ノ理由

書及證據ヲ具ヘテ之ヲ商業會議所會頭ニ申立ツルコトヲ得

第十三條 會頭前條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證據ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉權者名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ申立人及關係人ニ通知シ其ノ申立ヲ正當ナララスト決定シタルトキハ直ニ之ヲ申立人ニ通知スヘシ  
前項ノ規定ニ依リ選舉權者名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告シ且之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十四條 前條第一項ノ決定ニ不服アル申立人又ハ關係人ハ其ノ事由ヲ具シ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ依リ選舉權者名簿ノ修正ヲ要スルトキハ商業會議所ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其旨ヲ申立人及關係人ニ通知シ且其ノ要領ヲ公告スヘシ

第十五條 選舉權者名簿ハ第十一條ノ縦覽期間満了後二十日ヲ經テ確定ス

前項ノ名簿ハ次年ノ名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ

第十六條 商業會議所ニ於テ議員ノ選舉ヲ要スルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ申出ツヘシ  
第十七條 選舉委員ハ三名又ハ五名トシ内一名ヲ委員長トス

委員長ハ郡長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツ郡長又ハ市長事故アルトキハ其ノ代理者其ノ職務ヲ行フ  
前項ノ場合ヲ除クノ外選舉委員事故アルトキハ地方長官ノ任命シタル豫備員中ヨリ委員長之ヲ補充ス

第十八條 選舉區又ハ投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉委員長ハ各選舉區又ハ投票區毎ニ投票管理  
者及其ノ代理者各一名並立會人二名ヲ選任スヘシ  
立會人事故アルトキハ投票管理者ハ臨時ニ立會人ヲ選任スヘシ

第十九條 地方長官ハ選舉ヲ行フヘキ日時及場所ヲ定メ選舉スヘキ議員ノ員數ト共ニ選舉ヲ行フヘキ日ヨリ少クトモ十五日前ニ之ヲ告示シ且之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

第二十一條 選舉權者名簿ニ登錄セラレタル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選舉權者名簿ニ登錄セラレヘキ裁決書ヲ所持スル者ハ此限ニ在ラス

選舉權者名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ投票スルコトヲ得ス

第二十二條 法人、女子及無能力者ハ左ノ代人ヲ以テ選舉ヲ行フヘシ但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 法人ニアリテハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事長、理事
- 二 無能力者ニ非サル女子ニ在リテハ自ら選任シタル者
- 三 無能力者ニ在リテハ親權者、後見人、保佐人又ハ夫

代人ハ帝國臣民タル成年ノ男子ニシテ商業會議所法第十三條ニ該當セサル者ナルコトヲ要ス

代人選舉ヲ行ハムトスルトキハ其ノ代人タルコトヲ證スヘキ書面ヲ携帯スヘシ

第二十三條 選舉委員長又ハ投票管理者ハ選舉場ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 投票ヲ爲スコトヲ得ル者、選舉委員其ノ他選舉事務ヲ監視シ又ハ選舉ノ事務ニ從事スル者及警察官吏ノ外選舉場ニ入ルコトヲ得ス

第二十五條 選舉委員ハ其ノ決議ニ依リ、投票管理者ハ立會人ノ意見ヲ聞キ投票ヲ爲スコトヲ得サル者ノ投票ヲ拒ムコトヲ得

第二十六條 選舉場ニ於テ演說、討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議、勸誘ヲ爲シ其ノ他

選舉場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉委員長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉場外ニ退出セシムヘシ

前項ニ依リ退出セシメタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉場閉鎖ノ後ハ此ノ限ニ非ラス

第二十七條 投票ノ効力ハ選舉委員之ヲ議決ス可同數ナルトキハ選舉委員長之ヲ決ス

第二十八條 有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外投票ニ記載スヘキ被選舉人ノ數ヲ選舉權者又ハ議員選舉人ノ數ニ乘シ選舉スヘキ議員ノ數ヲ以テ之ヲ除シテ得タル數ノ五分一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ニシテ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ、被選舉權ヲ有セサル爲メ當選無効ト爲リタルトキ又ハ農商務大臣ノ命ニ依リ當選ヲ取消サレタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス本條ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ其ノ順位ヲ定ム

第二十九條 選舉終了シタルトキハ選舉委員長ハ直ニ其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第三十條 選舉委員長ハ選舉ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉委員ノ連署シタル選舉記録二本ヲ作り一本ヲ地方長官ニ差出シ一本ハ投票ヲ添ヘ之ヲ商業會議所ニ交付スヘシ

前項ノ選舉記録及投票ハ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ投票ハ有効無効ニ區別シテ之ヲ保存スヘシ

第三十一條 當選者定マリタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ當選者ニ告知スヘシ

第三十二條 當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ地方長官ニ申出ツヘシ

一人ニシテ二以上ノ階級、選舉區又ハ業種ノ選舉ニ當選シタルトキハ最後ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申出ツヘシ其ノ申出ナキトキハ地方長官其ノ當選ノ階級、選舉區又ハ業種ヲ定ム

第三十三條 當選者ナキトキハ地方長官ハ更ニ選舉ヲ行ハシメ當選者選舉スヘキ議員ノ數ニ達セサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ對シ選舉ヲ行ハシムヘシ

第三十四條 第三十二條ニ依リ當選確定シタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ當選者ニ告知スヘシ當選者ノ氏名ハ地方長官之ヲ告示シ且之ヲ商業會議所ニ通知スヘシ

第三十五條 左ノ各號ニ該當スル者ハ十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉權者名簿ニ登錄セラレタル者

二 選舉委員、投票管理者又ハ立會人ニシテ正當ノ事由ナク本令ニ定メタル義務ヲ缺キタル者

第三十六條 選舉ノ前後ヲ間ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二十五日以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選舉權者、議員、選舉人、代人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二 選舉ニ關シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ禮應接待シ又ハ禮應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉場ニ往復スル爲メ車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲナシ又ハ約束ヲ受ケタル者

三 選舉場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉權者、議員選舉人又ハ代人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者

第三十七條 左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除クノ外二十五日以下ノ輕禁錮ニ處ス

一 詐偽ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者

二 選舉權者、議員選舉人又ハ代人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐偽ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者

三 選舉委員、投票管理者、立會人其他選舉事務ヲ監視シ又ハ選舉事務ニ關係アル者ニシテ選舉權者、議員選舉人又ハ代人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ニ付眞偽ニ拘ラス之ヲ表示シタル者

四 選舉ニ關シ選舉權者、議員選舉人又ハ代人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五 選舉委員、投票管理者、立會人其他選舉事務ヲ監視シ又ハ選舉事務ニ關係アル者ニ暴行脅迫ヲ加ヘ又ハ選舉場ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者

第三十八條 當選者其ノ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ農商務大臣ハ其ノ當選ヲ取消スヘシ

第三十九條 本令中議員選舉ニ關スル規定ハ議員選舉人ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第四十條 商業會議所法第五十條第一項ニ依リ議員ノ選舉ヲ行ハムトスルトキハ議員ノ定數、選舉方法其ノ他選舉ニ關スル規定ノ認可ヲ受ケタル日ノ現在ニ依リ選舉權者名簿ヲ調製スヘシ

第四十一條 本令ハ商業會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○商業會議所議員選舉權ニ關スル納稅額及資本額又ハ

財産ヲ目的トスル出資額ノ件 明治三十五年六月二十七日 省令第十六號

商業會議所議員選舉權ニ關スル納稅額及資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ノ件



第一條 商業會議所法第九條第二項ニ依リ納稅額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム  
營業稅

第一	東京	納稅額	百圓以上	第三	京都 神戸 名古屋	納稅額	五十圓以上
第二	大阪 横濱	納稅額	七拾五圓以上	第四	其ノ他	納稅額	貳拾五圓以上

鑛產稅

第一	東京	納稅額	四十圓以上	第三	京都 神戸 名古屋	納稅額	貳拾圓以上
第二	大阪 横濱	納稅額	參拾圓以上	第四	其ノ他	納稅額	拾圓以上

取引所稅

第一	東京 大阪 横濱	納稅額	貳萬圓以上	第三	其ノ他	納稅額	貳千圓以上
第二	京都 神戸 名古屋	納稅額	六千圓以上				

第二條 商業會議所法第九條第四項ニ依リ納稅額及法人ノ資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ニ關スル制限ヲ左表ノ如ク定ム

第一	東京	資本額又ハ出資額	五十萬圓以上	所得	七拾圓以上
第二	大阪	資本額又ハ出資額	四十萬圓以上		四拾五圓以上
第三	横濱	資本額又ハ出資額	參拾萬圓以上		四拾五圓以上
第四	京都 神戸 名古屋 其ノ他	資本額又ハ出資額	貳拾萬圓以上		貳拾圓以上

第三條 地方ノ狀況ニ依リ前二條ニ依リ難キトキハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ特ニ其ノ制限ヲ設クルコトヲ得

商業會議所法第五十條ノ場合ニ於テハ前項ノ制限ハ議員ノ定數、選舉方法其ノ他選舉ニ關スル必要ナル規定中ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四條 商業會議所設立ノ際前條第一項ノ特例ヲ設ケムトスルトキハ商業會議所法施行規則第一條ノ手續ヲ爲ス前豫メ其ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第五條 本令ハ商業會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (明治三十九年十二月 省令第三十四號附則)

本令ハ各商業會議所毎ニ次回ノ選舉權者名簿調製ノ期日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前明治三十五年農商務省令第十六號第三條ニ依リ特ニ設ケタル制限ハ本令施行後其ノ効力ヲ失フ

本令施行ノ際明治三十五年農商務省令第十六號第三條ニ依リ特ニ制限ヲ設ケムトスル者ハ本令施行前認可ヲ受クルコトヲ得

商業會議所議員選舉權ニ關スル納稅額及資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ノ件

○商業會議所事務報告及豫算其他經費ニ關スル書類ノ形式

ニ付道廳各府縣知事へ通牒 明治四十一年八月二十四日 商發第一四〇號商工局長通牒

商業會議所事務報告及收支豫算其他經費ニ關スル書類ノ形式別紙ノ如ク一定致候ニ付自今左記各項ニ依據シ調製整理可致様可然御管下商業會議所ニ示達相成度此段依命及通牒候也

記

- 一 事務報告ハ自今別表第一號ノ様式ニ依據シ調製提出スヘシ
  - 二 經費豫算並決算及財産目錄ハ次期會計年度ヨリ別表第二號、第四號及第五號ノ様式ニ準據シ調製整理スヘシ
  - 三 現ニ有シ若クハ將來有セントスル各種ノ積立金ハ各其目的ヲ明ニシ次期會計年度ヨリ之ヲ特別會計トシ其豫算并決算ハ別表第三號ノ様式並第四表附記ニ據リ之ヲ調製整理スヘシ
  - 四 次期ノ會計年度ヨリ經費徵收原簿、經費支拂原簿、備品臺帳並積立金臺帳ヲ備ヘ別表第六號、第七號及第八號、第九號ノ様式ニ依據シ之ヲ調製シ其經費並財産ヲ整理スヘシ
- 第一號様式
- 明治 年 月中執行事務要領報告
- 庶務
- 一 商業會議所法及附屬諸法規並ニ定款ニ關スル件
  - 二 照會ニ關スル件
  - 三 豫算ニ關スル件

- 四 會議ニ關スル件
  - 五 事務員任免ニ關スル件
  - 一 商工業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査シ又ハ必要ナル施設ヲナシタルコト
  - 二 商工業ニ關スル法規ノ制定改廢施行ニ關シ意見ヲ行政廳ニ開申シ其他商工業ノ利害ニ關スル意見ヲ表示シタルコト
  - 三 商工業ニ關スル事項ニ關シ行政廳ノ諮問ニ應シタルコト
  - 四 商工業ノ狀況及統計ヲ調査發表シタルコト
  - 五 官廳又ハ商工業者ノ委囑ニ依リ商工業ニ關スル事項ヲ調査シ又ハ商品ノ產地價格ヲ證明シタルコト
  - 六 官廳ノ命ニヨリ商工業ニ關スル鑑定人、參考人ヲ推薦シタルコト
  - 七 商工業ニ關スル紛議ヲ仲裁シタルコト
  - 八 其他主要ナル事項
- 商業會議所事務報告及豫算其他經費ニ關スル書類ノ形式ニ付道廳各府縣知事へ通牒

右及報告候也  
年 月 日

第二號樣式 農商務大臣宛

明治 年 度(自 年 月)經費收支豫算表

科 目	本年度豫算		前年度豫算		比 較	備 考
	円	銭	円	銭		
第 款 賦 課 金						
第 項 營 業 稅 割						
同 礦 產 稅 割						
同 取 引 所 稅 割						
同 人 頭 割						
第 款 雜 收 入						
第 項 手 數 料 使 用 料 實 價 辦 償						
同 預 金 利 子						
同 不 用 品 賣 却 代						
合 計						

商業會議所名 頭 名 印

科 目	本年度豫算		前年度豫算		比 較	備 考
	円	銭	円	銭		
第 款 過 年 度 徵 收 金						
第 款 雜 越 金						
合 計						

科 目	本年度豫算		前年度豫算		比 較	備 考
	円	銭	円	銭		
第 款 給 與 費						
第 項 俸 給						
同 雜 給						
同 手 當 金						
同 賞 與 金						
同 報 酬 金						
第 款 旅 費						
第 款 所 費						
第 項 調 査 費						
同 公 告 費						
同 通 信 運 搬 費						

商業會議所事務報告及豫算其他經費ニ關スル書類ノ形式ニ付道廳各府縣知事へ通牒

同	消耗品費	
同	什器費	
同	圖書費	
同	印刷費	
第款家	屋費	
第項借	家料	
同	借地料	
同	營繕費	
同	火災保險料	
第款實	業獎勵金	
第款選	舉費	
第款會	議費	
第款公	納金	
第項租	稅	
同	分擔金	
第款交	際費	
第款借	入金償却	
第款雜	費	

第款積	立金	
第款豫	備費	
計		

一 備考欄ニハ豫算額算出ノ基礎ヲ略記スヘシ

第三號様式

明治 年 度(自 年 年 月)積立金收支豫算表  
 收入ノ部

科	目	本年度豫算	前年度豫算	比較	備考
第款積	立金			増	
第項	前年度ヨリ 繰越高			減	
同	本年度積立金				
第款利	子				
合	計				

附記 積立金支出ノ要アルトキハ通常豫算ニ準シ支出豫算ヲ編製スヘシ

第四號様式

明治 年 度(自 年 年 月)經費收支決算表  
 商業會議所事務報告及豫算其他經費ニ關スル書類ノ形式ニ付遵照各府縣知事へ通牒